

業務資料No. 565

ブラジルの日系企業要覧
—工業技術移住者受入企業—

国際協力事業団



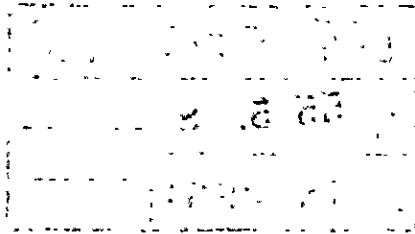
RY



JICA LIBRARY



1024957[1]



国際協力事業団	
受入 月日 584. 5. - 43	703
	60. 10
登録No. 08097	EJI-

<漁業>

1. 北伯漁業	1
.....	

<建設業>

総合工事業	3
1 ボラン建設(株)	3
2 エンジン建設(株)	4
3 タキブランビニエイロス建設(株)	5
設備工事業	7
1. ジャック電気商工(株)	7
2. テルモブラン空調企画設計(株)	8
3. デンパプラス電信(株)	9
4. デンパプラス商事(株)	11
5. ボビエルヤマトエンジニアリング(株)	11
6. メイデン設備工事(株)	12
7. A T A 燃焼工業(株)	14
8. テレネッチ電子通信(株)	15
9. 都島エンジニアリング(株)	16
10. サニー電気商工(株)	17
11. エレトロブラネット(株)	18
12. 三栄(株)	20

<製造業>

食料品製造業

1. トーメン製油(株)	23
2. アガール商工(株)	24

<繊維工業>

1.	ブラジル鐘紡㈱	26
2.	ブラジルユニチカ㈱	28
3.	ブラ拓製糸㈱	29
4.	鐘紡テキスタイル㈱	31
5.	テスコ繊維工業㈱	32
6.	ラニフィシオ・クラシキ㈱	34
7.	コトニフィシオ・クラシキ㈱	35
8.	ブラジラーナ繊維工業㈱	37
9.	ブラジルコーベス商工㈱	39

<家具装備品製造業>

1.	前田木工所㈱	41
2.	ブラジル天置家具商工㈱	42

<パルプ・紙・紙加工品製造業>

1.	バベロッキ商工㈱	44
2.	ブラジルクスガアルパム㈱	46
3.	ブラジル永大木材㈱	47

<化学工業>

1.	サンスイプラスチック工業㈱	49
2.	ブラジルのイハラ化学工業㈱	51
3.	ブラジルの富士写真フィルム㈱	52
4.	ブラジルの北興化学農産工業㈱	54
5.	ファテック化学工業㈱	55
6.	三井肥料㈱	57

7.	タキプラス化学工業(株)	59
8.	インパーザパウリスタ化学工業(株)	60

< 窯 業 >

1.	ブラジル特殊陶業(株)	61
----	-------------------	----

< 機械製造業 >

1.	池森機械(株)	64
2.	加藤精機(株)	65
3.	バルジニア組立(株)	68
4.	ブラジル久保田鉄工(株)	68
5.	豊和機械工業(株)	70
6.	ブラジルN.S.K商工(株)	71
7.	C.B.C重工業(株)	73
8.	ブラジルヤンマー(株)	77
9.	ボリスピン商工鋳造(株)	79
10.	宿屋鋳造(株)	80
11.	オーエスジー精密工具(株)	82
12.	シンクロナイズ金属工業(株)	84
13.	ブラジルシンボ工業(株)	85
14.	モデラソンS.N(株)	86
15.	笹崎工業(株)	87
16.	フジメッキ金属工業(株)	89
17.	南米タカラベルモント家具商工(株)	90

<電気工業>

1. サドキン電球工業(株)	92
2. チェリー電子工業(株)	93
3. 日立ライン電気工業(株)	95
4. ブラジル東芝(株)	96
5. ブラジル日本電気(株)	98
6. ブラジルナショナル電子部品(株)	99
7. ジエンテック商工(株)	101
8. WTW電気工業(株)	102
9. イタイン電機(株)	103
10. 山崎電子工業(株)	105
11. スブライス電気工業(株)	106
12. コウメイ電球(株)	107
13. ブラジル東光(株)	108
14. イントラール(株)	110

<通信関連機械器具製造業>

1. ブラジルアールオーム電子工業(株)	112
2. ダルマ通信(株)	113

<輸送用機械器具製造業>

1. 中田商工(株)	115
2. ブラジルトヨタ自動車(株)	116
3. ブラズベックス商事(株)	119
4. モトカール起重機製作所(株)	120
5. 伯国精機(株)	121

6. クレメンテシファミリー㈱	122
-----------------	-----

<そ の 他>

1. 徳倉養魚場㈱	125
2. A N B自然食品㈱	126
3. F K事務機器㈱	127
4. ヤクルト商工㈱	128
5. トッププレス印刷出版㈱	129
6. ブラジル N H Kファスナー㈱	130
7. ベルマッキ商事㈱	131
8. モトベルモトーレス・デ・ベレン㈱	132
9. 佐藤メッキ㈱	133
10. 日光メッキ工業所㈱	135

〈 漁 業 〉

1. 北伯漁業	1
---------------	---

漁 業

1 北伯漁業(株)

1958年に同社は設立。鮪、赤物、伊勢海老等の捕獲をはじめたが、採算がとれず撤退し、現在は捕鯨のみとなった。

1969年Belimに支店を開設し、エビ漁事業を開始しその70%を輸出、30%を国内市場に販売している。

また、1973年には、パライーバ州に牧畜業を開始し現在に至っている。同社の鯨製品、エビ製品は、優れた冷凍技術を取用し、製造されており、定評ある品質規格物を輸出販売している。

必要職種名：船舶無線技能者・電気機器修理工



新設倉庫

会 社 概 要

1. 会 社 名
CIA. DE PESCA NORTE DO BRASIL.
2. 所 在 地
Rua Cardoso Vieira 17 João Pessoa, Paraíba
(工場) Costinha, Lucena Paraíba
Rua Joaquim Tavora 39. Belem, Para
3. 創 立 年 月 日
1958年1月
4. 資 本 金
千CR\$ (103909,000円)
5. 経 営 者
ODILIA FÁRIA THAMAY
6. 生 産 品 目
鯨製品・冷凍エビ
7. 売 上 高
千CR\$ 54,000 (1977年12月現在)

8. 従業員

250名(日系30名)

9. 工場規模

敷地 70,000 m^2

建物 3,000 m^2

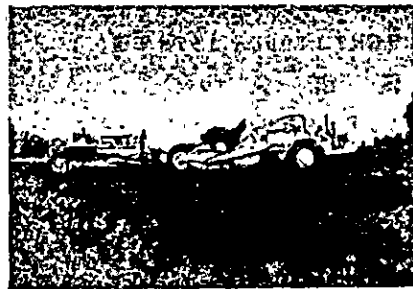
〈 建設業 〉

総合工事業	3
1. ボラン建設(株)	3
2. エンジン建設(株)	4
3. タキブランビニエイロス建設(株)	5
設備工事業	7
1. ジャック電気商工(株)	7
2. テルモプラン空調企画設計(株)	8
3. デンパプラス電信(株)	9
4. デンパプラス商事(株)	11
5. ホビエルヤマトエンジニアリング(株)	11
6. メイデン設備工事(株)	12
7. A T A 燃焼工業(株)	14
8. テレネッチ電子通信(株)	15
9. 都島エンジニアリング(株)	16
10. サニー電気商工(株)	17
11. エレクトロプラネット(株)	18
12. 三栄(株)	20

総合工事業

1 ポラン建設(有)

現取締役、渡辺氏は日本大学土木学科を卒業して、1964年10月「有限会社渡辺建設」を設立、その後発展的解消させ、1969年他の日本人2名とともに 同出資し現在の会社を発足させたものである。



建築現場

同社の主要業種は、舗装を含む道路工事及び橋梁工事である。同社の受注先の主流はサンパウロ市を中心とする近在市役所である。

最近は日系企業の進出に伴う工場建設にかかわる工事にも多くの受注があつて、今後一層の飛躍が期待される。

なお、1976年より関連会社として、工場内運搬を業務とする Porã 運輸を設立、現在、大手の米系肥料会社 (COPEBRAS.GESPA)より仕事を受けている。同社は伯国でも有数の建設土木機械保有会社であり、「仕事は残るもの、だから良い仕事をする」をモットーに顧客から信用を得ている。

引受工業移住者数：6名

必要職種名：建築土木技能者

担当者から移住者への要望：目先の欲にとらわれなくて将来を常に考慮している者。

会社概要

1. 会社名

CONSTRUTORA PORÃ LTDA.

2. 所在地

AV. 9 de Julho, 4241,

(倉庫) Estrada do Pessegue, 1800. Itaquê-S.P.

3. 創立年月日
1969年10月
4. 資本金
千CR\$ 9,100.00(72,736,300円)
5. 代表者
SHOJI WATANABE
6. 生産品目
土木工事・住宅建築
7. 売上高
千CR\$ 11,000(1978年現在)
8. 従業員
20名(日系4名)

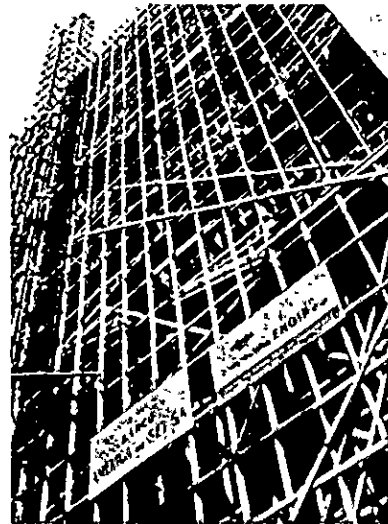
2 エンジン建設(有)

1955年に設計から施行、保安までの総合建設を目的に設立。主建造物としては、工場や事務所が多く、一般家屋、アパートには手を出していない。最近では、工場建設のみならず、工場内の機械や電気設備の据付けも始めている。受注先としては日系進出企業をはじめ、イタリア系、ドイツ系と各方面にちらはっている。今迄の主な工事としては、東洋紡、南米銀行、近江ケンシ、ヤンマーディーゼル、N.G.K.、トヨタの工場建設、イタリア系の鋳物会社A. TONOLLI、ドイツ系塗料会社SUVINIL等がある。

必要職種名：設計土木、建築技師

引受工業移住者数：6名

担当者から移住者へ要望：本心より伯国永住を希望する者



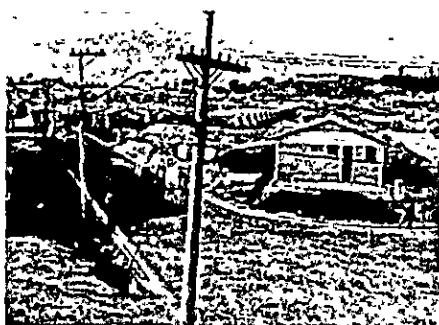
建築現場

会 社 概 要

1. 会 社 名
CONSTRUTORA ENGIN LTDA.
2. 所 在 地
R. Mairinque, 125, S.P.
3. 創 立 年 月 日
1955年7月
4. 資 本 金
千CR\$ 8,000,000 (63,944,000円)
5. 代 表 者
KIYOSHI KATO
6. 生 産 品 目
建設工事及び竣工住宅
7. 売 上 高
千CR\$ 115,000 (1978現在)
8. 従 業 員
500名(日系30名)

3 タキブランピニエイロス建設(株)

1959年5月建築設計及び施工管理を目的に設立。同社はBNH(住宅金融公団)の融資をうけて建築する一般家屋の設計及び施行を行っている。現在はサンパウロ州のVale do Paulista Cujeiro



一 般 住 宅 建 築 現 場

で350戸の一般住宅の建築を行なっている。特にCruzeiroに於いては、組立住宅方式（住宅の一部を先に製作しあとで機械力にてつりあける。）を採用しており、将来はコンクリートパネルを使用した本格的プレハブ建築を中心とし、施行してゆく方針である。又、同社は一般住宅の他に、工場建設も施行しており、サンスイ、東洋紡等の工場を手がけている。

必要職種名：測量士、建築士、プレハブ技能者

引受工業移住者数：1名

会 社 概 要

1. 会 社 名
TAKIPLAN PINEEIROs CONSTRUTORA S. A.
2. 所 在 地
AV. Indianópolis, 889, S. Paulo
3. 創 立 年 月 日
1959年5月
4. 資 本 金
千CR\$ 10,000.00 (79,930,000円)
5. 代 表 者
KENJI TAKITANI
6. 生 産 品 目
建設業
7. 売 上 高
千CR\$ 120,000 (1978年現在)
8. 従 業 員
400名(日系17名)

設 備 工 事 業

1 ジャチック電気商工(株)

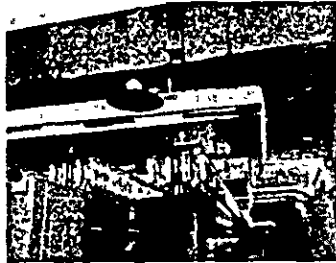
同社は1955年11月、主として電飾看板、電気機械製造・加工を業とする電気工事会社として設立された。

その後、一時日本の麻生セメントが参加し電気工事、空調配管工事等の総合設備工事へと転換してきたが、去る1977年8月をもって現経営陣が麻生セメントより同社を全面的に買取った。

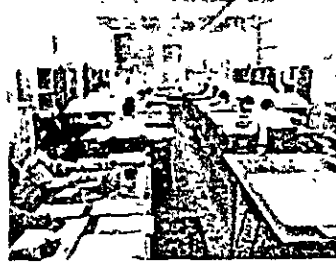
その結果、日本の技術を駆使する100多ブラジル企業として、従来の総合設備工事のみならず、工業用自動制御盤製作分野にも地歩を築いており、特に当該製作分野に関してはブラジル有数の信頼のおける一流メーカーとして注目されつつある。

(1) 総合設備工事(電気工事・計装空調・配管工事)

東芝、古河電工、味の素、三菱重工(C.B.C)日本電気(NEC)、小松製作所等の日系進出



空調設備工事



電気部門

企業の設備工事は殆んど同社が手掛けており、現在は日系進出企業のみならず、フィリップス、フォード等の外資系企業、コジバ等のブラジル大企業の設備工事にも進出している。

ブラジルでの多年の経営と実績を基盤として、信用ある工事を重ね顧客の評判も良い。

(2) 自動制御盤等の製作

製造品目として、自動制御盤、計装盤、動力盤、空圧制御盤、配電盤、分電盤等の製作が中心。顧客としてベト スウス、フベンネ、タウ・キンカ等大口。

会 社 概 要

1. 会 社 名

JATIC EIETRO-MECANICA IND. E COM. S. A.

- 2 所在地
R. Engenheiro Mesquita Samparo, 523, Santo Amaro
3. 創立年月日
1955年11月
4. 代表者
TERUO NAKATANI
5. 資本金
千CR\$ 10,20200(81,544,586円)
6. 生産品目
電気設備工事・空調配管
7. 売上高
千CR\$ 25,000(1978年現在)
8. 従業員
150名(日系25名)
9. 工場規模
敷地 2000 m²
建物 2000 m²

2 テルモプラン空調設計(有)

1963年加屋野 淳氏により創立された空気調和設備の専門設計事務所である。同氏はサンパウロ大学その他で教職を歴任した後、空調設備の設計並びに設計管理を目的として同社を設立した。空調関係の設計事務所としては一番古く、一番大きな規模である。普通、設計会社は施工会社とタイアップする形式が一般的であるが、同社は常に顧客の立場に立ち、信頼を得ている。その為、設計料は少高くても、顧客は安心して依頼してくる。

受注先の主なものとしては、銀行関係が主であるが、近日中に建設予定の市の図書館の全館冷暖房設備の設計をするようになっている。

必要職種名：空調設計製図技能者

引受工業移住者数：1名

会 社 概 要

1. 会 社 名

THERMOPLAN ENGENHARIA TERMICA LTDA.

2. 所在地

R. Barão de Tatui 386 Santa Cecilia.CETRO

3. 創立年月日

1963年8月

4. 資本金

千CR\$ 700.00 (5,595,100円)

5. 代表者

ATSUSHI KAYANO

6. 生産品目

空調設備設計

7. 売上高

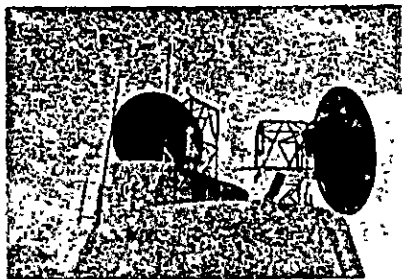
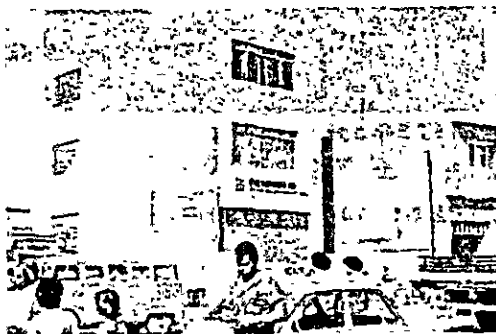
千CR\$ 20,000 (1978年現在)

8. 従業員

50名(日系35名)

3 デンパブラス電信(有)

1972年、スタートは10人の同志の集りで真の共存共栄をモットーとして会社を創立したが、当時通信業界はこれまでの経験度が非常に浅く併せてこれらの教育機関にも恵まれなかったため、技術者が極めて少なく従って創立当初は、労働力の貸貸し程度であったが、1974年、即ち創立3年目に社員の技術の習得並びに精神の修養を目的とした。日本電気の工場近くに民家を借り、日本電気社から講師を招いて午前中を講義午後を同工場内で実地訓練。これを1組2ヶ月ずつ3回に亘って70人を養成し、当該経費とし先行投資を行った。



同社が立てたアンテナ

事務所前景

その成果は、直接積負工事として1975年2月より Belrord Roxo-Rio の5,000回線工事期間1年3ヶ月を皮切りに1975年5月より Ponta d'apraia - Santos, 10,000回線工事期間1年8ヶ月、同じく Santos のPraia Tose' Menino 6,500回線を経て、CUBATÃO. 4,000回線、Uiconte de Carualho. 1,200回線、

Enseada.2,500回線, Guauya 12,000回線(1978年5月完了)以上 Baixada Santista
の工事完了ができた。

又、これらと併行して、ANDREWのアンテナ据付工事並びに目下工事中の TELEMATO-MATO
GROSSOのMicro Onda 撤去23局, これを16局へ移設工事。CIDADE OLIAN(S.P)PE-
RUIBE等の新設交換機工事, 日本電気関係, 更にCOMPANHIA PAULISTA FORCA E LU-
ZのBauru,Ribeirão Preto,ARARAQUARA, いずれもSão Paulo 内の移設工事を行う等
今日に成長した。

営業特色:

国内及び国外に於ける通信電話施設に対する調査設計施工事業の工事請負を主体とした営業方針
のもとに、一般電機計装工事請負, その他多角的に会社組織の発展を図ると共に、青年技術者の技
術向上とスタッフ育成を図り産業開発に寄与することを目的として運営する。

必要職種名: 電気工事士・マイクロウェーブ技能者

引受工業移住者数: 6名

担当者から移住者への要望事項: 伯國の産業開発に貢献する意欲のある青年

会 社 概 要

1. 会 社 名

DENPABRAS-Ele tro telecomunicações Ltda.

2. 所 在 地

Estrada do Rio Pequeno, 775 Butantã-São Paulo

3. 創 立 年 月 日

1972年5月24日

4. 資 本 金

CR\$ 1,150 (9,191,950円)

5. 代 表 者

FUJIO YAMAASA

6. 売 上 高

千CR\$ 24,000 (1977年現在)

7. 従 業 員

110名(日系67名)

4 デンパブラス商事(有)

同社はNEC do Brasil 製品を主体とした宅内通信電話器の販売及び据付・保守を営業の中心とし、技術と販売の高度化と人間育成を図り、国内の宅内通信電話網の拡張販売と生活向上に寄与することを目的とする。

特色：

宅内通信、電話器に関しては販売よりアフターサービスまで完全に出来る高度の技術と高度の販売員を有する。

必要職種名：

宅内電話・キーテレホン・PBX・技術者

会 社 概 要

1. 会 社 名
DENPABRAS Comercial Ltda.
2. 所 在 地
R. Almeida dos Gusas, 255
V. Mariana, Centro
3. 創 立 年 月 日
1975年5月
4. 資 本 金
千CR\$ 50000 (3,996,500円)
5. 代 表 者
FUJIO YAMAASA
6. 生 産 品 目
宅内電話・キーテレフォン・PBX
7. 売 上 高
千CR\$ 9,300 (1977年12月現在)
8. 従 業 員
30名(日系9名)



同社の製品キーテレフォン

5 ボビエル・ヤマト・エンジニアリング(株)

1973年、大阪市に本社をもつヤマト電気(株)がボビエル・エンジニアリング(有)に資本参加。

1974年に会社形態を株式会社に変更し、ボビエル・ヤマト・エンジニアリング(株)と称し、現在に至る。

同社はブラジル設備業界大手企業の一社であり、ブラジル系企業（I. B. M, BOSCH, ペトロブラス等）に顧客が多い。

工事内容としては、電気、計装、空調、管工事等である。

引受工事移住者数：10名

担当者から移住者への要望：困難に挑戦する気迫あふれる人材で、顧客の為に、ブラジル語のセンスを備えている人物

必要職種名：電気・計装・空調・管工事の設計及び施工技術者

会 社 概 要

1. 会 社 名

BOVIEL-YAMATOW S/A. Instalações Industriais

2. 所 在 地

R. Bag'e, 112, Vila Mariana, Centro

3. 創 立 年 月 日

1974年

4. 資 本 金

千CR\$ 2,10000 (16,785,300円)

5. 代 表 者

AKIHIKO KUROYAMA

6. 生 産 品 目

電気・計装・空調・管工事

7. 売 上 高

千CR\$ 45,350 (1977年現在)

8. 従 業 員

450名 (日系35名)

6 メイデン設備工事 (有)

三菱重工のミナス・ジェライス工場拡張工事を請負ったサンパウロの設備会社の従業員が、その工事主任を中心として独立し、1967年4月に工事会社を設立した。同社の受注先はC. B. Cが殆どであるが、1976年には、ペトロブラス（ブラジル石油公社）の認定工事会社の一つに指定され、急速な伸長を続けている。

現在はペトロブラスの水素発生装置の工事を São José dos Campos で製糖会社 São Mastinho の80トンボイラー据付工事を Ribeirão Pires で行っており、特に製糖会社のボイラーは3段ボイ

ラーとよばれるもので、特殊なバランスボイラーでブラジルでは初の工事である。その他に、ミナス・ジェライス州の Tuiy de Fora の C.P.M (金属会社) での硫酸亜鉛工事を施工中であるが、これはプラント工事の中でも特に高度の技術が要求されるものであり、なかでも硫酸プラントは、国産でははじめての工事で脚光を浴びている。

必要職種名：大型設備据付技能者

担当者から移住者へ要望：仕事柄、長期の出張が多いのでこれを厭わない者。

会 社 概 要

1. 会 社 名

MEIDEN- MONTAGENS E INSTALAÇÕES INDUSTRIAIS LTDA.

2. 所 在 地

(本社) Pca. Quintino Bocauva 58 VARGINHA M.G.

(工場) Pca SOL Nascente S/No VARGIN II A

3. 創 立 年 月 日

27-04-67

4. 資 本 金

千CR\$ 10,000~8,000 (31.97 2000円)

5. 代 表 者

RYOZO TAKEI

6. 生 産 品 目

製品物一般

7. 売 上 高

千CR\$ 60,000 (1979年)

8. 従 業 員

350名 (日系9名)

9. 工 場 規 模

建物 1,000 m²

7 ATA 燃焼工業 (株)

1938年リオデジャネイロ州ペトロポリス市に創立。小型煙管ボイラの製作を開始。以来、煙管ボイラについてはブラジルのトップメーカーとして成長してきた。

1973年三菱重工が所有者 FLORES 氏の要請により、株式 60% を取得、管理経営に当ることとなった。その後 FLORES 氏の退陣に伴い株式を譲受け現在 92% を所有、その発展に努めている。現在ブラジル国内での煙管ボイラのトップメーカーとして多数の顧客の需要に応えている。既納入台数約 6,000 台、年間 500～600 台の生産を行っている (市場シェア 約 50～60%)。



工場 前 景

会 社 概 要

1. 会 社 名

ATA COMBUSTÃO TÉCNICA S.A

2. 所 在 地

本社及び工場 (CASCATINHA)

RUA MACHADO FAGUNDES, 269. BAIRRO CASCATINHA, PETRÓPOLIS
RIO DE JANEIRO

工場 (CARANGOLA)

ESTRADA DIVINO ESPÍRITO SANTO, 1100, BAIRRO CARANGOLA
PETRÓPOLIS, RIODE JANEIRO.

3. 創 立

1938年

4. 資 本 金

千CR\$ 33,000 (263,769,000円) (三菱重工 92%)

5. 経 営 者

社 長 滝 猛

副 社 長 浅 田 俊 行

営 業 担 当 山 中 晴 雄

ATIL (販売会社) 担 当 鈴 木 彰

6. 生 産 品 目

煙管ボイラ・熱媒ヒーター・温水ボイラ・タンク・圧力容器・工業用バーナー・ポンプ・ファン
コンプレッサー

7. 従 業 員

680名(1978年10月)

8. 売 上 高(1978年度)

売 上 千CR\$ 290,000 (2800,000,000円)

9. 工 場 規 模

CASCATINIA	敷 地	5,716 <i>mf</i>
	建 物	4,744 <i>mf</i>
CARANGOLA	敷 地	176,984 <i>mf</i>
	建 物	1,700 <i>mf</i>

8 テレネッチ電子通信(有)

当社は1973年12月会社設立登記を行ない、主として伯国電話公社の局設備(電話通信設備)の設計、新增設改造工事、保守、アフターサービスを目的として1974年1月より操業を開始した。当初はNEC do Brasil(日本電気のブラジル現地会社)がサンパウロ、リオデジャネイロ、エスピリットサント、ミナスジェライス各州の電話公社に納入した電話自動交換機(NC-100およびNC-230型)の回路改造工事。立会検査代行、巡回サービス等の業務を請負い1976年6月迄に延300局を実施。又、この仕事と併行してCTB(LCIA Telefonica do Bodado Campo)より加入者搬送電話据付工事、また、電話局内ケーブル並びに配線端子工事、局外架空ケーブル工事等を受託。現在施行中。又この間、1976年1月~7月迄ボルクスワーゲン社よりタウバチー新工場の電話新ケーブル新設工事、並びに800回線自動交換器(シーメンス社製)のサンベルナルド工場からタウバチー工場への移設工事を受託。又、1977年8月よりサンパウロ電話公社(TELESP)より同本社のD.D.D. D.D.1(市外、国際自動ダイヤル呼出方式)の新設工事およびArthur Nogueira局、移設および新設工事その他4局の移設工事を受託目下施行中である。

特 色:

日本製交換設備だけではなく、当国にある外資系通信機器メーカー(エリクソン、シーメンス、スタンダード、フィリップス各社)の現地会社がブラジル各州の電話公社に納入した各電話交換局設備(主として自動交換機)の新增設、改造、移設工事を専門に取扱い、日本での技術を基礎として現在ブラジル国通信省が石油ショックの影響による通信関係予算削減による国内遊休通信設備活用計画に沿った工事を施行中で、現在伯国がもっとも必要とする経済合理化、技術合理化の両面で特殊技術を通じて全面的に協力をを行っています。

必要職種名:

電子通話技術者(主に自動交換機回路の判る者)

通信ケーブル接続技術者(各種通信ケーブルの接続の出来る者)

担当者から移住者へ要望：

- 1 技術面でのプロ意識をもっている人
2. ポルトガル語を1日でも早くマスターするという意欲を持っている人

引受工業移住者数：2名

会 社 概 要

1. 会 社 名

TELENET Eletronicae e Comunicaçoes Ltda.

2. 所 在 地

(本社) Ruados Estudantes, 242 Sala 18 Liberdade, Sanpaulo.

3 創 立 年 月 日

1973年12月4日

4. 資 本 金

CR\$ 100,000.00(799,300円)

5. 代 表 者

TOSHIMASA YAMAMOTO

6 生 産 品 目

電気通信工事

7. 売 上 高

千CR\$ 1,300,000(1978年6月現在)

8 従 業 員

20名(日系3名)

9 都島エンジニアリング(株)

同社は1974年3月、日系人及びブラジル人技術者を中心に日本から移住して来た空調技術者と共に、電気工事一般、水道工事及び空調工事を主に設立された会社である。

業務の多角化方針により、1977年よりミナス州ペロ・オリゾンチに支社を置く。特にペロ・オリゾンチ社は空調機器販売を目的に、関連販売会社「都島商工(有)」を設立した。

同社の主な取引先は、日系企業は少なく、欧米系進出企業が大半を占めている。

必要職種名：電気工事士・空調設備技能者

引受工業移住者数：7名

担当者から移住者へ要望：ブラジル社会に早く慣れる為に言葉を早く覚えて欲しい。

会 社 概 要

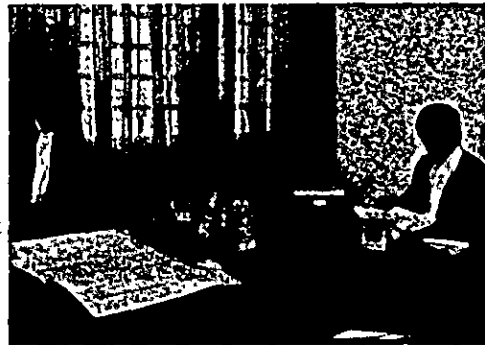
1. 会 社 名
MIYAKOJIMA S.A. Instalações Industriais.
2. 所 在 地
(本社) R. Nova York, 565, Sumaré Zinho, S.Paulo.
(支社) Av. Amazonas, 1927, B.Horizonte.
3. 創 立 年 月 日
1974年3月
4. 資 本 金
千CR\$ 8,000,000(63944,000円)
5. 代 表 者
ATSUMI KOKUBO
6. 生 産 品 目
各種工事設計施工請負
7. 売 上 高
千CR\$ 70,000(1978年現在)
8. 従 業 員
442名(日系30名)

10 サニー電気商工(有)

1969年8月、工場、ビル、事務所、一般家庭の電気設備工事一般を主業務とするサニー電気工事社を設立。1972年日本より7名の技術移住者を呼寄せ組織作りに傾注した。当初はJATIC.S/A



サニー事務所前景



設 計 部

の下請け工事を行ってきたが、独立・独歩を目指し徐々に下請けを離れ、独立の営業活動に専念するようになってきた。1974年Rio方面の受注を担い、リオ支店を開設、I.H.Iの下請けをメインとして行事を行っている。1974年に設立された同社の傍系会社「サニー電気商工」が受注し、その工事面を「サニー電気商工」が担当するという形に分れていたが、現在は組織は一本化して経営している。主な受注先としては、都築紡織、前川製作所、YKK-吉田工業、I.H.I. I等である。

必要職種名：電気工事士・電気機器設計製図工

引受工業移住者数：12名

担当者から移住者へ要望：会社の中堅幹部になるのだという強い責任感をもっている人。

会 社 概 要

1. 会 社 名
SANNY-Com.e Instaladora Ltda.
2. 所 在 地
R. Getúlio Vargas Filho, 578, Cidade Vargas-S.P.
3. 創 立 年 月 日
1974年5月
4. 資 本 金
千CR\$ 40000(3,197,200円)
5. 代 表 者
YOSHIO YAGYU
6. 生 産 品 目
電気・水道・空調工事
7. 売 上 高
千CR\$ 40,000(1978年度)
8. 従 業 員
100名(日系20名)

11 エレクトロ・プラネット(有)

同社はブラジル通信産業の揺籃期にあたる1960年代の終りに創立。NEC、協和電設等の下請けとして、ブラジル連邦及び各州電信電話公社発注の各通信工事に従事し今日に至っている。

一方、1976年より工場建物その他の建設・建築工事関係に進出。さらに、1977年にはエスピリット、サント州々都ヴィトリア市に支社をおいて、Uale do Rio Doce社のベレット工場のメインテナンス業務も行っている。

特 色：

戦後技術移住者を中核とし、これに日系二世及びブラジル人を組合せた若い会社で、同志的かつ家族的結合を特色としている。

必要職種名：計装関係技術者

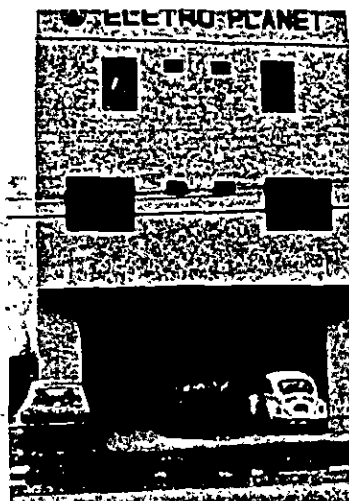
担当者から移住者へ要望：

技術の熟練度もさることながら、ブラジルという日本の延長ではない国で生き、何かを掴むのだという自覚と強固な意志をもつ者であって欲しい。

引受工業移住者数：17名



工 事 現 場



事 務 所 前 景

会 社 概 要

1. 会 社 名
ELETRO PLANET LTDA.
2. 所 在 所
(本 社) RUA TEODORO SAMPAIO, 2534/50 LOJA 07 E30,
PINHEIROS, S. P.
(事業所) SÃO PAULO. VITORIA-E.S. RIO DE JANEIRO.
3. 創 立 年 月 日
1969年4月1日
4. 資 本 金
千CR\$ 2,000 (15,986,000円)
5. 代 表 者
YOSHIAKI TAKAHASHI

6. 生産品目
通信関係工事一般・工場メンテナンス
7. 売上高
千CR\$ 50,000(1978年目標)
8. 従業員
250名(日系120名)

12 三栄(株)

1972年12月、日系人数人が資本を出し合って、一般農機類(AGRARE、CLARK、MILLER等)の販売を開始。1977年飛躍を目指して株式会社として発足。78年2月、マラニョン州サンルイス



修理工場全景

市に系列会社 IMAQ - Importador maquina Ltda. を創立。同年8月同支店をピアウイ州テレジーナ市に開設した。上記の他、パラ州、カスタンヤル、パラゴミナス、マラニョン州、カンアス、イツペラ、トリースに支店を有する。

必要職種名：トラクター・重機類機械修理工

担当者から移住者へ要望：腰を落着けて継続勤務する性格の人

会社概要

1. 会社名
SANEI S/A
2. 所在地
RD.13R-316, KM11, MUNICIPIO ANANINDEVA, PARA'
3. 創立年月日
1972年12月15日

4. 資 本 金
千CR\$ 8,200.00(65,542,600円)
5. 代 表 者
YOSHIO MURANAGA
6. 生 産 品 目
販売・修理 農業及び土木建設機械類
7. 売 上 高
千CR\$ 84,000(1978年1月~9月)
8. 従 業 員
81名(日系12名)
9. 工 場 規 模
敷 地 26,000 m²
建 物 2,100 m²

〈 製 造 業 〉

食料品製造業	
1	トーマン製油㈱ 23
2	アガール商工㈱ 24
〈繊維工業〉	
1	ブラジル織紡㈱ 26
2	ブラジルクニシカ㈱ 28
3	ブラ拓製糸㈱ 29
4	織紡テキスタイル㈱ 31
5	テスコ繊維工業㈱ 32
6	ラニフ、シオ・クラシキ㈱ 34
7	コトニフ、シオ・クラシキ㈱ 35
8	ブラジラーナ繊維工業㈱ 37
9	ブラジルコーベス商工㈱ 39
〈家具装備品製造業〉	
1	前田木工所㈱ 41
2	ブラジル大和家具商工㈱ 42
〈パルプ・紙・紙加工品製造業〉	
1	パベロッキ商工㈱ 44
2	ブラジルクスガアルパム㈱ 46
3	ブラジル永大木材㈱ 47
〈化学工業〉	
1	サンスイプラスチック工業㈱ 49
2	ブラジレイハラ化学工業㈱ 51
3	ブラジル富士写真フィルム㈱ 52
4	ブラジル北興化学農薬商工工業㈱ 54
5	ファナック化学工業㈱ 55
6	ニ井産科㈱ 57
7	タキプラス化学工業㈱ 59
8	インバーザバクリスタ化学工業㈱ 60
〈薬業〉	
1	ブラジル特珠陶薬㈱ 61
〈機械製造業〉	
1	旭森機械㈱ 64
2	加藤精機㈱ 65
3	バルジニア組立㈱ 68
4	ブラジル久保田鉄工㈱ 68
5	豊和機械工業㈱ 70
6	ブラジルN.S.K商工㈱ 71
7	C.B.C重工業㈱ 73
8	ブラジルヤンマー㈱ 77
9	ポリスピ商工株式会社 79
10	宿屋精造㈱ 80
11	オーエスジー精密工具㈱ 82
12	シンクロナイズ金属工業㈱ 84
13	ブラジルソノボ工業㈱ 85
14	モダラソンS.N㈱ 86
15	笹崎工業㈱ 87
16	フジメッキ金属工業㈱ 89
17	南米タカラベルモント家具商工㈱ 90

<電気工業>

1. サトキョウ電球工業㈱ 92
2. チャーリー電子工業㈱ 93
3. 日立ライン電気工業㈱ 95
4. ブラジル東芝㈱ 96
5. ブラジル日本電気㈱ 98
6. ブラジルナショナル電子部品㈱ 99
7. ジェンテック商工㈱ 101
8. WTW電気工業㈱ 102
9. イタイン電機㈱ 103
10. 山崎電子工業㈱ 105
11. スプライス電気工業㈱ 106
12. コクメイ電球㈱ 107
13. ブラジル東光㈱ 108
14. イントラール㈱ 110

<通信関連機械器具製造業>

1. ブラジルアールオーム電子工業㈱ 112
2. デルマ通信㈱ 113

<輸送用機械器具製造業>

1. 中田商工㈱ 115
2. ブラジルトヨタ自動車㈱ 116
3. プラスベックス商事㈱ 119
4. モトカール起重機製作所㈱ 120
5. 伯國精機㈱ 121
6. クレメンテンフアリ㈱ 122

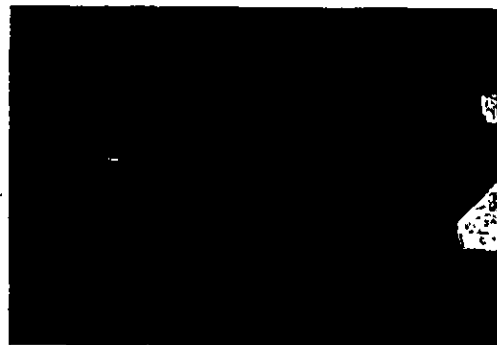
食 料 品 製 造 業

1 トーメン製油(株)

1968年株式会社トーメンは、BRASMEN S.A社の依頼により、植物油製造工場並びに繰綿工場を買取り、SUPERFINE ÓLEDS UEGETAIS Ltdaを設立し1969年2月より本格的操業



工 場 風 景



採油原料(綿実)の荷おろし風景

を開始した。主力製品は綿実サラダ油、大豆油、綿実粕、コットン・リントーにて現在年間、綿実サラダ油13,000m/T、大豆油1,500m/T、綿実粕45,000m/T、コットン・リントー12,000m/T生産しており、綿実サラダ油、大豆油はMENU印として、サンパウロ州、ミナス州、マゴト・グロソ州の一般家庭用に広く愛用されている。

1971年社名を“Okos Menu Ind.e Con Ltdaに変更、商品のイメージ・アップを図った。1973年には地元棉花栽培業者からの要望もあり、繰綿工場の全面操業を開始した。

株式会社トーメンのBRASIL進出は、1937年にさかのぼる。当時、Algodocia do Sul Ltda.の社名のもとに繰綿工場経営並びに棉花の対日輸出等活発な活動をしていた古い歴史があり、現在はTOYOMENKA DO BRASIL EXPORTACÃO E IMPORTACÃO Ltdaに社名を変更各分野にわたり総合商社としての機能を発揮している。MENU社は株式会社トーメンの100%出資子会社として、別個に設立された独立法人である。

SAMBRA、CARGILL社等、グレンメジャーの中に在りてよく健闘、極めて順調な発展を続け、サンパウロ州ノロエスタ地方の経済発展に寄与している。

尚Meni社としては日本からの技術移住者をできるだけ多く迎え入れ、植物油製造の分野ばかりでなく食品工業の方面に発展する方針である。

会 社 概 要

- 1 会 社 名
OLEOS "MENU" IND E COM LTDA.
- 2 所 在 地
(本社) AV. BRIG LUIZ ANTONIO 2344 50 AND, SÃO PAULO
(工場) R. AFONSO PENA S/N GUARARAPES. SÃO PAULO.
3. 創 立 年 月 日
1968年5月
4. 資 本 金
千CR\$ 36,201.00 (289,354,593円)
5. 代 表 者
KENJI NAKAYAMA
- 6 生 産 品 目
綿実サラダ油・大豆油・綿実粕・リンター・ステアリン・精綿
7. 売 上 高
千CR\$ 401,032 (1978年3月現在)
8. 従 業 員
229名(日系34名)

2 アガール商工(有)

1973年寒天製造を目的に同社を設立したが、当初は原料の海そう(オゴ草)を採取する権利が水産漁業庁よりおりず、結局3年後の1976年に権利を取得し突動し始めた。同社の製品としては粉末寒天が主で他に、日系及び中国系向の角寒天、糸

天、糸寒天であり、その生産量は月産約2 tonで一部の輸出を除き、他は全部国内の食品加工業者へ向けられている。水産漁業庁が認可した天産物の採取権を有している業者はブラジル全国で9社あり、そのうち寒天を製造しているのは同社の他に一社あるのみで競争はなく、寒天製造に関しては独占の感がある。将来は関連した製品として、カラギナン(アイスクリームの原料、ゼリー菓子の原料)等を生産する予定である。

引受工業移住員数：1名



工 場 前 景

必要職種名：水産加工系技術者

会 社 概 要

1. 会 社 名
AGAR Brasileiro Ind. e Com. Ltda.
2. 所 在 地
〔本社〕 R. Lavapes, 163, Centro
〔工場〕 João Pessoa
3. 創 立 年 月 日
1973年
4. 資 本 金
千CR\$ 2,500.00 (19,982,500円)
5. 代 表 者
SETOGUCHI, WATANABE, NAGEISHI, UEMURA.
6. 生 産 品 目
寒天製造
7. 売 上 高
千CR\$ 10,000 (1979年度)
8. 従 業 員
45名 (日系3名)
9. 工 場 規 模
敷 地 11,000 m²
建 物 1,000 m²

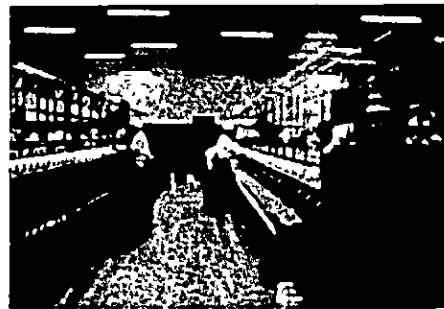
織 維 工 業

1 ブラジル織紡

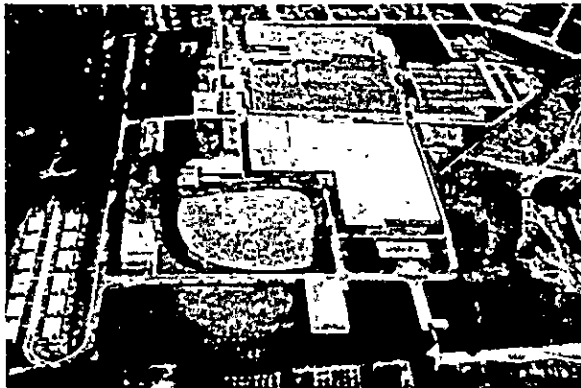
織紡のブラジルにおける歴史は古い。1928年、時の政府の要請により子会社南米拓殖(株)を設立。アマゾン開発に乗り出したのがその第一歩である。第二次大戦を経て現在その姿を変えてトメアス産業組合にその血は流れている。

ブラジル織紡(株)は、1956年11月9日に会社を設立し新工場をサンパウロ市からリオ・デ・ジャネイロ市に向って90kmのサン・ジョゼ・ドス・カンポス市に建設した。

誕生時1万坪の工場もその間23年を経て現在10万6千坪となり、さらにピラスンガ、レーメに織、綿工場をもっている。



紡 糸 部 門



工 場 全 景

製品の綿糸は、生産の55%を国内向けとし、主としてサンパウロ州、サンタ・カタリーナ州の各地の織物工場の需要に応じ、15%は欧州、カナダ、東南アジアを主体とした輸出に向けている。同社の輸出は、1965年に北米向けに始められ、ブラジルから北米向けへの輸出は不可能であるとの当時の一般通説に敢然と挑戦し為し送げたものであり、

その時の実績を認められて、一時はアメリカがブラジルに与えた綿糸クォータの70%以上を占めたことがあったが、その後アメリカの伯国綿糸に対する課徴金制度により、北米向けは中止して居るも、伯国綿糸輸出のパイオニアとしてブラジルの外貨獲得に多大の協力をしている。

また、同社はその設立時より現地日系コロニアに株式を公開し、コロニアとの共存共栄の思想を具現化した先駆者でもある。つまり1956年同社が有限会社より株式会社に改組の際、同社の27.3%を公開し、現地コロニアの資本参加を得ることに成功した。

織紡本社のブラジルに対する将来構想は雄大であり、目下日本に於いて展開中の繊維、化粧品、食

品、薬品、住宅環境事業を5つの柱とした所謂「ペンタゴン」経営を機をみて順次ブラジルにも実施を目指している。

ジュンジアイ市に織布・加工一貫のKAMEBO TEXTIL社があり、更にパラナ州コルネリオ・プロコピオ市にKAMEBO SEDA社の製糸工場もある。

工場所在地のサン・ジョゼ・ドス・カンポス市は、鐘紡進出当時、人口4万人ブラジル企業のみしかなかったが、外国系企業の進出も増大し、人口は30万になっている。

企業としては、GENERAL MOTORS(自動車)、JOHNSON AND JOHNSON(薬品)、ERICSON(電器)、ALPARGATA(製靴)、KODAK(写真)、EATON(電器)、PARAIBA, RODOSA, MATARAZZO(繊維)、松下電器、日立電気(電器)、鐘紡等の企業の他に約20社が既にあり、更にブラジル屈指の規模といわれるPETROBRAS、多国籍企業のPHILIPS、日系のSONYも進出を決めて整地の段階に入っている。

会 社 概 要

1. 会 社 名

FIAÇÃO E TECELAGEM KANEBO DO BRASIL S. A.

2. 所 在 地

(本社・工場) COLÔNIA PARAÍSO, SÃO JOSE DOS CAMPOS,
EST. DE SÃO PAULO

3. 創 立 年 月 日

1956年11月

4. 資 本 金

払込資本金 千CR\$ 1,529,550

日本鐘紡(80.65%) 千CR\$ 1,233,582.0

5. 経 理 者

代表取締役 別役 道島

“ (生産) 麻生 賢哉

“ (営業) 土井 年男

“ (財務) 平野 達夫

6. 生 産 品 目

棉糸・製綿・製造販売

7. 売 上 高

千CR\$ 714,272(1977年度)

8. 従 業 員

1,501名(日系261名)

9. 工場規模

Sos Jase dos Compos	敷地	262,155 m ²
	建物	66,509 m ²
Pisasununga	敷地	159,698 m ²
PiRassunonga	建物	9,298 m ²
Leme	敷地	41,000 m ²
	建物	10,431 m ²

2 ブラジルユニチカ(有)

1958年6月会社設立登記。1961年11月にSão Paulo市より125kmの地アメリカーナに工場設立し、操業を開始。当初10,100錠の規模にてスタート、その後逐次増設を重ねて現在31,056錠の綿紡績工場となり、現在に至っている。

特色:

ブラジル産の綿花を使用し100%綿糸の生産を行ない特に最近、メリヤス糸の生産に重点をおき客先の評判は非常に良い。製品は70%がサンパウロ市に向けられ、地元アメリカーナ市に15%が輸出されている。

会社概要

1. 会社名
UNITIKA DO BRASIL INDUSTRIA TEXTIL LTDA.
2. 所在地
VIA ANHANGUERA KM125 AMERIKANA, SÃO PAULO.
3. 創立年月日
1958年6月
4. 資本金
千CR\$ 41,500 × 7,993 = (331,709,500円)
5. 代表者
TOSHIRO SUGAHARA.
6. 生産品目
綿糸
7. 売上高
千CR\$ 320,000 (1978年1~12月)

8. 従業員
618名(日系36名)
- 9 工場規模
敷地 300,000 m²
建物 18,600 m²
10. 設備規模
製紡機 31,760種

3 ブラタク製糸(株)

ブラジル在住日本人の工業面への進出企業としては古い歴史をもつものの一つである。当時日本からの移住者のなかには養蚕経験者が多かったこともあり、集団移住地入植者に対し養蚕奨励が行なわれ、ブラジル拓殖組合では小規模な製糸工場を創設したが、1941年移住者が共同出資して買収、有限会社として発足させたものである。

(1) 業界一の実績と歴史

同社の生産高は年々順調な伸長をみせ、39年間に及ぶ社歴とともに業界第1位を誇っている。

製品の40%スイス、アメリカ、30%は日本に輸出し30%が国内消費でサンパウロ、リオ・デ・ジャネイロ、ペトロポリスの各方面の織物工場に送られ、高級婦人服、下着縫糸、ネクタイ等の原糸となっている。

戦前の養蚕農家は殆んど日系であったが、今日では完全に逆転し、ブラジル人の方が多く益々増加する傾向にあるが、地方別養蚕農家数の推定は別表のとおりである。



工場全景

(2) 養蚕から工場生産まで一貫して合理化を推進

同社の従業員1,400名のうち、生糸生産技術の研究・開発指導を担当する社員は日系人であり、日本の高校(安中蚕糸高校)・大学(旧上田高蚕、西ヶ原高蚕、京都高蚕)で専門教育を受けた技術者が多数これに従事している。

しかも、これらの技術者は日本の工場技術者のように工場生産技術の改善・管理ばかりでなく養蚕家の指導育成にもあたり蚕種製造、養蚕、生糸までを一貫して増産、養蚕農家・生糸加工工

場(企業・従業員)・消費者の三者の共存共栄をモットーとして経営にあたっている。

同社では従業員確保とその生活安定のために、120戸以上の社員住宅を建設し、親子ぐるみ就労できる態勢をしている。

必要職種名：養蚕・製糸・機械・電気

引受工業移住者数：20名

担当者から移住者へ要望：

- ・Bastosという小さな都市で、レジャー施設は少ないので趣味をもって来て欲しい。
- ・定着の気持の強い人

会 社 概 要

1. 会 社 名

FIACÃO DE SEDA BRATAC S.A.

2. 所 在 地

(本社) R. Roberto Simonsen, 62, Centro.

(工場) R. Gal. Osório, Bastos. R. Planaltina Londrina-Pa.

3. 創 立 年 月 日

1941年4月

4. 資 本 金

千CR\$ 152,000,000 (1,214,936,000円)

5. 代 表 者

KENJI AMANO.

6. 生 産 品 目

生糸・生糸摺糸

7. 売 上 高

千CR\$ 300,000 (1979年1月現在)

8. 従 業 員

1,400名(日系350名)

9. 工 場 規 模

R. Gal. Osório, Bastos.

敷地 160,000 m²

建物 100,000 m²

R. Planaltina Londrina-Pa.

敷地 250,000 m²

建物 20,000 m²

10. 設備規模

自動繰糸機	12 セット
乾 繭 機	3 基
煮 繭 機	3 "
揚 返 機	15 基 (300 窓)
繰 糸 機	8,000 錠

4 縫紡テキスタイル(株)

1972年7月に、世界的ブランドを誇るカネゴウプリントの一大海外拠点として且つ伯国輸出振興策に寄与する目的をもって創立した。1973年サンパウロ市より約60kmの地点に工場を設立。1974年より本格的に操業に入った。操業を開始以来、漸次初期の目的に沿い、内外各方面より好評を博するところとなった。同社は、織機、加工の一貫メーカーとして極めてユニーク、且つファッション・クリエーターの性格より、若さにあふれた企業集団である。

必要職種名：

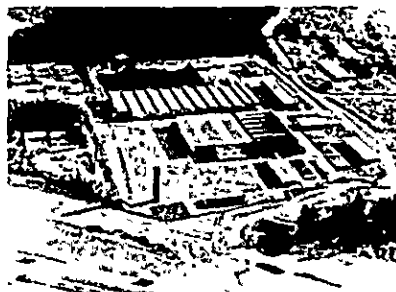
捺染工・加工機械保全工・トレーサー・配色デザイナー・電気技術者・織機技術者

引受工業移住者数：2名

担当者から移住者へ要望：身体強健・意欲旺盛・明朗

工場の作業系統取務：

原糸→織機(操業及び機械保全)→生地原布→準備(毛焼、精練、漂白)→彫刻(原図、トレーサー、彫刻、枠シリンダー製作)→調色(配色及び捺染機製作)→捺染(プリント及びソーピング)→仕上(樹脂加工及びその他加工)→仕立(検査、包装)→製品(検査、包装)。



工場全景

会 社 概 要

1. 会 社 名

KANEBO TEXTIL DO BRASIL S.A.

2. 所 在 地

(本社) KM 64 VIA ANHANGUERA JUNDIAI SÃO PAULO BRASIL

(工場) JUNDIAI

3. 創 立 年 月 日

1972年7月3日

- 4 資 本 金
千CR\$ 101.720(813,047,960円)
- 5 代 表 者
HIDEKAZU IWANAKA
6. 生 産 品 目
綿・合繊混の製織加工
7. 売 上 高
千CR\$ 234,354(1978年3月現在)
- 8 従 業 員
440名(日系97名)
9. 工 場 規 模
敷 地 123,226 m²
建 物 17,582 m²
- 10 設 備 規 模
(織 機)
トヨタGL8 250
(加工設備)
BUSER FLAT SCREEN 2
一ノ瀬 FLAT SCREEN 2
BUSER ROTARY SCREEN 1

5 テスコ繊維工業(有)

高級婦人服地、スカーフ等の手捺染事業を目的として1972年12月、帝人商事(株)、イガラシ(株)三鳩(株)の三社合併にて当地に進出。1973年6月より工事開始、1974年8月開所式を挙行。その後、現地資本導入、増資を重ねて現在に至る。現在では当地オリジナル捺染製品の開発と工賃ベースで精練→仕上→捺染→蒸加工→仕上の捺染工程にて月産25万Mに達し、業績は順調に伸長している。

特 色：

地域社会への同化をモットーに企業のブラジル化を志向している。当社採用の日本式捺染システムは、全く当国のそれと異なる為、特にスカーフ捺染に於いては採集わずか4年で独占的になっている。

必要職種名：製版技能者・調色技能者・トレス技能者

引受工業移住者数：1名

担当者から移住者へ要望：独身者であること

会 社 概 要

1. 会 社 名
TESCO INDUSTRIA TEXTIL LTDA.
2. 所 在 地
(本社) ESTRADA SUZANO-RIBEIRÃO PIRES, 2520. SUZANO-SP
(工場) SUZANO S.P.
3. 創 立 年 月 日
1972年12月14日
4. 資 本 金
千CR\$ 6,711,100(53,641,023円)
5. 代 表 者
EIICHI KASAMATSU.
6. 生 産 品 目
高級婦人服地・スカーフ・クッション等
7. 売 上 高
千CR\$ 4,000(1978年10月現在)
8. 従 業 員
188名(日系30名)
9. 工 場 規 模
敷 地 80,000 m²
建 物 7,200 m²
10. 設 備 規 模

ジンガー	2	スチーマー(高圧むし機)	1
ウインス	5	ボイラー	2
セッター	1	製版器	1

6 ラニフィシオ・クラシキ(有)

当社は1957年8月、倉敷紡績(株)がNCR\$5,000を出資し設立し、1959年5月5,600錠をもって操業を開始した。設立した場所はRioGrande do Sul州の首都ポルトアレグレ市より国道116



工場前景



紡績部門

号線23kmの地点でサブカイア・ド・スール市内にある。Rio Grande do Sul州はブラジル羊毛の殆んどを生産している。(1977年来、現在の州内飼育数約1,200万頭で同年の粗羊毛生産量は約2万7千tとなっている。)従って、同社は主原料である羊毛生産地方の真只中に工場を建設することになる。それ丈に当社の進出は州政府も非常な熱意を示し機械設備の無為替輸入許可、免税措置等について特別の配慮を払った。又、郡税(地租家屋税)も10年間免税の恩典に浴した。

機械施設は当初の5,600錠から現在12,400錠で製品の販売先は35%が輸出(西独、カナダ、日本、その他)、65%がブラジル国内市場への販売である。国内市場のうち約90%がサンパウロ地区、残り10%はRio Grande do Sul州となっている。

必要職種名：染色技術者・機械技能者(保守)

担当者から移住者への要望：定着して働いてもらえる人。 語学的センスを具えている人。

会社概要

1. 会社名

LANIFICIO KURASHIKI DO BRASIL S.A.

2. 所在地

(本社) AV. Senador Lucio Bitencourt, 1680 Sapucaia do Sul-RS.

(工場) Sapucaia

3. 創立年月日
1957年8月26日
4. 資本金
千CR\$ 62,000 (495,566,000円)
5. 代表者
TAKESHI OMORI
6. 生産品目
純羊毛機織糸・メリヤス糸・手織毛糸・ニット
7. 売上高
千CR\$ 210,000
8. 従業員
670名(日系25名)
9. 工場規模
敷地 135,000 m²
建物 24,000 m²
10. 設備規模
羊毛紡績 12,400錠

7 コトニフィシオ・クラシキ

倉敷紡績は1957年8月日本からの羊毛紡績進出の第1号としてRio Grande do Sul州にL-COTONIFICIO KURASHIKI DO BRASILを設立したが、つづいて1972年11月綿紡績のCOTONIFICIO KORASHIKI DO BRASILを設立し、新工場をパラナ州首都から西へ約106km(サンパウロ市から西南へ約500km)のポンタ・グロッサ市に建設し、1974年4月から操業に入っている。

パラナ州はブラジル第二の棉花生産地であり、一大繊維工業地帯であるサンタカタリーナ州に隣接している。ポンタグロッサ市は人口20万人(日系約200世帯)でパラナ州の南北東西を結ぶ交通の要に位置し輸出入の為のパラナグワ港にも近い。また、同市は州立総合大学を有する程の立化水準の高い都会で労働力の質・量ともに恵まれている。同社はこ



工場内風景

のような立地条件に加えて、絶えざる品質改善努力や消費者志向の綿への移行等に支えられて操業以来順調な発展を続け「繊維を通じてブラジルの業界に貢献するとともに、地域社会の発展に寄与する」という同社の経営理念を着実に実現しつつある。



工 場 前 景

同社の設備規模は1976年の小刻みな増設を経て現在、精紡機32,000錠であり、純綿糸の月産は350トンでそのうち約65%を国内向けとし、主としてサンパウロ州、サンタカタリーナ州の織物並びに縫物の工場へ直販しており、残り35%は西独を主体とした輸出に向け、ブラジルの外貨獲得に貢献しつつある。これら輸出・内需を問わず当初から同社製品は市場でその品質の安定と優位性を高く評価されて現任に至っている。

同社の企業環境としては、工場所在地のポンタクロッサ市が標高975mという高原の上にあるため湿度が低く温暖な気候に恵まれている。また、同社は生産高がブラジルで第2の大豆、小豆の生産地の中心地に位し日系の大農がその主力をなしている。一方、これと関連して近年農産物関連の世界的大企業（例えば、SANBRA-大豆搾油工場・南半球）、ANDERSON CRYTON 同搾油工場等）が次々と進出し、工業面でも脚光を浴びつつある。なお、日系進出企業としてはMAKBROS（ソバ栽培・販売）、揺磨化成（松ヤニ化工）と同社の3社である。

特 色：

同社はコマ系（コマ工程を経た高級糸）の生産能力が全体の約60%という高率を占め、特に国内向けコマ系では日系紡のトップメーカーに位する。近年このコマ系の需給関係はタイト化の一路をたどりつつあるので、同社は全設備の3交代フル操業を継続し、需要に応じている。

また、同社は1975年末における本社の大幅な増資払込みに加え、その後の高収益によって逐年財務体質が強化され、自己資本比率が70%を超える状態にある。

必要職種名：機械技能者・電気技能者

引受工業移住者数：1名

担当者から移住者への要領：語学、ブラジル社会への適応性および協調性

会 社 概 要

1. 会 社 名
COTONIFICIO KURASHIKI DO BRASIL LTDA.
2. 所 在 地
Av. Visconde de Maua, 4300, Ponta Grossa, PR
3. 創 立 年 月 日
1972年11月22日
4. 資 本 金
CR\$ 105,000,000 (839,265,000円)
5. 代 表 者
TORAO TOMITA
6. 生 産 品 目
純綿糸
7. 売 上 高
千CR\$ 335,000 (1978年1~12月)
8. 従 業 員
112名 (46名)
9. 工 場 規 模
敷 地 220,450 m²
建 物 15,000 m²
10. 設 備 規 模
製 紡 機 31,968 錠 (444×72)

8 ブラジラーナ繊維工業 (株)

1949年ベルギー毛業者により設立された会社で1952年毛紡織として操業開始。同年São Pauloより40kmの地点にあるPoa'に12,100 m²の工場を設立。1964年には繊維が連続しているフィラメント加工系を導入し、美しい仕上げの繊維を製造している。又、1973年5月、東洋紡、三菱レーヨン合併にて同社を買収、丸編機を導入し今日に至る。生産量としては、紡績が100 ton/月、フィラメント加工系40 ton/月、ニット20 ton/月であり、販売先としては殆んどが国内でSão PauloからRio Grande do Sulにかけての織物業者、縫製業者である。

同社の機械は殆んどスイス、ドイツ、日本からの輸入品であり、製錠機20台、フィラメント加工

仮織機3台、丸織機22台保有している。

特 色：

合機紡主体の中堅会社であり、織糸、ニット糸の他、フィラメント加工糸、ニット布綿等多品種製品を生産している。

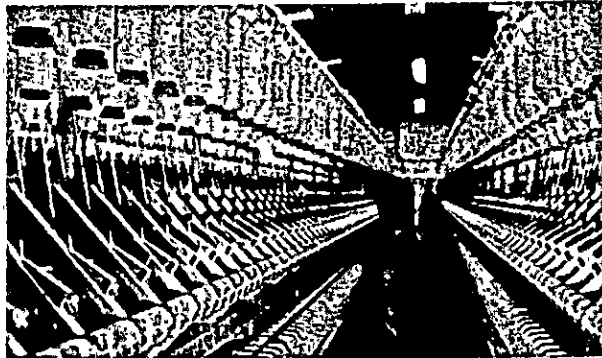
引受工業移住者数：2名

担当者から移住者への要望：

現地技術者を上回る経験、技能が必要であり、積極的研鑽を希望する。



工 場 前 景



織 糸 工 程

会 社 概 要

1. 会 社 名
BRASILANA PRODUTOS TEXTEIS S.A.
2. 所 在 地
(本社) AV. Paulista 1754 - São Paulo.
(工場) AV. Brasil 1230 poa' - S.P.
3. 創 立 年 月 日
1949年
4. 資 本 金
千CR\$ 25,875 (206,818,875円)
5. 代 表 者
KEIJI NAMBA.

6. 生産品目

紡績糸・フィラメント加工糸・ニット

7. 売上高

千CR\$ 160932(1978年3月現在)

8. 従業員

472名(日系21名)

9. 工場規模

敷地 173000 m²

建物 12400 m²

9. ブラジル・コーベス商工(有)

1973年、養蚕業並びに絹業を振興し生糸並びに絹製品を主に主消費国である日本並びに海外諸国に輸出する目的を以て設立された。

日本の生糸自給率は75%を下回り、尚減産の傾向にあり、又、欧州諸国、絹の消費が増大しており、世界的な絹不足であり、生産高の80%は日本欧州に向け輸出されて居る。原料の蚕は伯国産であり、国産化率は100%である。主要製造設備、技術は日本より輸入している。現在は4セット運転しているが、将来は増産を目指して12セット運転を計画中である。同社は経営モットーとして、養蚕家、地域社会(マリア市)企業三者一体の共存共栄をかかげている。

必要職種名：農業技術者(特に蚕糸)

工業技術者(製造機器は運転、保守、電気、ボイラー)

担当者から移住者への要望：長期勤務(最低5年以上)

会 社 概 要

1. 会社名

KOBES DO BRASIL IND E COM LTDA.

2. 所在地

AV. PERIMETRAL 536 MARILIA. EST. S. P.

3. 創立年月日

1973年9月1日

4. 資本金

CR\$ 10,000,000(79,930,000円)

5. 代表者

SHIGERU MITSUI

6. 生産品目

蚕種・生糸・絹織糸

7. 従業員

150名(日系30名)

8. 工場規模

敷地 24,200 m²

建物 9,200 m²

9. 設備規模

繰糸機	4セット(80台)	捲糸機	9
場返機	4セット(160窓)	合糸機	1
乾燥機	1	ホビンまきとり機	4
蒸繭機	1	副産物処理機	1

家具装備品製造業

1 前田木工所(有)

サンパウロには日系の木工所が約60社あるといわれているが同社はその中でも、注文家具・室内装飾・農機具部品・事務所設備・工場設備(作業台等)のメーカーとして特異な存在となっている。

サンパウロとサンベルナルド・デ・カンポの両市には、ユダヤ系の家具メーカーが多数あって小資本の日系人メーカーの入り込む余地はなかなかない状態にあるが、日系木工業者は、日本人の特性である器用さを活用し注文家具メーカーとして応接セット、台所家具などの製作に従事、成果をあげている。

進出企業、新規事務所又は工場の開設に伴う建築チームはブラジル躍進を裏付けるものがあるが、同社では日本からの進出企業の室内装飾、間仕切等に関する注文を一手に引受けている。

最近では東京海上火災新築ビルの内装一切、National Audio工場の視聴覚室をはじめ、BANESP(サンパウロ州立銀行)等のブラジル系企業からの注文も受け工事をしている。

引受工業移住者数: 20名

必要職種名: 家大工・木工技能者

担当者から移住者への要望: ブラジルの虫になる人に来てもらいたい。



工場内部

会社概要

1. 会社名
MARCENARIA MAEDA LTDA.
2. 所在地
R. dos Estudantes, 482.
3. 創立年月日
1963年4月
4. 資本金
CR\$ 7000(559,510円)
5. 代表者
YASSUSHI MAEDA.

6. 生産品目

家具製品・室内装飾・各種木工

7. 売上高

千CR\$ 4,800(1978年度)

8. 従業員

24名(日系10名)

9. 工場規模

敷地 500 m²

建物 400 m²

10. 設備規模

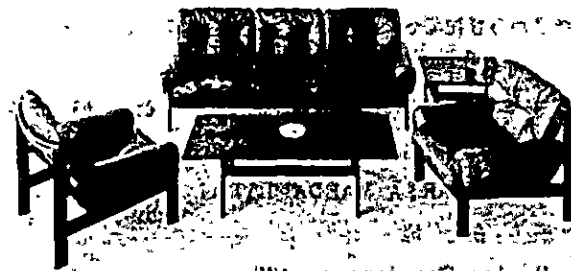
プレス	1	ツビア	4
ボール盤	2	おびのこ	2
丸のこ	4	かんな	2
リッシャデイラ	2	デゼングロッサデイラ	2

2. ブラジル天童家具商工(有)

同社は1974年2月設立。その後ブラジル三井物産及び突板メーカー北三(株)、家具メーカー(株)天童木工で参加して工場建設。1975年2月製品出荷をはじめた。操業当初は天童木工のオリジナル



工場全景



同社の4点セット

デザインの家具を製造し全製品を日本向け輸出。天童木工の販売ルートで全国に販売した。遂次、ブラジル国内及び第三国向輸出を計画。製品の開発を進めており、高級家具メーカーとして確立する為、技術指導、開発援助によりブラジルの高級材料を利用した高品質家具の製造販売をしている。

特 色：

本社、天童木工の優れた技術を取り入れたユニークな家具が特徴である。デザインに関しては、ブラジル人の専門デザイナーに依頼し、高度で洗練された技術で完成させ、他社にない特色ある家具及び木製品である。

必要職種名：機械技能者・生産管理技能者・木工技能者・塗装技能者

引受工業移住者数：5名

会 社 概 要

1. 会 社 名

TENDO BRASILEIRA IND. E COM DE MOVEIS LTDA.

2. 所 在 地

AV. Independência, 3200 - Taubaté-SP.

3. 資 本 金

千CR\$ 5,000(39,965,000円)

4. 代 表 者

SEIGO KIKUCHI.

5. 生 産 品 目

家具・木型・他木製品

6. 従 業 員

95名(日系5名)

7. 工 場 規 模

敷 地 85,290 m²

建 物 3,645 m²

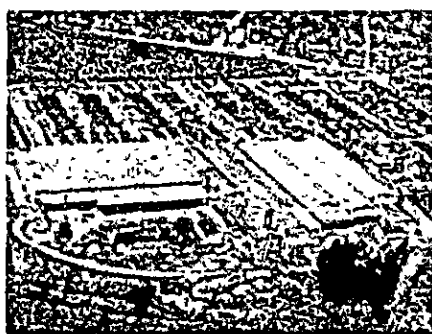
8. 設 備・規 模

ボ ー ル 盤	1	木 工 面 取 盤	5
木工丸のこ昇降盤	1	各 種 鋸	5
コンプレッサー	1	各 種 泡	4
油 圧 プ レ ス	3	溶 接 機	4
旋 盤	3	自動ならい面取盤	2
刃 物 研 削 盤	2	高周波発振機	1

パルプ・紙・紙加工品製造業

1 バペロッキ商工(株)

同社は創立17年目を迎えて、新しい総合ダンボール工場としての設備と製法をととのえとともに、将来原料の確保を目的に、1970年に姉妹会社「レフロスタドラ[®]OK[®]」を発足させた。



工場全景



段ボール箱製造工程

カステロブランコ国道沿いにパルプ材としてアメリカ松(第一農場)ユーカリ(第二農場)の植材を開始、現在では第一農場3,500アルケールから第二農場1,000アルケールを開拓中である。

いずれ、1万アルケールの自己植材を足場としてパルプ工場の建設を目標にしている。

この植材事業と並行して、1975年に企画、現在では日産100トンの段ボール用の紙を生産している。将来は、食品、野菜、果物の梱包用としての段ボール面の製造を目指している。これからは世界的な傾向であるが、ブラジルでも木の箱を使用せず、ダンボール面が代替する時代である。同社は2つの工場を所有しているが、1つは段ボール面を製造しているもので、ここでは月産5,000,000^mを生産、あとのひとつは段ボール面になるまでの紙を製造しているもので、ここでは日産100TONを生産している。

会社概要

1. 会社名

PAPELOK S/A. Ind. e Com.

2. 所在地

(本社) Rua Don Rodó, 34, Ponte Pequeno, S. Paulo.

(工場) São Miguel Paulista, Angatuba.

3. 創立年月日
1962年12月
4. 資本金
千CR\$ 89,000,000(711,377,000円)
5. 代表者
KAZUTOMI TANAKA.
6. 生産品目
段ボール板紙及び製函・植林事業
7. 売上高
千CR\$ 480,000(1978年度)
8. 従業員
600名(日系10名)
9. 工場設備
São Miguel Paulista.
敷地 40,000 m²
建物 21,000 m²
Angatuba.
敷地 1,210,000 m²
建物 8,000 m²
10. 設備規模
- | | |
|-------------------------|---|
| ONDURADEIRA (ダンボール製造) | 2 |
| 印刷機 | 4 |
| GRANPEADEIRA (ダンボール用) | 7 |
| COLADEIRA de FITA(のりつけ) | 1 |
| DOBRADEIRA e COLADEIRA | 2 |
| AMARADEIRA | 2 |
| フォークリフト | 4 |
| 紙再生機 | 1 |

2. ブラジルカスガアルバム(有)

日本の静岡に本社をもつ春日製紙工業が1973年8月にソロカバ市の工業団地に種々の恩典を受けて進出した。

恩典の一つとして同社が使用する機械設備の80%を日本から殆ど無税で輸入した。同社製造のアルバムの台紙は日本でもそのシェア占有率は60%と高く、ブラジルでもそのシェアが高い。アルバムの他に、日本から直接輸入したコーティングマシーンを使用し、薬品、食品、煙草等の上質包装紙をも製造している。アルバムの現月産冊数は、10万冊であるが、今は市場が狭いが、将来は月産20万冊の生産能力を有する機械をフル操業する予定でいる。



工場全景



アルバムの箱詰作業

必要職種名：機械保守技能者、電気技能者

引受工業移住者数：0名

担当者から移住者への要望：定着性のある者

会社概要

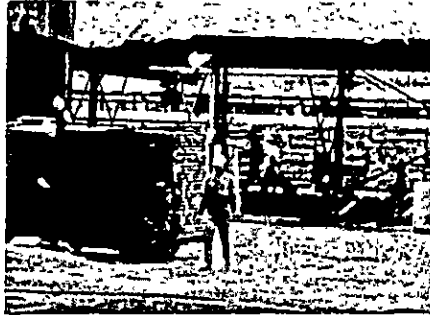
1. 会社名

KASSUGA DO BRASIL INDUSTRIA DE PAPEL LTDA

2. 所在地
Rua Dona Leopoldina, 389 Ipiranga Sao Paulo Sp
(工場) Av Comend Camillo Julio 255 Zona Industrial Sorocaba Sp
3. 創立年月日
1973年8月8日
4. 資本金
千R\$22,500 (17,984,250円)
5. 経営者
斉藤重富
6. 生産品目
フリーアルバム
7. 売上高
千CR\$8,200 (1978現在)
8. 従業員
197名 (日系30名)
9. 工場規模
敷地 250,452 m²
建物 6,401 m²
10. 設備規模
- | | | | |
|-----------|---|-----------|---|
| コーター | 1 | くるみ機 | 8 |
| パンクリーマシーン | 1 | 背まる機 | 1 |
| ウェルダー | 3 | アルバム表紙組立機 | 2 |
| のりつけ機 | 4 | ヒートソーラー | 3 |
| フォトサンブ | 2 | スリッター | 5 |
| うちぬき機 | 1 | プレス機 | 2 |
| 特殊マシン | 1 | | |

3. ブラジル永大木材(株)

永大産業(株)と三菱商事(株)との同率出資で一部現地資本と提携して1973年度より操業を開始した。現地名でEIDAI DO BRASIL MADEIRAS S/Aと称する。木材会社であり、合板ならびに単板の製造を主としている。原料はアマゾンの原始林(パラ州・アマゾナ州)より採集し、製品は一部を国内向けに輸出している。



工場内部

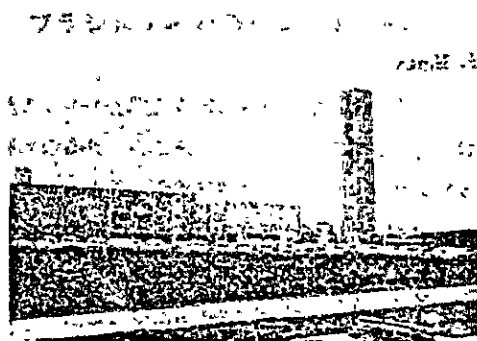
会 社 概 要

1. 会 社 名
EIDAI DO BRASIL MADERAS S/A
2. 所 在 地
Estrada Da Marracuera S/N Icoaraci, Belem, Para
3. 創 立 年 月 日
1973年3月
4. 資 本 金
千CR\$98,500(787,310,500円)
5. 経 営 者
MAMORU UKITSU
6. 生 産 品 目
普通合板, 化粧合板, ランバーエア合板, 単板等
7. 売 上 高
千CR\$30,000(1978.9現在)
8. 従 業 員
800名(日系18名)
9. 会 社 規 模
敷 地 2,530,000 m^2
建 物 15,000 m^2

化学工業

1 サンスイ・プラスチック工業(株)

同社は1966年、特殊ホース類専門の製造工場として、資本金6万クルゼイロスで設立され、1968年1月日本より機械導入を行なって操業を開始した。



工場前景



食堂風景

ブラジルでは、農業機械については、世界の大手メーカーが早くから進出しほとんどが国産化されているが、機械の補助設備であるホース類はほとんどが輸入に頼っていた。同社は、「このホースを自分達の手で」という農業者の出資を主体として発足したものである。

現在、同社の生産品目は、噴霧機用高圧ホース、送水ホース及びタウパウリン製の倉庫、エンセラードそれにコンテナである。噴霧機用消毒ホースは継続的な技術の向上により、耐高圧性と弾力性というホースとしての最も重要な要件を満たし、特に、過去2～3年で生産総量10万メートルであったものが、月産40～50万メートルとなっている。これは、ブラジルの主要産物であるコーヒーのサビ病対策上不可欠のものであり、今後もその需要は伸びていくものと思われる。

消毒用ホース、送水ホース、タウパウリン等の製品はブラジル全土に広がる500の販売店を通じ国内に販売されているが、初田工業、JACTO、コチア産業組合、南ブラジル産業組合等同社の大きな需要者には直接販売のシステムをとっている。

ブラジルにおけるプラスチック工業は未だ創始期を脱していないが、それだけに同社の役割は一層大きく、競争相手としてKELSON, VNLEAN, PLANIVIL, HANSEN等があるが、同社の消毒ホース、送水ホースは独占に近いといわれている。また最近、農産物収穫保存用の倉庫Unimazem長距離運送用のトラックシート等の新製品が登場し営業を拡大している。

ブラジルで強い地位を築きつつある同社では、日本、ドイツに劣らぬ製品を生産することが現在の

課題になっている。常に最新の機掛と技術を入れるべく同社は日本及びドイツに人材の派遣も行なっている。

必要職種名：化学技能者，機械技能者，電気技能者

引受工業 者数：17名

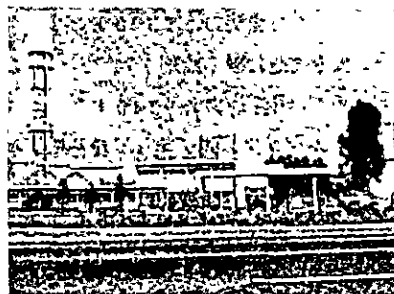
会 社 概 要

1. 会 社 名
SANSUY S/A IND. DE PLASTICOS
2. 所 在 地
Rodovia Regis Bittencourt Km 26, Embu.
- 3 創 立 年 月 日
1966年5月
4. 資 本 金
千CR\$60,500.00(483,576,500円)
5. 経 営 者
TATSUO YAMANOTO
6. 生 産 品 目
プラスチック製各種ホース，テント，シート
7. 売 上 高
千CR\$30000(1978.7現在)
- 8 従 業 員
550名(日系200人)
- 9 工 場 規 模
敷 地 39,000m²
建 物 11,000m²
- 10 設 備 規 模
カンンダー(P.V.Cフィルム用) 一式
エンボス機(P.V.Cターポリン用) 1基
印刷機(P.V.C) 1
押出機(高圧ホース) 5
ペレタイザー(ペレット用) 一式
工業用ミキサー(P.V.C混合用) 7
送水ホース製造機 3
織 機(ホース用) 8
トランサドール(# 用) 35

ボビナディラ (ホース用)	3
高周波溶接機 (P.V.C)	12
工業ミシン	10
フライス盤	1
旋盤	5
プレス	3

2 ブラジル・イハラ化学工業 (株)

現クミアイ化学工業株、会長 望月喜司氏の「日本の農薬技術の最大限の導入に導く伯国農業発展への奉仕」の提唱により1965年4月、三井・イハラ農薬の社名がクミアイ化学工業、三井物産の両者により、農薬原料の加工とサンパウロバウナ両世の日系農家を主たる対象に設立された。(当初180千クルセイロ)、その後1972年7月、三井イハラ農薬を発展解消し、新たに6314千クルセイロの資本金で(クミアイ化学、住友化学、日本曹達、武田薬品、東邦化学、住友商事、三 商事、イハラケミカルの日本側と現地コチア組合グループで、ブラジル、イハラ化学工業として発足。中南部ブラジル全域に販売網を拡げ現在に至る。現資本は48,000千クルセイロである。



工場前景

特色：日本の主たる化学工業を株主として日本で開発された製品のグループを主体とした南米各国の普及を目的とし将来は原体の国内生産を目標とする。

会 社 概 要

1. 会 社 名
IHARABRAS SA INDUSTRIAS QUIMICAS
2. 所 在 地
AV. Henry Ford 673 OSASCO
3. 創 立 年 月 日
1965年4月6日
4. 資 本 金
千CR\$48,000.00 (383,664,000円)

5. 経 営 者
 ICHIRO MUTA
6. 生 産 品 目
 農薬・液体肥料
7. 売 上 高
 千CR\$266,724 (1977.12月)
- 8 従 業 員
 135名 (日系61人)
9. 工 場 規 模
 敷 地 48,520 m^2
 建 物 5,990 m^2
- 10 設 備 規 模
- | | |
|----------------------|---|
| リボンブレンダー混合機 (粉剤) | 2 |
| (月産能力 1,300トン) | |
| 水平式造粒機 (粒剤) | 1 |
| (月産能力 240トン) | |
| ウルマックス式ジェット粉砕機 (水和剤) | 1 |
| (月産能力 100トン) | |
| 液 剤 製 造 機 | 2 |
| (月産能力 320Kℓ) | |

3 ブラジル富士写真フィルム (有)

1958年8月、日本の総合映像産業である富士写真フィルム㈱のブラジル現地法人として富士フィルム製品を輸入、卸売を目的に発足し、1978年に創立20周年を経過した。アマチュア写



工場全景

真材料を中心に市場に浸透し、現在ではブラジル写真市場の20%のシェアを占めるに至っている。

また、カラー写真の発展及びレベルアップのために、最近、超近代設備をもつカラー現像所を設立し、ブラジルにおける加工製品を行うべくカッパーパー市に工場を建設した。同工場加工製品はブラジルのみでなく、南米諸国にも輸出されている。

今後も、ブラジル全体の需要も順調に伸びており、期待が持てる。

必要職種名：電子技能者、現像工程技能者

引受工業移住者数：1名

会 社 概 要

1. 会 社 名

FUJIFOTO FILM DO BRASIL LTDA.

2. 所 在 地

R. Major Diogo, 128, São Paulo—Capital

(倉庫) R. Marechal Aguiar, 46.—RJ

(工場) Rodovia Pr sidente DUTRA Km 136.5

3. 創 立 年 月 日

CHIKARA SHIBATA

4. 資 本 金

千CR\$36,563.00 (292,248,059円)

5. 創 立 年 月 日

1958年8月

6. 生 産 品 目

写真材料・光学機器の加工

7. 売 上 高

千CR\$480,000 (1978)

8. 従 業 員

430名(日系60名)

9. 工 場 規 模

敷 地 800000 m^2

建 物 3,000 m^2

10. 設 備 規 模

(サンパウロ、リオ現像所)

天然色写真フィルム

現像乾燥処理設備 各一式

天然色写真

自動高速プリント処理工程	各一式
天然色写真	
プリント現像乾燥処理設備	各一式
空調設備	各一式
処理薬品調合分析装置	一式
(カサパーバ工場)	
写真感光材料, 裁断包装加工工程	一式
空調設備	一式

4 ブラジル北興化学農産工業(有)

1968年、トーメン(70%)、北興化学(30%)が共同出資して農薬製造販売を目的に同社を設立した。コーヒーをはじめ砂糖、小麦、大豆等の農産物の大量生産国であるブラジルは、近代的農業方式を採用するに従い、農薬の使用量も増加して来た。現在農薬関係の会社は世界的に有名なバイエル、シエル、シバガイギ、デュボン等をはじめ、伯国には、35社程あるが、同社は生産規模に於て、第12位に位置する。同社の生産する農薬で評判なものは、光の殺菌剤、カスミン、コーヒーの殺菌剤、ダイフオルタン、いもち病用のブルゾーネ、ジャがいも、棉の殺虫剤ハミドップ、雑草・近郊野菜の殺虫剤オルターネ、近郊野菜、果樹のダニ退治剤、ブリクトウン等がある。原料は主にアメリカのCHEVRON社、日本の北興、タケダよりトーメンが輸入を行ない、Salto de Piraporaの工場で配合・生産している。主たる販売先は、Sao Paulo が50%、Rio Grande do Sul 10%、Paraná 10%、Minas Gerais 10%と伯国全土に亘っており、日系のみならず外国系にも販売をすゝめる方針をとっている。

会 社 概 要

1 会 社 名

HOKKO DO BRASIL INDUSTRIA QUIMICA E
AGRO PECUARIA LTDA.



工場全景

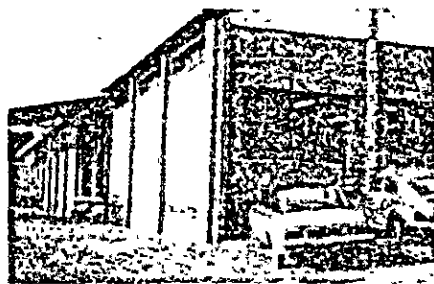
2. 所在地
Rua Apeninós, 970, Centro
(工場) Rodovia Sorocaba-Pilar do Sul Km
122
(コーヒー農場) Minas Araxá
3. 創立年月日
1969年1月
4. 資本金
千CR\$39,908.00(318,984,644円)
5. 経営者
TETSUO YOKOGAWA
6. 生産品目
農薬輸入・製造・販売・農場経営
7. 売上高
千CR\$12,000(1979.1現在)
8. 従業員
122名
9. 工場規模
(工場) 敷地 380,000m²
144,000m²
建物 30,000m²
コーヒー農場 7,800,000m²

5 ファテック化学工業(株)

1966年日系養鶏家への技術サービス及び新製品の導入を目的として資本金15,000クルゼイロスで設立、ビタミン、プレミックス、消毒剤等を中心にサンパウロ州を市場として操業を開始した。

1968年より日本各社のブラジル代理店として飼料添加剤、消毒剤等の輸入を行なった。なかでも上野製のフラミゾール、東邦化学のオパノール、日本天然ガス酸素の沃素カルシウムは日本で開発された新製品として当地においても確固たる地盤を持つに至った。

1970年養鶏産業の全国的な発展を予期して、ナクス、ペレーン、サンルイス、フォルタレーザ、レシーフェ、クリチーバ、ペロオリゾンデ、ポルトアレグレの各市に代理店を設立し全国的な販売網の確立に第1歩を配した。



工場外景

1971年製品の需要増大に答えるべくサンパウロ市近郊ゾトラ街道2.6kmのアルジャ市に、土地42,000m²を購入し、プレミックスブレンド工場1,000m²を建設開始した。

1972年9月、工場の操業に合わせて日本生物科学研究所(日生研)の動物用ワクチンの輸入を試験的に行なった。

1973年ワクチンの本格的な輸入を開始しており、また、将来当地におけるワクチン製造に関する調査も開始している。さらに食品飼料分析センターの操業と動物病理センターの開設も行なっている。

1975年4月、日本の総合化学会社である武田薬品工業(株)と資本提携を行ない新開発品、技術及び情報の提供を受ける体制を整えた、また、牛、豚向製品及び獣医向機器類の充実を図りブラジル畜産業の将来を考え単に製品を販売するのみにとどまらず、技術というソフトウェアも合わせたユニークな総合畜産会社への発展を心掛けている。

会 社 概 要

1 会 社 名

FATEC QUIMICA INDUSTRIAL S.A.

2. 所 在 地

Praca da Liberdade 130 10 , Conj. 1003, S.P.

(工場) Aruja, S.P.

3 創 立 年 月 日

1966年3月15日

4. 資 本 金

千CR\$4,604.00(36,799,772円)

5. 経 営 者

TOSHIYA SHIMANO

6 生 産 品 目

ビタミンプレミックス、抗生物質プレミックス、消毒剤等

7 売 上 高

千CR\$68,214(1978年1月現在)

8. 従 業 員

88名(日系48名)

9. 工 場 規 模

敷 地 48,000m²

建 物 2,800m²

10 設 備 規 模

飼料添加剤配合機械 一式 粉,錠剤製造機 一式

水浴剤製造機 一式 分析機械 一式

注射剤製造機 一式

6 三井肥料(株)

三井肥料はサンパウロから約 300 Km, ブラジルには珍しい温泉のある風光明媚の観光地, ミナス・ジェライス州のポツステカルダス市郊外に, YOORIN 工場を 1966年に建設, 今や電気が5基で YOORIN, 150,000 t/Yearを作るに至った。

戦后, 日本で発明, 生産開始された, YOORIN (アルカリ性, リン酸肥料) が酸性のブラジル土壌に極めて有効であることが判明している。

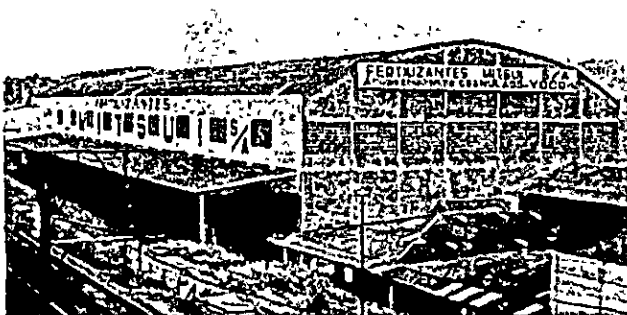
その他, São Paulo 州の Jundiai 工場では, 配合肥料 150,000 t/year, São Vicente 工場では, リン酸カルシウム飼料(D.C.P) 30,000 t/year を製造販売している。

特色: リン鉱石等主要原料はすべてブラジル国産品を使用, 電力は豊富な水力発電を利用, 且つ, 日本のみ有する技術を導入したブラジル唯一の YOORIN 企業。

必要職種名: 機械技術者, 化学技術者, 電気技術者

引受工業 名数: 3人(機械2
化学1)

担当者から移住者へ要望: (1)ブラジルを心から愛する人
(2)協調性のある人



倉庫: 能力7万トン/年

会 社 概 要

1. 会 社 名

FERTILIZANTES MITSUI S.A. INDUSTRIA E COMERCIO

2. 所 在 地

ESTACAO BAUXITA-S/N. Pocos de CALDAS ESTADO DE MINAS GERAIS

(工場) Pocos de caldas(MINAS GERAIS)

JUNDIAI(SÃO PAULO)

SÃO VICENTE(SÃO PAULO)

3. 創 立 年 月 日

1966年4月26日

4. 資 本 金

CR\$79,958,849.00(639,111,080円)

5. 經 營 者
TATSUO YAMAGUCHI
6. 生 產 品 目
YOORIN, 配合化成肥料, 飼料
7. 売 上 高
千CH\$595,774,318(1977年12月現在)
8. 従 業 員
731名(日系129名)
9. 工 場 規 模
敷 地 103,384 m²
建 物 37,469 m²
10. 設 備 規 模
- (1) Pocos de Caldas (M.G) (熔成磷肥)
- | | |
|---------|----|
| 肥料熔融電気炉 | 5基 |
| 乾燥機 | 2# |
| 粉碎機 | 2# |
- (2) JUNDIAI (S.P)→配合肥料
- | | |
|-------|----|
| 肥料配合機 | 3基 |
| 袋結機 | 3# |
- (3) JAGUARE (S.P. CAPITAL)→化成肥料
- | | |
|-----|----|
| 造粒機 | 1基 |
| 乾燥機 | 1# |
- (4) SÃO VICENTE (S.P) 磷酸カルシウム(飼料)
- | | |
|-----|----|
| 反応機 | 1基 |
| 造粒機 | 1# |
| 乾燥機 | 1# |
| 粉碎機 | 1# |
| 冷却機 | 1# |

7 タキプラス化学工業(有)

同社は、1970年8月に滝谷兼司氏により創立され、主として自動車工業用のシーラーを製造して来た。現在迄の全てのノウ・ハウは自社開発に依るもので年毎に厳しくなる自動車工業の要求品質と価格に対応する為、当社では研究、開発には最大の努力を払っている。現在の製品はプラスチック系シーラーを主としてその他合成ゴム系シーラー、防錆剤、防音材、保護ワックス、接着剤等を製造している。自動車工業の中心地、Sas Bernardo do Campo に土地 10,000 m² と建坪 6,000 m² を有する。



工場入口と滝谷社長

会 社 概 要

1. 会 社 名
TAKIPLAS IND. QUIMICA LTDA.
2. 所 在 地
Rua MMDC 611 Vila Pauliceia, S.B. do Campo
(工場) S. B. do Campo
3. 創 立 年 月 日
1970年7月28日
4. 資 本 金
千CR\$8,000,000 (63,944,000円)
5. 経 営 者
KENGI AKITANI
6. 生 産 品 目
自動車工業用シーラー、接着剤等
7. 売 上 高
千CR\$14,520 (1978.7現在)
8. 従 業 員
111名 (日系28名)
9. 工 場 規 模
敷 地 10,000 m²
建 物 5,500 m²

8 インパーザ・パウリスタ化学工業(株)

同社は伯国に於けるポリウレタン合成皮革の生産販売を目的に、1976年創立、現在は伯国で同業種のトップ企業として40%のシェアを有しておる。合成皮革は家具のカバー、靴、服地、カバンと、その用途は無限にあり、自然の皮革と何ら変らぬ品質と持ちの良さが、その特徴である。



工場内部

必要職種名：化学技能者

引受工業移住者：1名

会社概要

1. 会社名
INPASA - INDUQUIMICA PAULISTA S.A.
2. 所在地
Rodovia do Acucar km 25 Salto
3. 創立年月日
1976年
4. 資本金
CR\$35,000.00 (279,755,000円)
5. 経営者
YUKIO DEKI
6. 生産品目
合成皮革
7. 売上高
千CR\$240,000 (1978.現在)
8. 従業員
138名 (日系15名)
9. 工場規模
敷地 200,000 m²
建物 6,000 m²
10. 設備規模
ポリウレタン合成製造機械一式

窯 業

1 ブラジル特殊陶業(株)

1959年8月、スパークプラグ及び特殊磁器では世界的なメーカーである名古屋市の日本特殊陶業(株)が、当時モザイク・タイルを製造していた現地法人会社モジ製陶を買収して社名をブラジル特殊陶業と改め、タイルの他にNGKの商標でスパークプラグの生産を開始したのが同社の始まりである。

現在ではこの他にも工業用特殊磁器の生産も行っている。工場はサンパウロ市より東方50kmのモジ・ダス・クルーゼス市にあるが、工場敷地も狭くなり最近の需要にも応じきれなくなったため、モジ市より9km離れた場所に60万㎡の土地を確保し、プラグ、タイル、工業用特殊磁器とともに増産している。

同社の製品には、スパークプラグ、建築用モザイク・タイルや、工業用特殊磁器があり、更に、日本特殊陶業の生産による特殊プラグ、セラミックチップ、サーメットチップ、圧電素子等の輸入販売も行っている。



工場前景



工場内部

会 社 概 要

1. 会 社 名

CERAMICA E VELAS DE IGNICAO NGK DO BRASIL S.A.

2. 所 在 地

(本社・工場) Rua Prof. Flaviano de Mello 455—Mogi das Cruzes,
Est. de São Paulo

(サンパウロ事務所)

R. Humaita, 476, São Paulo

(リオ・デ・ジ・ネイロ事務所)

Rua Escobar 75, A. São Cristóvão R. J.

(ポルト・アレグレ事務所)

Rua São Carlos, 621-A. S/202 Porto Alegre-RS.

3. 創立年月日

1959年8月1日

4. 資本金

千CR\$135,000(1,079,055,000円)

5. 経営者

取締役社長	藤井重信	取締役	神島英徳
専務取締役	成富武典	"	バクロ・マッシュード
常務取締役	富永恒人	"	阿部長生
"	永田陸郎	"	堤鉄蔵
取締役	小林明		

6. 生産品目

スパークプラグ	月産	3,000,000 個
建築用モザイクタイル	月産	45,000 m ²
工業用特殊磁器	月産	13,000 kg

7. 従業員

1,203名(日系313名)

8. 工場規模

敷地	620,000 m ²
建物	20,000 m ²

9. 設備規模

(1) プラグ製造設備

1-1 絶縁体関係

1-1-1 絶縁体用土調製設備

1-1-2 噴霧乾燥機

1-1-3 絶縁体成形専用機

1-1-4 焼成トンネル窯

1-1-5 マーク施油専用機

1-2 主体金具関係

1-2-1 マイプレス

1-2-2 材料表面処理設備

- 1-2-3 軸自動施設
- 1-2-4 チャッカーマシン
- 1-2-5 自動四方電極溶接機
- 1-2-6 自動転造盤
- 1-2-7 金具自動垂鉛鍍金設備
- 1-3 その他の金属部品関係
 - 1-3-1 中心電極製造専用機
 - 1-3-2 雄ネジ製造専用機
 - 1-3-3 その他バックヤン製造専用機
- 1-4 プラグ組立関係
 - 1-4-1 接合専用機
 - 1-4-2 締付包装専用機
- (2) モザイク・タイル製造設備
 - 2-1-1 土・軸製造設備
 - 2-1-2 成形施軸設備
 - 2-1-3 焼成トンネル窯
 - 2-1-4 自動紙貼機
- (3) 工業用特殊磁器製造設備
 - 3-1-1 球石・張石製造専用機
 - 3-1-2 メカニカルシール製造専用機
 - 3-1-3 その他の専用機
 - 3-1-4 焼成用単独窯及トンネル窯
- (4) 耐火物製造設備
- (5) 工務関係設備
 - 5-1-1 施 盤
 - 5-1-2 フライス
 - 5-1-3 セーパー
 - 5-1-4 研 磨 盤
 - 5-1-5 ブローチングマシン
 - 5-1-6 放電加工機
 - 5-1-7 焼入設備一式
- (6) 試験設備
 - 6-1-1 化学分析設備
 - 6-1-2 エンジン試験室
 - 6-1-3 材料受入検査設備
 - 6-1-4 品質管理設備

機 械 製 造 業

1 池森機械(株)

(1) 製紙機械の総合メーカー

現地企業の中で大型機械メーカーとして異色の存在である同社は創立以来37年堅実な歩みをつづけている。工場施設の近代化を図る一方、生産方式の合理化も最新の知識と経験をもつ日本からの技術者を中心に積極的に推進しつつある。

生産機種は主として製紙用機械一式であり、ポンプ以外の製紙機器、ボイラーなど全機種を生産、販売している。

新規機械設備としては、ポーランド製の中型中グリ盤、東ドイツ製のラジアルボール盤、国産大型普通施盤などがある。13年程前に鋳造工場を機械工場および製紙工場に改造した。その結果、鋳物は外注依存の方式をとることになったが、機械のフレーム構造などは鉄骨・鋼板構造に改良して製罐・溶接部門を増強、生産性の向上を図ってきている。

また機械 生産施設の改良に加えて生産工程にも工夫をこらし、作業時間の測定、工具の開発にも意を注ぎ、販売・購入部門の効率化と企業全体の成績向上を図ってきている。

(2) 試験工場として製紙工場も経営

ブラジルの製紙機械メーカーはわずか5社、製紙刃物工場1社という状態であるが、最新式の機械を作っても容易に製紙工場で受入れない面がある。開発した機械の性能を実際にユーザーに見せるためにサンパウロから130kmサンタペーバラ市の製紙工場を買収、ダンボール用紙の製造を開始した。この工場では砂糖キビの搾りカス(バガス)を製紙原料に混合して原材料の経済性と紙の「引張り強度」の増加を図るための研究を行なっている。

ブラジルではバガスのはほとんどは廃棄され一部分が燃料として製糖工場等で利用されているが、これの製紙原料としての活用が実用化すれば、同社は飛躍的に発展が約束されるであろう。

目下、近接用地に工場を増設中であるが、セルジッペ州に第3工場を建設する計画も進行中である。

ブラジルでは紙幣、証券、小切手等に使用される用紙は全て、外国から輸入されている。これらに使用される用紙は、その丈夫な質、スキャンなどの面から高度の技術を要求し、世界でも7~8社がこの製造を行なっているにすぎない。同社は近い将来この方面にも着手する方針をたてている。

製紙がブラジルの貴重な産業であること、更に本計画がブラジルの地域開発政策にも合致する点などから今後期待される。

会 社 概 要

1. 会 社 名
IKEMORI S/A
2. 所 在 地
RUA ANTONIO LINDORO SILVA 408,
3. 創 立 年 月 日
1942年2月18日
4. 資 本 金
CR\$30,000.00(239,790円)
5. 経 営 者
SIUNZO IKEMORI
6. 生 産 品 目
製紙機械一式
7. 売 上 高
千CR\$61,633(1977.12現在)
8. 従 業 員
140名(日系29名)
9. 工 場 規 模
敷 地 4,622㎡
建 物 3,220㎡
10. 設 備 規 模

旋 盤	13	コンプレッサー	2
形 削 盤	2	リツチャデイラ	5
ボール盤	16	デベンベナデイラ	1
フライス盤	1	鋸	4
天井クレーン	3	溶 接 機	10
中ぐり盤	1	ギロチン	2
ロスケアデイラ	1	切 断 機	3
グラインダー	6	ブ レ ス 機	1

2 加藤精機工業(有)

(1) 南米一の金型工場

同社は、Ford Willys、General Motors、ナショナル車輛、ピラチニンガ機械、Bendix、

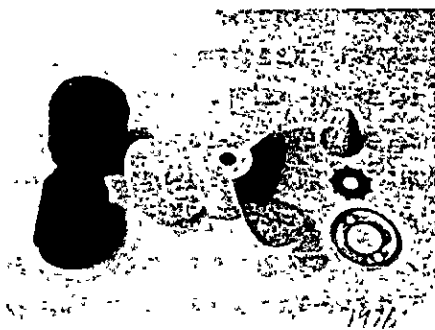
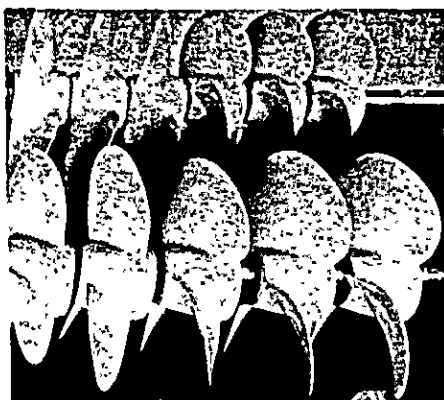
Scania Vabis, Chrysler, Benz, Goodyear
等ブラジル一流企業の自動車および電気汽機機部品の
金型製作工場として、各メーカーにおける金型工場を
除外すれば、外注加工工場では南ホーの工場施設と技
術を誇っている。

従業員はわずか60名であるが、所有工作機械は
70台以上におよび、一部ブラジル国産機のほか東ド
イツ、西ドイツ、チェコ、日本、アメリカ、ポーラン
ド製の各工作機械が完備しており、最近、同社社長は、
電子ナライ装置付フライス盤(Line-A-Mill)を
購入するために、アメリカまで出張した。このフライス盤は、南米には初めてというものであり、図
面を電子的にキャッチして平面切削加工(曲面が切削可能)を自動的に行なう機能を持つので、曲
した自動車用金型などの工作に威力を発揮する。金型の試験用に300トンの油圧プレスも設置して
いるが金型テスト用だけでなく、しばしば加工までも依頼され、金型の設計、製作から製品化まで一
貫して受注する場合も多くなった。

最近ではブラジル政府の国産化率アップ政策に伴ない国内企業よりの注文がアップしている。
又、大型トラックのエアブレーキ用チェンバー及び高速レジャ用船舶の部品製造も開始した。



工場全景



同社製造船舶用スクリュー

(2) 機械作業に重点

ブラジルでは、工作依頼者から金型設計図面が提供される場合は今まで少なかった。したがって同
社では、まず金型の設計をし、つぎに加工する。金型工場として設計がもっとも困難な仕事である。

同社では金型設計を厳格に行ない、機械による加工工作に主体をおいて金型製作を進めている。つ
まり、手仕上部門はできるかぎり省略し機械作業による工作によって作業を機械化、単純化、均質化

している。

必要 種名：機械技能者，金型設計製図工，金型製作技能者

引受工業移住者数：2名

会 社 概 要

1. 会 社 名
KATO CIA. LTDA.
2. 所 在 地
R. Jbitinga. 263, S. P.
3. 創 立 年 月 日
1936年
4. 資 本 金
千CR\$2,900.00 (23,179,700円)
5. 経 営 者
YASSUTOMO KATO
6. 生 産 品 目
小型大型ボイラー附属品，鉄構製品
7. 売 上 高
千CR\$5,800 (1978.12現在)
8. 従 業 員
60名 (日系15名)
9. 工 場 規 模
敷 地 2,500㎡
建 物 1,300㎡
10. 設 備 規 模

旋 盤	7	プレス機	9
平 削 盤	2	熱処理炉	2
形 削 盤	5	ボール盤	6
中ぐり盤	2	鋸 盤	3
フライス盤	8	グラインダー	2
研 削 盤	3	溶 接 機	4

3 バルジニヤ組立(有)

1968年ブラジル三菱重工業(株)の援助により現在の会社が設立された。

同社は鉄構、小型ボイラー、大型ボイラー附属品、タンク、タワー等産業機器及び附属品についてブラジル三菱重工業より直接受注しており、ブラジル三菱重工業の協力会社として業績伸長しつつある。

会 社 概 要

1. 会 社 名

VARGINHA MONTAGEM

2. 所 在 地

Praca Sol-Nascente S/N Varginha, Est.de Minas Gerais

3. 創 立 年 月 日

1968年7月

4. 資 本 金

千CR\$600.00(4,795,800円)

5. 経 営 者

SHUHEI OKANO

6. 生 産 品 目

C.B.C.等の製品の下請

7. 売 上 高

千CR\$143,000(1978.現在)

8. 従 業 員

250名(日系4名)

4 ブラジル久保田鉄工(有)

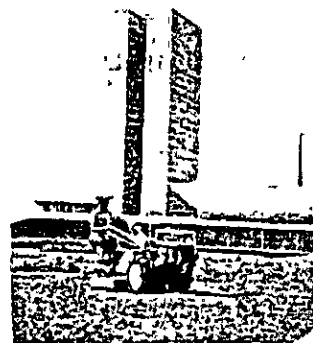
久保田鉄工(株)の対ブラジル取引は、1933年の小型ディーゼルエンジンの輸出に始まる。その後1951年には、防除機を、1955年には耕うん機を加え「TOBATA」のブランドで、ブラジル全土に広がった。

上記のような輸出実績にもとづき、久保田鉄工(株)は当国に於いて、農業機械の国産化を図った。農業機械化を通じてブラジルの経済発展に寄与する目的をもって、1957年、現表法人「マルキウ農業機械(株)」を設立した。1960年には三菱商事(株)の資本参加を得て、組立工場の建設に着手、同年5月ノックダウン方式による耕うん機の生産を開始した。

その後需要の増加に伴い、1962年には政府の耕うん機国産化法の制定発令に呼応して耕うん機及びエンジンの本格的生産工場を建設、1963年第2次拡張、1969年には、鉄物部品の自給を図る為、鋳物工場を新設すると共に、エンジン・メーカーとしての政府許可を取得、1973年には、エンジン増産を主体とした第3次拡張を行った。また、1965年6月には社名を「ブラジル久保田鉄工物」と改称したが、需要家になじみの深い「TOBATA」のブランドは、そのまま残して今日に至っている。

製品と販売の状況

同社の主力製品は、耕うん機(13馬力)及び4.5馬力から16馬力までの小型ディーゼルエンジンである。「マイクロトラトル」と呼ばれている耕うん機の主要用途は農業耕作であるが、ブラジルに於ける長い年月の経験と工夫をもとに製作された附属装置をつけて、芝刈り、除草、穴掘り、運搬、その他多目的に活用される。また、撒粉機、噴霧機、ポンプ等の搭載も可能である。



同社製造トラクター

利用範囲は、サンパクロ、リオデジャネイロをはじめとする都市近郊野菜地帯や果樹園、サンタカタリーナ州の水田米作地帯、リオグランデドスール州のタバコ栽培などを中心としてブラジル全土に広くわたっている。

小型ディーゼルエンジンは、耕うん機に搭載されるほか、家畜飼料用カッター、脱こく機、発電機かんがい用ポンプ等の各種農機具や漁船の動力源として用いられブラジル全土にわたっている。

同社の販路は、全国約500の特約店に依っている。特約店のある地域では常時アフターサービス要員が巡回サービスにあたり、又、各特約店の技術者養成のため、社内に技術講習所を設置、教育訓練を施している。このようにして販売及びアフターサービスまで一貫して強力な販売サービス網を形成している。

ラテンアメリカ諸国への輸出も活発化しつつあり、ブラジルは将来の久保田鉄工の中南米への拠点を目指しているが、ブラジル久保田鉄工では、ただ単に親会社の製品を導入するのではなく、ブラジルの国土に適した農業機械の開発、改良に不断の努力を積み重ねている。

会 社 概 要

1. 会 社 名

KUBOTA TEKKO DO BRASIL IND. E COM. LTDA.

2 所 在 地

Av. Fagundes de Oliveira, 900, Piraporinha, Dindema

3. 創 立 年 月 日

1957年8月

4 資 本 金

千CR\$37,000.00(295,741,000円)

5 経 営 者

MASAMI HARADA

6. 生 産 品 目

研うん機, 小型ディーゼルエンジン, 各種鋳物

7. 売 上 高

千CR\$360,000(1978.)

8. 従 業 員

400名

9. 工 場 規 模

敷地 51,000m²

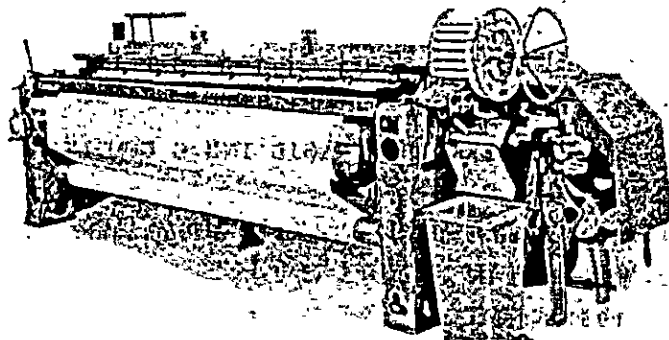
建物 14,000m²

10. 設 備 規 模

模型ブローチ盤	1	旋 盤	22
中ぐり専用盤	9	治具ボーラー	1
歯切り盤	7	板金設備	一式
シェーピング盤	2	塗装設備	一式
フライス盤	19	三次元測定機	1
ラジアルボール盤	10	熱処理装置	一式
ボール盤	18	キューボラ	2基
研削盤	11	造形機	21

5 豊和機械工業(株)

1956年有限会社を設立,
 1959年に株式会社に改組
 1971年米国ロックウェル
 社と資本技術提携。1973
 年に資本公開, 1975年在
 スイス, ADOLP SAUREL
 社と資本技術提携, 1977
 年在ドイツ SCHLBERT
 SALZER 社と資本技術提携



同社製造の紡織機

をし現在に至る。

同社は中南米唯一最大の総合繊維機械メーカーであり、産業より多数の技術移住者を引受けている。

必要職種名：紡織機械設計製図工

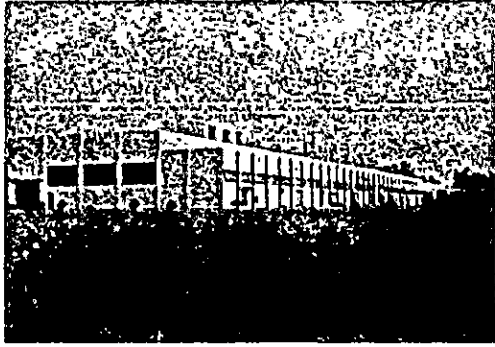
引受工業移住者数：176名

会 社 概 要

1. 会 社 名
HOWH S.H INDÚSTRIA MECÂNICAS
2. 所 在 地
Rua Senador Feijo 69-Edifício Ivahy-S. paulo
3. 創 立 年 月 日
1956年7月10日
4. 資 本 金
千CR\$135,500.00 (1,083,051,500円)
5. 経 営 者
SEIGUI FUJIIHIRA
6. 生 産 品 目
紡織機械 (梳棉機, 練條機, 粗紡機, 精紡機)
自動織機 (シャトルチェンジ, コップチェンジ, シャトルス各種トビー並び部品, 紡造品)
7. 売 上 高
千CR\$500,000 (1978.1~12現在)
8. 従 業 員
1,509名 (日系462名)
9. 工 場 規 模
敷 地 185,600 m²
建 物 45,000 m²
10. 設 備 規 模
各種工作機械 440台

6 ブラジル N.S.K 商工 (有)

1965年、日本精工の現地販売子会社として設立。全く未知の世界で市場開拓にあたり、
1970年には現地に生産専門の会社を設立。両社を合併し生産、販売を統合した企業として新発



工場 前 景



工場 内 部

足した。その後、直ちにサンパウロ市郊外のスザノ市で
ノックダウン生産をはじめ、74年来からは、材料から
完成品まで完全一貫生産体制を整えている。

必要職種名：施盤工

引受工業移住者数：6名

担当者から移住者へ 望：定着性のある人。

会 社 概 要

1 会 社 名

NSK DO BRASIL INDÚSTRIA E COMÉRCIO DE ROLAMENTOS LTDA.

2 所 在 地

(本社工場) Rua Vereador João Batista Fitipaldi, 66, Vila Maluf, Suzano, Est. de São Paulo

(サンパウロ事務所) Rua 13 de Maio 197, Bela Vista, São Paulo

3 創 立 年 月 日

1970年12月3日

4. 資 本 金

千CR\$ 7,000 (559,510,000円)

5. 経 営 者

KOMEI HOSHINO

6 生 産 品 目

ベアリング

7. 売 上 高
千CR\$46,200(1978.1~12現在)
8. 従 業 員
411名(日系30名)
9. 工 場 規 模
敷 地 80,000 m²
建 物 9,000 m²
10. 設 備 規 模
旋 盤
熱 処 理 炉 数 極
精 密 研 削 機

7 CBC重工業(株)

(1) 南米に於ける三菱グループの拠点

同社は1955年に資本金25万クルゼイロでMinas Gerais州南部のウアルジニヤ市に誕生した。CBCの当初の製造品目は各種小型ボイラーと熱交換器類にすぎなかった。その後、次々と所有者が変わったが最後に西ドイツの鉄鋼財閥(TIYSSSEN)に経営権が移った。1960年に三菱重工業・三菱電機・三菱商事の3社がリオデジャネイロ州カンボスに設置される15,000KW火力発電設備2基の受注に成功したが、その輸送問題をはじめ将来ブラジル市場への進出を図るには現地に有力メーカーを確保する必要性を痛感した。その頃、TIYSSSEN社よりCBC売却の提示があり、上記三菱グループ3社によって、CBCへの経営参加を決定。1963年5月CBCは三菱グループの南米における一拠点として出発した。



工場前景

(2) 大型ボイラー・石油化学プラント・産業用重機械を中心に更に飛躍を期す。

三菱グループの管理経営となった、CBCは大型ボイラー、石油化学、製鉄機械他産業用重機械の製作を特色として現在に至っている。ボイラー部門については、国産最大の蒸発量400T/Hの製作(パイア州石油化学コンビナート、COPENE社向2基、パラナ州肥料プラントCO-FEN向1基)をはじめ、50T/H以上の水管ボイラー・ソーダ回収ボイラーの生産能力では南米第

一位を占めている。以上の大型ボイラーはアメリカ最大のボイラーメーカーといわれるCE社(COMBUSTION ENGINEERING INC.)との技術提携によって製作される。

CBCはボイラー単体の製作のみならず火力発電設備全般のエンジニアリングも行なっており、ブラジルにおける輸入代替国産化率向上の国策に大いに貢献をしている。また、CBCはプラントメーカーとして、石油化学工業分野、製鉄工業分野にも活発な活動を行なっており、その経営は益々多角化している。

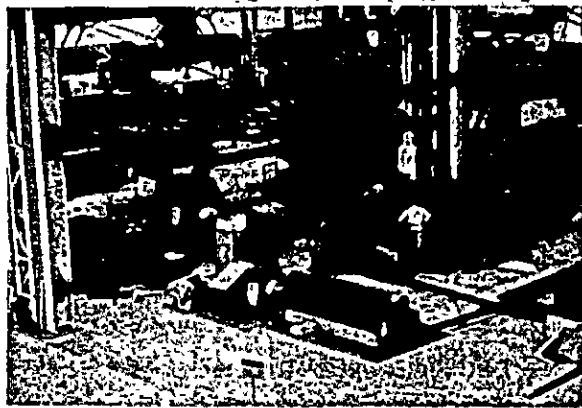
(3) 工場の新設

大型化、多角化する需要に対応するため、在来のウェルジニヤ工場を逐次増設、拡張して来たが、市場の要請に応えるためサンパウロ州ジュンジアイ市に230万㎡の土地を購入し新工場の建設に着手、ボイラー用新工場を1976年10月製鉄機械用新工場を1977年12月それぞれ完成させた。特にボイラー新工場は南米最大といわれる6,000トン油圧プレスをはじめ新鋭設備を備え最大1,000T/Hの蒸発量のボイラーの製作も可能である。又製鉄機械工場も大型横中ぐり盤、ブラノミラーをはじめ、重機械の加工に必要な諸設備を設置し各種の機械加工を行える。更に一層の発展を画し、事業の安定と向上のため種々の計画が進行しているといわれる。

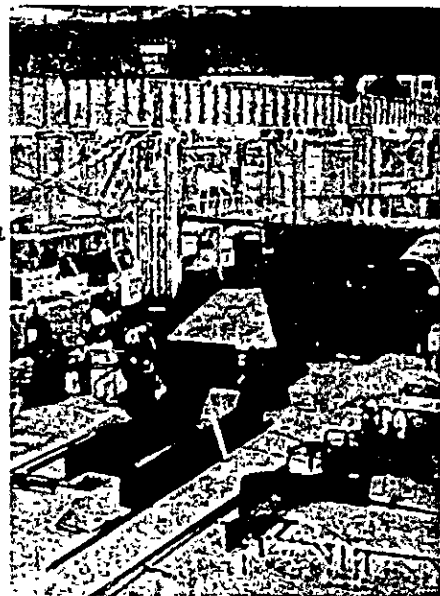
新工場の建設に着手、ボイラー用新工場を1976年10月、製鉄機械用新工場を1977年12月それぞれ完成させた。特にボイラー新工場は南米最大といわれる6,000TON油圧プレスをはじめ新鋭設備を備え最大1,000T/Hの蒸発量のボイラーの製作も可能である。

又製鉄機械工場も大型横中ぐり盤・ブラノミラーをはじめ重機械の加工に必要な諸設備を設置し各種の機械加工を行える。

更に一層の発展を画し事業の安定と向上のため種々の計画が進行しているといわれる。



工場内部



工場内部

会 社 概 要

1. 会 社 名

CBC INDÚSTRIAS PESADAS S.A.

2. 所 在 地

EDIFÍCIO KYOEI, IBIRAPUERA, 8°-10° AND.

RUA MANOEL DA NOBREGA, 1280, SÃO PAULO

(工場)

(1) VARGINIA PRACA SOL NASCENTE, S/NO

PRACA SOL NASCENTE, S/NO VARGINIA, MINAS GERAIS

(2) JUNDIAÍ

RODOVIA JUNDIAÍ-ITÚ (SP300), KM68, JUNDIAÍ SÃO PAULO

3. 創 立 年 月 日

1955年9月

4. 資 本 金

千CR\$450,000 (3,596,850,000円)

株主構成	三菱重工	82.7%
	三菱商事	14.0%
	伯国三菱重工	2.9%
	三菱電機	0.4%

5 経 営 者

社 長	寺 山 泰 雄
副社長 (JUNDIAI 担当)	江 藤 一 男
副社長 (営業, 販買 担当)	植 手 敏 泰
技術担当	笹 尾 甫 明
VARGINIA 担当	内 田 雅 明
経理・資金担当	浅 野 明
総務担当	FLAVIO T OSHIKIRI
非常勤	野 口 秀 雄 (伯国三菱商事副社長)

6 生 産 品 目

ボイラー	陸船用各種水管ボイラ・回収ボイラ・煙管ボイラ・各種ボイラ用補機・附属品
化工機	熱交換機・タワー・圧力容器・リアクター・炉・エアヒーター・キルン
産業機械	石灰消化設備・集塵機・排煙脱硝設備・廃棄物処理装置・上下水・工業用水・ 廃水処理装置・タイヤ機械・各種粉砕乾燥機・各種バルブ製紙機械・発電設備各種 補機・シリンダーロール
製鉄機械	ホットストリップミル・ホットフィニッシングライン

鉄 構一 橋梁・水門・鉄管・ガスホルダー・各種煙突

7 従 業 員 (7 8 年 6 月)

本 社	3 4 7 名
VARGINIA	1,0 1 1 名
JUNDIAI	1,0 5 5 名
計	2,4 1 3 名

9 受 注 ・ 売 上 (7 8 年 度)

売上千CR\$ 1,700,000 (163億円)

10 工 場 規 模

(1) VARGINIA

敷 地 2 0 万 平 米
建 物 2.5 万 平 米

(2) JUNDIAI

敷 地 2 3 0 万 平 米
建 物 3 万 平 米

11. 設 備 規 模

(1) (V A R G I N I A - M . G)

天井クレーン	10	マフ (万 能 工 作 機)	1
旋 盤	50	フオークリフト	5
ベンジングローラー	2	チューブ加工機	1
ボール盤	20	熔 接 機	300
N.C.ボール盤	1		

(2) (J U N D I A I)

(A) ボイラー工場

天井クレーン	6	平 面 旋 盤	1
旋 盤	30	チューブ加工機	1
プレス機	1	熔 接 機	250
ボール盤	3		

(B) 機械工場

旋 盤	4	天 井 ク レ ー ン	3
ボール盤	5	フ ラ イ ス 盤	6
中 ぐ り 盤	2	熔 接 機	6

8 ブラジルヤンマー (株)

1957年2月創立、当初11年間は日本ヤンマーディーゼルのエンジンを輸入、販売を行ない、同時にディーゼルエンジン国産化可能性と生産諸条件につき調査を実施した。

1960年3月大統領直轄の自動車工業行政グループの小型ディーゼルエンジン国産化計画に対する許可を取得し、同年来、サンパウロ市郊外、インディアトゥーバ市に生産工場を設立した。

1961年から67年迄は激しいインフレ、政情不安、ブラジルの進性に伴う諸問題に悩まされたが、当初小型1機種5HP 月産200台の規模から1978年には軽量小型の新機種シリーズの生産販売を開始し月産4,000台を実施中であります。

又、1971年以降、中型ディーゼル2機種(整形18HP~36HP)ラインに加え、同年中には、ブラジル井関三井農機を買収して、耕うん機の生産を引継いでいる。

1972年には背負式噴霧機の国産化を開始し、ディーゼルエンジンをベースに関連商品の取扱いによる事業の拡大を図りつゝあります。

特色：(1) ブラジル経済に対する商品の適合性

- ブラジル国土開発計画や関連食糧農業機構の期待に応えブラジルが世界の食糧供給国となる為の農業牧畜近代化計画にとって小型ディーゼルエンジン並びに農業機械は不可欠のものである。

(2) 長期的進出態度と現地優先の経営方針

- ブラジル企業として定着する為、進出以来一度も利潤の償還を行わず、企業の体質改善と事業規模の拡大に再投資して来た。
- 更に現地責任者に対する大巾な権限の委譲、現地法律、習慣に適合した制度とその運営、社員の実力主義に基づく平等 業を採用、現地社会との融和など、現地優先主義の経営方針を採っている。

必要職種名：(1)ディーゼルエンジン、農業機械の設計製図工

(2)生産管理技能者

(3)鋳造模型製作技能者

引受工業移住者数：13名



工場前景



工場内部

会 社 概 要

1. 会 社 名
YANMAR DO BRASIL S/A
2. 所 在 地
Av. Pres Vargas, 1400 Indaiatuba-S Paulo
3. 創 立 年 月 日
1957年2月
4. 資 本 金
千CR\$145,775.00 (1,165,179,575円)
5. 経 営 者
TAKASHI GOTO
6. 生 産 品 目
楕形水冷ディーゼル, 耕うん機, 整形水冷ディーゼル, 背負式噴霧機
7. 无 上 高
千CR\$42500 (1977.12現在)
8. 従 業 員
600名 (日系49名)
9. 工 場 規 模
敷 地 231,000 m²
建 物 50,000 m²
10. 設 備 規 模

旋 盤	57	ボーリング専用機	40
フ ラ イ ス 盤	62	ネジ立て専用機	37
ボ ー ル 盤	114	雑 工 作 機	81
研 削 盤	82	電 気 設 備	17
平 削 盤	5	雑 設 備	131
中 ぐ り 盤	5	塗 装 設 備	14
歯 切 機 械	24	熱処理, メッキ設備	78

9 ポリスピン商工(有)

1962年養鶏器具製作を主体に、金型、下請加工を目的に較后移住者3名が共営で開始。途中共営者の交代があったが当初の目的通りの営業を続け、1967年社名を変更し現在に至る。

ブラジル養鶏界の現況：

過去10年間に驚く程の発展をし、3,000羽育成の中
型養鶏家は30,000羽となり、大型又は200万羽を筆
頭に十萬羽以上が統出している。従って器具工場は
1965年頃よりサンパウロ州のみでなく他州にも急増
し競争も燃烈を極め、飼育羽数の大型化に伴い量産時代
に移ると同時に大企業は、電動式新製品へ転換しつつあ
る。地区の小工場は大量販売に追従できお脱落する反面
地場工場が統出する傾向にある。

過去の推移から養鶏界の好不況の波が しい事が判り、
販売高の安定を図るため、他社の金型製作や家庭用品の
下請加工を強化し、70%を養鶏器具に、20%を下請
加工に、残りを家庭用品にというふうになっている。

又、伯国々土の広大な面積への販売の為、アフターサー
ビスは不可能という考えから「こわれない器械」をモッ

トーとし、現在円筒給餌器、断嘴機、赤外線育雛器の他、省力化を目指して手押式配餌機を製
造販売している。主な販売先としては、北はマナオスから南はポルトアレグレまで、全伯的に広が
っている。

なお、肉鶏は伯国人が70%、卵鶏は日系人が60%養育しており、顧客も、日系人に片寄らず伯
人にまでひろがっている。

必要職種名：機械技能者

引受工業移住者数：70名



同社製品(給餌器)

会 社 概 要

1. 会 社 名

POLISPIN IND. COM.LTDA.

2. 所 在 地

R.21 de abril, 84, Bras, Sao Paulo

3. 創 立 年 月 日

1962年1月

- 1 資 本 金
千CR\$2,000.00 (15,986,000円)
5. 経 営 者
SHOHEI MATSUZAKE
- 6 生 産 品 目
養鶏器具, 家庭用品, 機械部品
- 7 売 上 高
千CR\$15,000 (1978. 現在)
- 8 従 業 員
30名 (日系10名)
- 9 工 場 規 模
敷 地 5,000 m²
建 物 5,000 m²
10. 設 備 規 模
- | | | | |
|-----------|----|-------|----|
| 旋 盤 | 12 | 各 種 鋸 | 3 |
| ボ ー ル 盤 | 10 | プ レ ス | 10 |
| フ ラ イ ス 盤 | 1 | 切 断 機 | 1 |
| 平 削 盤 | 2 | 熔 接 | 6 |
| 研 削 盤 | 1 | | |

10 宿屋鋳物 (株)

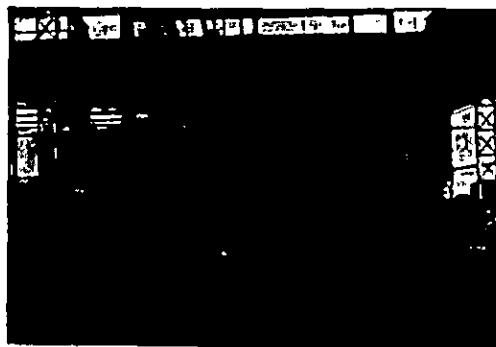
1936年、埼玉県出身移住者宿屋忠八氏は、清七氏、三郎氏と共同して宿屋兄弟商會を設立し、東洋製作所として事業を始めたが、経営の合理化、生産ラインの能率化を図るため、1952年に同所の中心事業であった鋳物部が独立、宿屋鋳物部が誕生した。

- (1) ダクタイルロール・メーカーとして異色を發揮

日系コロニアの経営する企業としては創立1936年であるからもっとも古く、すでに33年の歴史を有している。

普通鋳物工場からの新規事業を企画して過去10年間にわたって研究・試作を繰り返していたダクタイルロールが1968年に完成した。

ダクタイルロールは、伸鉄工場、製紙工場、



工場の鋳物部門

ゴム工場、製粉工場、製鉄工場などで多目的に使用されているが、ブラジルでは、AGO VILIAIRES 社があるのみで相当量を輸入に頼っている。

同社では競争の多い普通鋳物工場から特色ある専門製品を開発する計画をたて、その第1目標に困難なロール技術の開発に取り組んだ。そのため社長の宿屋忠八氏自身東京の日本ロール、大谷ロールの工場を視察する一方、長男の智昌氏に新潟鉄工・関東特殊製鋼で1年間実地研修を受けさせた。智昌氏は同社の鋳造生産技術の指導にあっているが、ダクタイルロールの完成も氏に負うところが大きい。

このダクタイルロール鋳物の特性は硬度が特殊鋼に近く、耐熱性・耐酸性に優れているところから既述のとおり、各種工場の生産機械の中核として活用される。機械鋳物が80%を占めている。

ブラジル人は新しいものにはすぐに飛びつかない性質がある。同社がダクタイルロール鋳物を完成させた当初もなかなか商談に応じてくれなかった。

しかし、現在では、他の中南米諸国(アルゼンチン、ウルグァイ、ボリビア)に輸出するまでになっている。ブラジルのロールに対する潜在需要は大きく、特に、建築材料、工作機械資材としての伸鉄鋼材の需要は将来性があり三菱との技術提携により高精度の製品に努力している。

引受工業移住者数：8名

担当者から移住者へ要望：1) ブラジルをレベルの低い国とみないこと。

2) 高度な技術を見つけて来ること。

3) 給料を追わずじっくり腰を落着けて欲しい。

4) 妻帯してから移住して欲しい。

会 社 概 要

1. 会 社 名

FUNDIÇÃO YADOYA S/A

2. 所 在 地

Estrada de Parada, 12040 Parade de Taipas - S. Paulo

3. 創 立 者

1952年5月

4. 資 本 金

千CR\$10,000.00 (79,930,000円)

5. 経 営 者

SEISHIICHI YADOYA

6. 生 産 品 目

鋳物、ボール盤・製造販売

7. 売 上 高

千CR\$50,000 (1977.現在)

8 従業員

300名(日系9名)

9. 工場規模

敷地 55,000 m^2

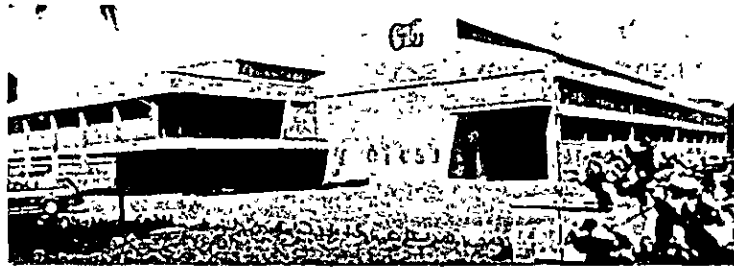
建物 9,000 m^2

10. 設備規模

熔解炉	1基	セーバー	3
キャーボラ	1基	フライス盤	7
重油炉	1基	中ぐり盤	2
木工機械	7	研磨盤	2
天井クレーン	10	ボール盤	6
型込機	16	鋸盤	5
旋盤	15	溶接機	9
平削盤	2		

11 オーエスジー精密工具(有)

1974年11月に設立。当初、日本オーエスジー社製の工具の輸入販売を行なって知名度を高めるのに努め、他方、1976年6月、CDIの認可を得たことで、直ちにブラジルでの生産を準備しブラガンサ・パウハスタ市(S.P.州)に工場を設置。1977年9月より当工場に於て高速度鋼材によるタップの生産に入った。この国産タップは1978年3月より販売店網を通じて国地主要諸工業に流されている。



工場全景

特色：業種として今迄、ブラジルに無かった事、加えて工場が地方小都市に所在し、熟練工員が得られない事から、企業内での技能者養成に力を入れ、78年6月末現在50名の工場従業員中、既に8名は、日本本社工場で1年間実習を行ない、現在2名が日本で実習中である。
必要職種名：自動化工作機械の保守技能者(電気関係・油圧関係の知識があること。)
引受工業移住者数：1名

- 担当者から移住者へ要望：1. 技術力
 2 新しい社会及び職場環境への適応力
 3 指導力
 4. 協調性

会 社 概 要

- 1 会 社 名
OSG FERRAMENTAS DE PRECISÃO LTDA
- 2 所 在 地
R. BARÃO DE TRIUNFO, 255 SAO PAULO
3. 創 立 年 月 日
1974年11月9日
4. 資 本 金
千CR\$32,260 (257,854,180円)
- 5 経 営 者
HIDEO SUZUKI
6. 生 産 品 目
切削工具類
7. 売 上 高
千CR\$6,000 (1978.6現在)
8. 従 業 員
56名 (日系10名)
9. 工 場 規 模
敷 地 100,000 m²
建 物 4,000 m²
10. 設 備 規 模

旋 盤	6	各種研削盤	38
自 動 盤	3	熱 処 理 機	6
フ ラ イ ス 盤	5	各 種 測 定 器 具	180
転 造 盤	1		

12 シンクロナイズ金属工業(有)

同社は1971年に各種機械の部品加工からスタートし、それらの工程で廃出するクスの処理から屑鉄の売買に入った。又、鉄端を利用して溶接、切断部品及び製罐、窓枠等の製作に入り、現在では機械加工と製罐が主である。

最近、大型トラック、フォークリフト等を、短期、長期の期間貸し出すリース業も行っている。

同社の主な受注先は、久保田鉄工、CBC 豊和工業、小松、前川製作所、Aco Uilares等があり、部品加工の内訳は農機具関係40%、ボイラー関係30%、紡績関係30%である。

なお、同社々長の岡本立郎氏は、1961年第2回技術移住者として渡伯、現在は、技術移住者がつくっている協会の会長を勤めており、技術移住者の良き理解者である。

必要職種名：機械技能者、板金製罐工

引受工業移住者数：6名



工場内風景

会社概要

1. 会社名
METAURGICA SINKRONAIZU LTDA.
2. 所在地
Estrada de Vila Ema, 3620 Vila Ema, Capital
3. 創立年月日
1971年1月
4. 資本金
千CR\$16,000.00(127,888,000円)
5. 経営者
FUMIO OKAMOTO
6. 生産品目
産業機械部品加工
7. 売上高
千CR\$144,000(1978.現在)

8. 従業員

70名(日系11名)

9. 工場規模

敷地 3,300 m²

建物 3,300 m²

10 設備規模

旋盤	25	ネジ切機	1
フライス盤	7	自動金属鋸	4
ボール盤	11	ギロチン	1
溶接機	11	プレス	2
平削盤	2	クレーン付トラック	1

13 ブラジルシンポー工業(有)

1974年4月、シンポー工業が15万CRSを出資して設立した会社であるが、入后、本社の理解により本社より役員は派遣せず、現地の地域社会に融合する目的で役員は総て、現地採用者で困め以来順調に業績も伸び、本社の援助を受け現在に至る。去る11月には資本金を以前の3倍に増資、新たに現地採用の役員を1名登用した。

同社はRINGCONE 無段変速機 CORONET 減速機 GR 大型減速機の生産販売、特にRINGCONE は伯国市場の72%を確保している。又輸出も活発化しており、現在、MEXICO E-LSALVADOR、COLOMBIA、及びURUGUAYへ生産の約10%を輸出している。

必要職種名：機械設計技能者

引受工業移住者数：1名

会社概要

1. 会社名

SHIMPO DO BRASIL INDUSTRIA E COMERCIO DE MAQUINAS LTDA.

2. 所在地

Rua da Glória, 279-7^o andar - sala 74

(工場) Rua Eng. Guilherme Cvistiam Feldner, 177

3. 創立年月日

1974年4月1日

4. 資本金

千CR\$7,800.00 (62,345,400円)

5 経 営 者

MOTO SATO

6 生 産 品 目

無段変速機、減速機、工作機械

7. 売 上 高

千CR\$4,800(1978.現在)

8 従 業 員

46名(日系32名)

9. 工 場 規 模

敷 地 1,650 m²

建 物 1,210 m²

10. 設 備 規 模

旋 盤	5	割出回転盤	4
フライス盤	2	鋸 盤	2
中ぐり盤	3	ボール盤	6
研 磨 盤	1	油圧プレス	2

14 モチラソン S.N. (有)

同社の仲川実社長は、1935年ブラジルBigua¹ 生れの二世7人兄弟の長男が3才の時、祖父母に連れられて帰国。1957年第と共に移住。Santo Andre² 市の一色機械製作所(工業用洗染機械製造)で2年間就労した後、スペイン系ブラジル人が経営しているModelação Plastesmasso Ltda. という町工場で10年間就労して金型技能を習得し、当時、木型工のSANTOSA と知そを得て独立の夢を誓い合って機会を待っていた。創立は1971年で半年目に治工具技能者である実弟を誘って3人共同で鋳造用才型金型製作所として出発した。当時、同業の会社はサンパウロ市近辺で約400社余りもあったが、その殆どは町工場の域を出ていない規模のもので技術内容も非常におそまつなもので一応名の通った会社は5指に満たない状態であった。金型、木型の仕事は手先の仕上げが多いで機械化の波にのりにくい為、急速な発展は望めないが同社は機械設備も一応完備し、堅実な歩みを続けている。なお、仲川社長は系列会社として、鋳造会社「ARCLA-Fundição e Metalurgica Ltda.」をPoa³ 市に共同で設立している。

必要職種名：木型工、金型工、フライス盤工

引受企業移住者数：7名

会 社 概 要

1. 会 社 名
Modelação S.N. Ltda.
2. 所 在 地
Rua Aguapei, 220, Santa Maria, Santo Andre
3. 創 立 年 月 日
1971年2月
4. 資 本 金
千CR\$4,074.00(32563,482円)
5. 経 営 者
MINORU NAKAGAWA/JOSE DOS SANTOS
6. 生 産 品 目
鋳物用木型, 金型製造
7. 売 上 高
千CR\$9,300(1977.12現在)
8. 従 業 員
42名(日系6名)
9. 工 場 規 模
10. 敷 地 1,500 m²
建 物 800 m²
- 10 設 備 規 模
フライス盤 11 鋸 盤 2
旋 盤 2 リツシャディラ 2
木 型 旋 盤 2 鋳物型込機 1
ポ ー ル 盤 4

15 笹崎工業(有)

同社の創立は古く、1943年3月に、笹崎孝作・重三郎兄弟が播種機(トウモロコシ、大豆)を製造し、日系農家を中心に販路を拡げていったのが笹崎工業のおこりである。

マリリア市は、特に戦前、日本人移住者の多かった地区であり、現在の同市の発展にも日本人の力が多分に与っている。

社長、笹崎市三郎氏は、マリリア市草分けの日本人の一人であり、孝作氏(現会長)と並んで、同市の日伯文化協会を歴任するなど、知名人の一人である。その後、農機具製作所として、脱皮機(ヒ

マ、落花生) コーヒー選別機、牧場用針金捲め具などの製造に着手、文字通り日系農家の発展と歩みを共にしてきたが、同社が急速に地方の中企業として伸びたのは、鉄製の窓枠の製造販売が折からの建築ブームによくマッチしたためであり、事業内容は飛 的に膨脹した。

会 社 概 要

1. 会 社 名
IND. E COM. SASAZAKI LTDA.
2. 所 在 地
Martlia, Est. de S.P. Av. Brasil, 232
3. 創 立 年 月 日
1958年1月
4. 資 本 金
千CR\$20,000.00 (159,860,000円)
5. 経 営 者
YUSABURO SASAZAKI
6. 生 産 品 目
窓サッシ、農業機械器具
7. 売 上 高
千CR\$80,000 (1978.現在)
8. 従 業 員
650名 (日系50名)
9. 工 場 規 模
敷 地 21,000 m^2
建 物 11,000 m^2
- 10 設 備 規 模

ブ レ ス	94	金 属 切 断 機	10
熔 接 機	40	鋸	11
旋 盤	6	T U P I A	2
フ ラ イ ス 盤	2	四 面 鉋	1
シ ー ー パ ー	6	コ ン プ レ ッ サ ー	13
ポ ー ル 盤	30	精 密 研 削 盤	3
治 工 具 研 削 機	3	天 井 ク レ ー ン	一 式
表 面 処 理 機	一 式	ク レ ー ン 付 ト ラ ッ ク	2
真 空 塗 装 設 備 (建 築 資 材 用)	2 基		

16 フジメッキ金属工業(有)

同社は1960年に創立。当初は諸機械
保管部品の製作、再生エンジンの製作を主
業務としてスタートした。近年の目ざまし
いブラジル経済の発展に伴ない、農業機械
(各種収穫機、選別機)、土木機械、工場
設備等の製作に移行し現在に至っている。

伯国の現体制は、国内産業興隆の目的を
もって厳しい輸入規制に入っている為全て
の機械は自社で設計、立案、製作している。
又、政府より農業機械のプロジェクトに関
する仕事を請け、積極的に伯国の発展に寄
与している。

必要職種名：金型工、機械設計製図工、機
械技能者

引受業移住者数：6名

担当者から移住者へ要望：

- (1) 伯国事情を把握し行動する人。
- (2) 開発途上国の発展に寄与する心意気
のある人。



工場前景



沖餅社長

会 社 概 要

1. 会 社 名
FUJ IMEC IND. METALURGICA LTDA.
2. 所 在 地
R. Refinaria Mataripe, 365
3. 創 立 年 月 日
1960年1月
4. 資 本 金
千CR\$7,000.00 (55,951,000円)
5. 経 営 者
HARUO OKIMASU
6. 生 産 品 目
農業機械・産業機械部品加工

7. 売 上 高

千CR\$30,000(1977.現在)

8. 従 業 員

100名(日系20名)

9. 工 場 規 模

敷 地 6,550 m^2

建 物 1,800 m^2

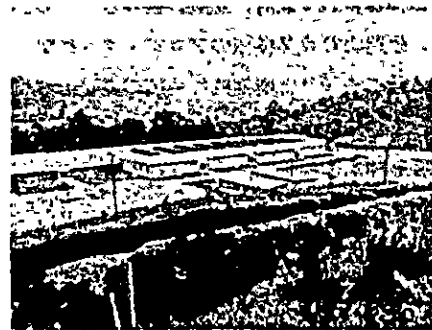
17 南米タカラベルモント家具商工(有)

1972年10月「タカラベルモント(株)」(本社：大阪市)は100%出資の現地会社をサンパウロ市に設立。(当初の設立資本金40万クルセイロ)。主な業務として理容・美容用の椅子、セット、器具類の輸入販売を開始した。その後1974年9月に、サンパウロ市より西方65Km地点にある、マイリンケ市に、5,000 m^2 の生産工場の建設に着手。

1976年6月落成と同時に操業を開始。理容・美容各種セットの生産を手始めに、歯科医療用の椅子、ユニットの生産販売に主力を置いて今日に至る。また、同州のリベイロン・プレット市(各種医科大学があることで有名)に、1974年3月より操業を開始した歯科医療用器具の生産を主とする子会社「ベルモンド・ド・ブラジル器具工業会社」がある。尚、又、サンパウロ市近郊のアルジャー市には、1975年10月より、中小企業を対象とした「工業用地」を建設(総面積50アルケール)し、不動産業にも着手している。

必要職種名：精密機械技能者

引受工業移住者数：1名



工場全景



事務所前景

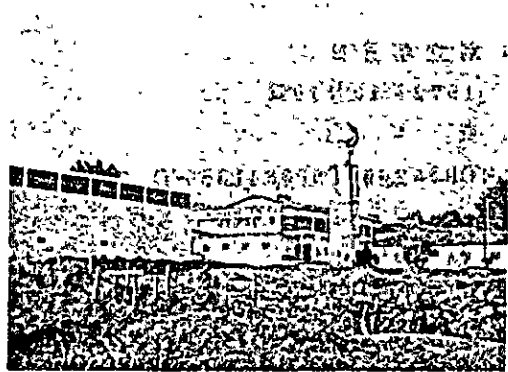
会 社 概 要

1. 会 社 名
TAKARA BELMONT P/AMERICA DO SUL IND E COM. DE MOVEIS LTDA.
2. 所 在 地
R.13 DE MAIG, 1315 BEIA VISTA S.P.
(工場) AV. BRASIL S/NO. MAIRINQUE S.P.
R. SÃO PAULO, 492 R. PRETO S.P.
3. 創 立 年 月 日
1972年10月10日
4. 資 本 金
千CR\$62,660(500,841,380円)
5. 經 營 者
YASUO HORIE
6. 生 産 品 目
齒科医療, 病院用器具, 理・美容椅子器具
7. 无 上 高
千CR\$59,130,492(1977.現在)
8. 従 業 員
150名(日系30名)
9. 工 場 規 模
敷 地 55,000 m²
建 物 4,000 m²

電 気 工 業

1 サドキン電球工業(株)

同社は戦後、山本商会(株)が日本より輸入していた商品の一つであったクリスマス用電球、装飾用色電球を工業化する為に、取引先であった佐渡島金属と合併提携し、1957年に「サドキン電球工業」を設立した。その後、より安定した市場性を求めて工業用電球製造に向って意欲的に伸び現在では、電話交換用電球、汽車汽船、冷蔵庫、ミシン用、機械サイン球など広汎な品種の電球を製造している。因みに同社の月産生産能力を下記すると……………



工場前景

装飾用・工業用・特殊白熱電球	80万個
小型特殊白熱電球	15 "
ネオン球及ネオンブラケット	20 "
電話交換用電球	17 "
クリスマスセット用電球	40 "
小型精密ヒューズ	15 "

になる。

とくに、工業用電球の需要は予想を上回る増加であると共に他のラテン・アメリカ諸国には、類似の工業はないため近年ではアルゼンチン、その他の隣国にも輸出されている。

特色：大企業の手掛け特殊電球を製造、自社の販売網を通じ販売、電球種別のシェアは100%、
～50%と極めて高い。

必要職任名：電球製造技術者、機械技術者、電気技術者

引受工業移住者数：20名

会 社 概 要

1. 会 社 名

INDÚSTRIA DE LAMPADAS SADOKIN S.A.

2. 所 在 地

RU. DA LIBERDADE, 47 - 2 ANDAR SÃO PAULO

(工場) RU. SADOK IN 380 N. BONSUCCESSO, QUARULHIOS-S.P.

3 創立年月日

1957年11月30日

4 資本金

千CR\$15,000(119,895,000円)

5 経営者

KATSUZO YAMAMOTO

6 生産品目

装飾用電球, 電話交換用電球, ネオン電球, 工業用特殊電球, Xmas set, 精密ヒューズ

7 売上高

千CR\$62,945(1977.1~12現在)

8 従業員

548名(日系175名)

9 工場規模

敷地 73,000 m²

建物 6,000 m²

10 設備規模

ガラスバルブ製造機	5	排気機	4
ガラス管切斷機	2	ピージング機	2
フレア機	4	スパノターエージング機	1
ステーム機	4	口金製造機	2セット
アンカー機	4	各種工作機械	12
封止機	4		

2 チェリー電子工業(株)

ラジオ, テレビ, 通信機等に使用されるペーパーコンデンサの生産に始まり今日府, 自動車用電装品, ディストリビューター用コンデンサー, 抵抗, パックホーン, フラッシャーリレー等の新製品を加えて子関係50%, 自動車関係50%の割合で生産している。同社は技術的に遅れることのないように常に日本の優秀な技術を導入, ブラジルに適合した生産技術を日夜開発している。

必要職種名: 電子技能者, 機械技能者(特に自動車用電装品)

引受工業移住者数: 15名

担当者から移住者へ要望: ブラジル語の基礎くらいは学んで来て欲しい。

会 社 概 要

- 1 会 社 名
INDÚSTRIA ELETRONICA CHERRY S.A.
- 2 所 在 地
Rua Presidente Soares Brandão 237, São Paulo
- 3 創 立 年 月 日
1959年1月
- 4 資 本 金
千CR\$7,000 (55,951,000円)
- 5 経 営 者
KAZUKI MORIBE
- 6 生 産 品 目
フィルム・ペーパーコンデンサー・フラッシュ・リレー etc.
- 7 売 上 高
千CR\$23,000 (1977. 現在)
- 8 従 業 員
200名 (日系20名)
- 9 工 場 規 模
敷 地 1,615 m^2
建 物 2,700 m^2
10. 設 備 規 模

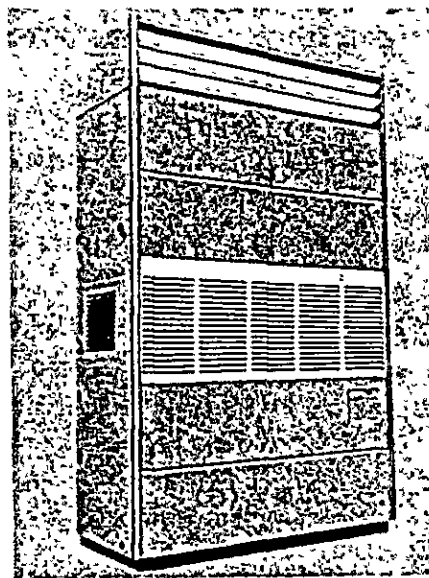
旋 盤	4	ブ レ ス	15
フ ラ イ ス 盤	1	プ ラ ス チ ャ ッ ク 成 型	1
セ ー パ ー	2	真 空 含 浸 装 置 (コ ン デ ン サ ー 製 造 用)	一 式
研 磨 機	1	フ ィ ル ム コ ン デ ン サ ー 製 造 機	一 式
ボ ー ル 盤	3		

3 日立ライン電気工業(株)

1972年6月São J' so dos Camposに工場を設立し、空調機器の製作販売を開始した。資本は日立製作所から100%、製品技術は日立製作所清水工場を主体に導入し現在、ブラジル市場の約25%を得るに至った。同社製品の空調機は業務用が主で、その型は、パッケージ型エア・コンディショナー(3HP~45HP)、一ユニット型エア・コンディショナー(20HP~180HP)で、仕上げがきれい、小エネルギーで済み、音も静かだという特徴がある。近いうちに、ヒートポンプ、冷暖房機器を近隣のラテンアメリカ諸国へ輸出する予定でいる。特色：空調器総合メーカーとして品質に重点をおき、ブラジル市場に合致した国産化の推進に力を入れている。

必要職種名：空調機器設計技能者、検査・製造技術者。

引受工業移住者数：2名



同社製品

会 社 概 要

1. 会 社 名

HITACHI-LINE INDUSTRIA E ELETRICA SA DIVISÃO AR-CONDICIONADO

2. 所 在 地

Av Paulista No-1274 17º ANDAR S.P

3. 創 立 年 月 日

1972年8月

4. 資 本 金

千CR\$94.000(751342000Ft)

5. 経 営 者

TOYOOKI SOEJIMA

6. 生 産 品 目

パッケージ形空調機・チラーユニット・ファンコイルエアハンドリング・クーリングタワー・ターボ冷凍機

7. 売 上 高

千CR\$91,000 (1978 現在)

8. 従 業 員

230名(日系25名)

9 工 場 規 模

敷 地 245,000 m²

建 物 10,000 m²

10 設 備 規 模

プ レ ス 6

空調器組立てライン 4ライン

熔 接 機 12

旋 盤 3

塗 装 設 備 1式

フ ラ イ ス 盤 2

酸 洗 い 設 備 1式

研 削 盤 1

熱交換器製造機 1

ラジアルボール盤 4

4. ブラジル東芝(株)

1967年伯国第2位の発電機製造メーカーであるイルネ社の株式71.4%を取得して、東芝はサンパウロに進出した。社名は当時TOSHIBA IRNE(東芝・イルネ社)であった。1968年にはミナスジェライス州のイマン社との合弁会社東芝イマン(株)を設立し、1973年に東芝イルネ社に東芝イマン社が合併、現在の東芝ド・ブラジル(株)となる。この合併により、従来の東芝イルネ工場はサンパウロ工場、東芝イマン工場はミナス・ジェライス工場となって活動を開始。また1978年には配電制御装置の生産工場として、イミグランチ街道に工場を設立し、総合重電気企業として伸長著しい。



イミグランチ工場内部

(1) サンパウロ工場

サンパウロ工場では直交流小型及び中型発電機、特殊モーター、電気ブレーキ、電気溶接機、制御盤が主要な製品となっている。イルネ社と合併した当時は町工場式の無組織的な企業経営であったが、社員及び工員を組織的に動かせる訓練から始め、他方では徐々に東芝の技術を導入してこれまで製造できなかった2,000KVAの中型発電機などに機種を拡げた。1972年には10,000KVAのものまで製造可能となっている。

(2) ミナス・ジェライス工場

ミナス・ジェライス工場では配電用柱上変圧器、変電用中型トランスを主に生産している。製品は量産品、又は注文としてミナス・ジェライス州とサンパウロ州を中心にして、電力会社、水道局等の公共体、及び民間企業に納められている。同社のトランス部門における市場占有率は10%~20%といわれるが、ASEA, SIMENS, AEG, COINZA等の企業や、他に小規模ながら10社程度の競争相手がある。

販路は旧イルネ社の20年にわたる販売活動の成果がそのまま生かされてブラジル全土に及ぶが、量産品は代理店を通じ全国に浸透している。また注文製品は大口需要者用として直接同社より販売されている。

主要な市場はPETROBRAS, SUDENEを初めとする官公庁、造船所、発電所、電力会社などブラジルの電力エネルギーの開発伸長に伴い多様である。

ブラジルにおいては営業拡大、資材確保、加工組立、試験など各分野において日本と異なる問題があり、漸次これらを有機的に関連づけて解決しつつ事業の拡大を計ることが望まれるところ、同社では、既に拡張計画の一環として新用地を購入しており、機種の大型化と多様化を目的に前進中である。

(3) イミグランチ工場

同工場では大型のモーター及び発電機を製作している。因みに発電機は30000kVA、モーターは30000HPである。主な受注先はGE, BBC, SIEMENS である。

必要職種名：設計技術、機械技能者、検査試験技能者、製缶溶接技能者、捲線組立技能者

会 社 概 要

1. 会 社 名

TOSHIBA DO BRASIL S/A

2. 所 在 地

Rua Rizeri Negrini, 334-KM-12 Via Anchieta São Paulo

(工場) Av João Firmino S/No Parque Industrial Dos Imigrantes

(工場) Rodovia Fernão Dias KM-15 Contagem M.G.

3. 創 立 年 月 日

1967年3月

4. 資 本 金

千CR\$ 39,500 (3,157,235,000円)

5. 経 営 者

JIRO HIGUCHI

6 生産品目

発電機・電動機・変圧器・配電制御装置

7. 売上高

千CR\$ 29,000 (1977.現在)

8 従業員

1,200名(日系74名)

9. 工場規模

敷地	10,000 m ² ()	敷地	165,000 m ² (工場)	敷地	14,000 m ² (工場)
建物	10,000 m ²	建物	14,000 m ²	建物	9,500 m ²

5. ブラジル日本電気(有)

同社の親会社である日本電気㈱は、資本金405億円、従業員数約3万4千人、東京周辺に5大工場、10国内地方工場、9海外工場を有し、クロスパー交換機、搬送装置、マイクロ、衛星通信装置、電子計算機、放送装置、半導体、集積回路等あらゆる電子通信機器を生産販売する日本に於ける唯一の総合メーカーである。

ブラジル日本電気は、ブラジル政府の諸施策並びに通信拡充計画に呼应し貢献すべく、1968年11月に設立、Dutra街道218キロの地点に工場を完成した。

同社は、クロスパー交換機の生産から着手したが、ブラジル通信拡充計画にそって工場拡充を行ない、現在は上記の他、MUX、マイクロ、UHF PABX TELEX KEY-TELE

等を生産販売している。また、最近同社は「光を使用した通信方法」俗にいう「デジタル通信」を、10年以上研究し開発した。この方法により、気象条件で聞えなくなったり、回線数が少ないなどの不便な面が解消され、近年情報量が増加した伯国で脚光を浴びている。



会社全景

会社概要

1. 会社名

NEC DO BRASIL ELETRÔNICA E COMUNICAÇÕES LTDA

2. 所在地

Rod. Presidente Dutra Km218. Guarulhos-Sp.

3. 創立年月日
1968年11月
4. 資本金
千CR\$158,000(1,262,894,000円)
5. 経営者
TADASHI SUZUKI
6. 生産品目
自動電話交換機
7. 売上高
千CR\$9,750,000(1977現在)
8. 従業員
1,650名
9. 工場規模
敷地 115,900 m²
建物 25,850 m²

6. ブラジルナショナル電子部品(有)

1975年5月、ブラジルにおける電子部品の長期的展望にたち、スピーカー、トランス、コイル、ボリューム、チューナーの各種電子部品の製造販売に着手。ブラジル郡の輸入規制、経済政策に沿って



工場前景



工場内部

積極的な材料現地調達を進める一方、国内電気メーカー並びに産業機器メーカーに対し高品質、高性能の電子部品を安定供給している。今日、総合電子部品としてその業容は更に飛躍的な伸びを見せている。

特色:ブラジル国の国策に沿った今后成長を期待される産業分野であり、ブラジル国内に於いて他に類をみない総合電子部品メーカーである。

必要職種名:電子技術者(特に弱電専門家)、機械技術者(特に金属製造専門家)

引受工業移住者数:1名

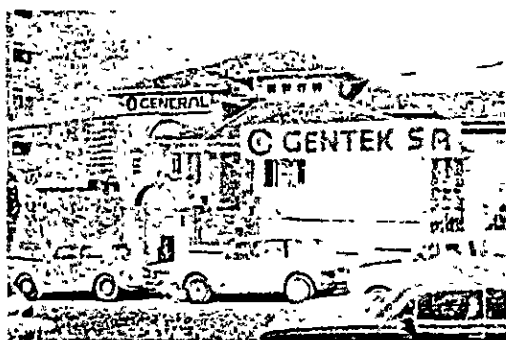
担当者から移住者へ要望:ブラジルの労働環境に順応することは勿論、日本人の良さを充分生かし、腰を落ちつけて生活して欲しい。

会 社 概 要

1. 会 社 名
NATIONAL COMPONENTES ELETRONICOS DO BRASIL LTDA
2. 所 在 地
Rodovia Presidente Dutra Km328 São Jose Dos Campos-S.p
3. 創 立 年 月 日
1974年4月
4. 資 本 金
千CR\$25,489(203,733,577円)
5. 経 営 者
YASUTOSHI UEDA
6. 生 産 品 目
各種電子部品
7. 売 上 高
千CR\$13,136(1978.現在)
8. 従 業 員
393名(日系54名)
9. 工 場 規 模
建 物 3,500 m²
10. 設 備 規 模
スピーカー
トランス
コイル
チューナー
ポリコーム

7. ジエンチック商工(株)

ゼネラルブランド完成品電卓の輸入販売を主業務とし、1971年に会社設立。1974年2月、マナウス自由港における生産プロジェクトの認可を取得し、(株)ゼネラルから生産指導技術者の駐在を得て電卓の現地生産を開始。輸入規制面、税制面におけるマナウス自由貿易港開発庁の恩恵をフルに活用しつつ、ブラジル全土に販売網を拡張した。75年11月(株)ゼネラルの資本参加投入という全面的なバックアップを得て業績は飛躍的に伸び、1977年工業団地内(マナウス)に第1工場完成、78年に第2工場完成となり、名実ともに、マナウス工業団地における電卓業界の旗頭としての地位を築き



事務所前景



マナウスの工場内部

つつある。又一方、77年に服部時計店製のハンドラベラー(ブランド名Pico)の生産地プロジェクトも認可され、消耗品ラベルの製造販売と相マッチして伯国におけるスーパーマーケット、薬局、工場、商店等に対するシェア拡大に急ピッチの状況である。

特色：マナウスプロジェクトの認可企業に与えられる恩恵(所得税、輸入税、工業税等の減免、免税、その他)を充分活用することにより、企業競争力を増大させ、広告宣伝等を出来る丈少なくして地味ではあるが、技術、アフターサービス最重視策をとっている為、銀行、官公庁、一流企業、又、全伯国の代理店から根強い信頼感を得、数多くの優良客をもっている。

必要職種名：電子技能者

引受工業移住者数：1名

担当者から移住者へ要望：

- (1) マナウスでの勤務の出来る人
- (2) ブラジルに積極的に適応する人

会 社 概 要

1. 会 社 名
GENTEK S.A. INDÚSTRIA E COMÉRCIO
2. 所 在 地
Av. Buriti, 2640, Distrito Industrial, Manaus, AM
3. 創 立 年 月 日
1971年7月
4. 資 本 金
千CR\$ 10,000 (79,930,000円)
5. 経 営 者
HIROSHI MIYASHITA
6. 生 産 品 目
電卓・ラベラー
7. 売 上 高
千CR\$ 107,000 (1977.現在)
8. 従 業 員
230名 (日系6名)
9. 工 場 規 模
敷 地 20,000 m²
建 物 3,200 m²

8 W.T.W. 電気工業 (株)

1962年に柱上据付変圧器の製造販売を目的に設立された。変圧器の品質の点では伯国最優秀の知名度を誇っている。現在、新工場を5倍の規模で建設するべくフェルナンドポリス市の工業団地、265 m²の確保のためのプロジェクト検討を終えて1979年4月工場の一部を移転するべく準備中である。1979年第1期工場建設として5,000 m²、その5年間に亘り17,400 m²の工場を完成する予定である。製品の品質向上に社員一同の努力の甲斐あって12ヶ月の保証期間(全製品)でクレームは1,700個に1個とクレームの割合も0に近い。

必要職種名：鋳物工、垂鉛引加工技能者

会 社 概 要

1. 会 社 名
INDUSTRIA ELETRICA WTW S/A

2. 所在地

R. Minas Gerais No1212

3. 創立年月日

1962年10月

4. 資本金

千CR\$9,765 (78,051,645円)

5. 経営者

SAKAE YOSHIDA

6. 生産品目

変圧器

7. 売上高

千CR\$36,000 (1978.12月)

8. 従業員

20名(日系2名)

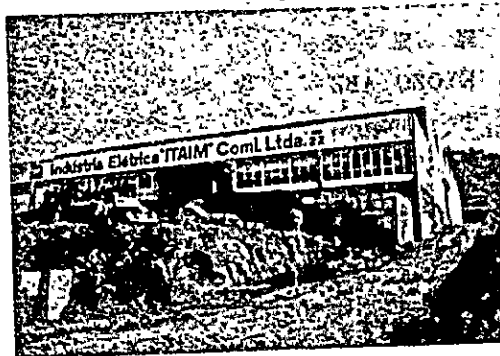
9. 工場規模

敷地 3,400 m²

建物 3,100 m²

9. イタイン電機(有)

当初は、極々蛍光灯会社より製品を購入し、販売のみを行なう会社として、1965年3月に創立された。その後、1968年迄販売を行なっていたが、その後、Vila Olimoiaに製造工場を設立し自社製造するようになった。なお、(同社製の蛍光灯の安定器は関連企業であるKEIKO DO BRASIL (日本の蛍光社とイタイン電気の子会社)がその販売にあっている。同社の月間販売高は500万クルゼイロであり、製品は全2国内向けである。その比率はサンパウロ州50%、ハオ州30%、パラナ州15%、フウジリア州及びその他5%となっている。主な受注先としてはBanco de Estado de São Paulo Banco do Brasil Banco Safra Banco Noroeste等のブラジル系銀行の支店、COBRASMA、MASSEY FERGUSON MANCHETE等の企業及び各種建築業者からである。



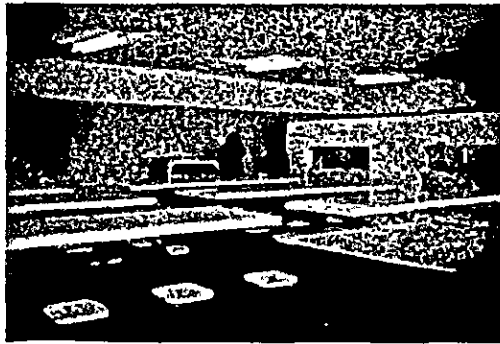
工場前景

また、同社は事業団融資をはじめ、BADCSP(サンパクロ州立銀行より大型融資(75年度にUS
1,200万)をうけ、現在のEMBU工場を建設及び工場機械設備(大型塗料乾燥機)に充当した。

必要職種名: 機械技能者(設計図をみて機械を製造できる者)

引受工業移住者数: 2名

担当 から移住者への要望: 定着して働いてくれる人



食堂



工場内部

会社概要

1. 会社名
INDUSTRIA ELETRICA ITAIM COMERCIAL LTDA
2. 所在地
Br116-Km22 EMBU S.P
3. 創立年月日
1965年3月23日
4. 資本金
千CR\$3,400(27,176,200円)
5. 経営者
KYOZO ABE
6. 生産品目
蛍光灯器具
7. 売上高
千CR\$4,500(1979.7現在)
8. 従業員
75名(日系8名)

9. 工場規模

敷地 15,000 m²
建物 3,000 m²

10. 山崎電子工業(有)

現社長山崎亨氏(1955年移住)により電子部品輸入の目的で1962年創立。初期であった当時のブラジルトランジスタラジオ業界に主として、トランジスタラジオ部品の輸入供給販売をした。従ってこの種の小型部品輸入販売では業界の"パイオニア"である。その後、1968年より安定供給の目的で国産化を目指し工場を設立した。トランス各種、コイル類の製造を始め客先より品質と供給の信用を得ながら現在の規模上発展した。この間1975年日本資本との合併でトランス用鉄芯製造の工場も新設し操業している。

特色：高度な技術力、日系とブラジル人の"フレッシュ"な年代のダイナミックな経営陣と中間管理層が和のとれた管理効果を発揮しており、業界の"シェアー"と地位は益々大きくなっており、常に業界のトップレベルを行く様努力している。

必要職種名：電子技術者、電源装置設計技術者、機械設計技術者、金型設計技術者、金型製造技術者
引受工業移住者数：2名

担当者から移住者へ要望：常に技術革新の研究と勉強をする様、又工業発展途上国であるブラジル国工業界に順応する努力で指導貢献の態度の努力を望む。

会社概要

1 会社名

ELETRONICA YAMAZAKI LTDA.

2 所在地

Av. Rio das Pedras, 620 Vila Formosa, São Paulo

3 創立年月日

1962年12月

4 資本金

千CR\$10,400(83,127,200円)

5 経営者

TORU YAMAZAKI

6 生産品目

パワートランス・低周波トランス・中間周波トランス・電源装置・その他コイル及電子部品

- 7 売 上 高
千CR\$4,200(1978.7現在)
- 8 従 業 員
270名(日系15名)
- 9 工 場 規 模
敷 地 3,000 m²
建 物 3,000 m²
10. 設 備 規 模
- | | | | |
|-------|---|----------|----|
| 自動巻線機 | 1 | 各種巻線機 | 51 |
| 乾燥炉 | 1 | ベルトコンベアー | 3 |
| 真空含浸機 | 1 | コアー入水機 | 8 |
| ボール盤 | 1 | 熔接機 | 1 |

11. スプライス電気工業(有)

1972年2月に設立。設立当初は、Sorocaba Vololantim Eden の3市の電話局(CRTS)に電話機に必要な部品を供給するCRTSの一部門であった。76年11月、CRTSが76年1月より、SPLICE社は従来、CRTS社の一部門であったのを独立させ、同社の製品はTELESPに限らず、TELEBRAS(ブラジル電々公社)等にも販売するようになって現在に至る。同社は最近、ナイジェリア及びアルゼンチンへも製品の輸出を行ない業績も順調に伸展している。

必要職種名：電子技術者

引受工業移住者数：5名

担当者から移住者へ要望：電子技術に関する経験が5年以上有するもの。

会 社 概 要

1. 会 社 名

SPLICE IND. E COM. DE CONECTORES E TERMINAÇÕES ELETRICAS DO BRASIL

2. 所 在 地

R.15 de novembro,83 Sorocaba

(工場) Av. Jucelino Kubitscheck S/N

(工場) Av. São Paulo, 144, Sorocaba

(工場) R. Peichoto Gomide, 211 S. Paulo

3. 創立年月日

1972年2月

4. 資本金

千CR\$20,000(159,860,000円)

5. 経営者

ANTÓNIO ROBERTO BELDI

6. 生産品目

交換機に使用する電子機器

7. 売上高

千CR\$96,000(1978.1現在)

8. 従業員

650名(日系7名)

9. 工場規模

敷地	15,000 m ² (工場)	敷地	800 m ² (工場)	敷地	10,000 m ² (工場)
		建物	600 m ²	建物	300 m ²

10. 設備規模

プレス	7	旋盤	3
ボール盤	4	オンロスコープ	4
プラスチック射出成型機	2	デジベルメーター	1
テスター機	2	定電電流電源機	4
シヤー切断機	1	LCメーター	1
溶接機	4	ボスフォメーター	1
フライス盤	1	メガオーム計	1
研削盤	1		

12. コウメイ電球(有)

1967年創立。政府の工業国産化プランの波にのり工業用特殊電球界に重要な位置を占める。多様の製品を扱う柔軟性によりマーケット・ンエアーを広めて来たが、今後の発展途上独立経理による部門化を検討中である。

特色：少数精鋭主義をモットーとするので能力次第での昇給が可能である。

必要職種名：電球製造技能者

1. 会 社 名
IND. DE LAMPADAS KOOMEI LTDA.
- 2 所 在 地
R. Be Sargto João Soares De Faria, 99 Pque N. Mundo
- 3 創 立 年 月 日
1967年3月
- 4 資 本 金
千CR\$3375(26,976,375円)
- 5 経 営 者
TAMASHIRO IURUYA
- 6 生 産 品 目
特殊電球
- 7 売 上 高
千CR\$5,500(1978.12現在)
8. 従 業 員
200名(日系8名)
9. 工 場 規 模
敷 地 600 m²
建 物 1,500 m²
10. 設 備 規 模

ボ ー ル 盤	1	封 止 機	2
旋 盤	1	封 掛 機	1
スパッターエージング	1	ベ ッ パ ー	2
排 気 機	7	フ レ ア ー 機	3
ブローイング機	3	ス テ ー ム 機	2
ア ン カ ー 機	1	熔 接 機	4
ビージング機	5	刻 印 機	2

13. ブラジル東光(有)

同社はブラジル市場のニーズを求めて、1973年5月テレビ、ラジオ、通信機用コイルとポリバリコンの生産販売を目的に設立。現在、政府の国産化推進政策によって当社主要製品の部品も生産している。同社の特色としては、日本々社の技術をローヤリティーなしで導入しており、将来は、ADVANCED ELECTRONICSにも期待されている。

必要職種名：電気電子技能者，機械技能者



工場全貌



工場内部

会 社 概 要

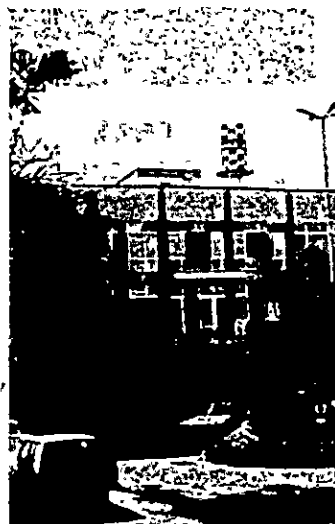
1. 会 社 名
TOKO DO BRASIL IND. E COM. LTDA
2. 所 在 地
Rua Jose Mari, 80 Taboão Da Serra-S.p
3. 創 立 年 月 日
1973年5月
4. 資 本 金
千CR\$42,000 (33,570,600円)
5. 経 営 者
TSUNEO ONUMA
6. 生 産 品 目
テレビ，ラジオ，通信機用コイルとPVC（ポリバリコン）及びその部品
7. 売 上 高
千CR\$167,200 (1978. 現在)
8. 従 業 員
1,040名 (日系100名)
9. 工 場 規 模
敷 地 10,000 m²
建 物 4,000 m²
10. 設 備 規 模
インジェクション・マシニング 6
部品製造設備 12
その他製造設備 120

14. INTRAL S.A.

同社は純然たるブラジル企業であり、1950年にSENAI(ブラジルの職業訓練校)の卒業生の引受企業として発足した。当所は蛍光灯の安定器(コイルまき)の製造及び修理から始まったが、次第に照明器具にまで業務を拡張し、現在では安定器60%、蛍光照明器具23%の比率で生産している。特に安定器の製造では技術面での著るしい向上もあって、ブラジル全生産量の23%のシェアを占



工場全景



工場全景

めている。国内での主な消費地はSao Paulo Riisであり、全体の売上げの70%、輸出も年で増加しているが、現状では生産能力を3倍に強化しなければ需要に応じきれない程で売上げも順調である。当面の問題としては工場拡張であるが、経験豊かな人材の不足も悩みのひとつである。

特色：学歴よりも能力を重んずる典型的な実力主義の会社であるが、同社に5年以上勤続した従業員に対しては、本給以外に毎月最低給料の2倍を支給する独特のシステムである。

必要職種名：照明器具設計技術者(プラスチック製品)、照明器具デザイナー(製造工程を熟知している者)

引受工業移住者数：1名

担当者から移住者へ要望：サンパウロ市とカシアス市では給料の格差もあるだろうが、よく当地の事情を知った上で住みなれて欲しい。

会 社 概 要

1. 会 社 名

INTRAL S/A INDUSTRIA DE MATERIAIS ELETRICOS

2. 所 在 地

R.Rio Grande 130 Caxias Do Sul-R.S.

(工場) R.Rio Grande 280'

(工場) R.Feijo Junior 430

3. 創立年月日

1950年5月

4. 資本金

千CR\$200,000(20億円)

5. 経営者

MARIO MENEZES

6. 生産品目

安定器・電圧調整器・インペダンス・照明器具

7. 売上高

千CR\$3,200,000(1977現在)

8. 従業員

800名(日系1名)

9. 工場規模

敷地	20,000 m ² (工場)	敷地	30,000 m ² (工場)	敷地	3,200 m ² (工場)
建物	6,000 m ²	建物	1,000 m ²	建物	3,200 m ²

通信関連機械器具製造業

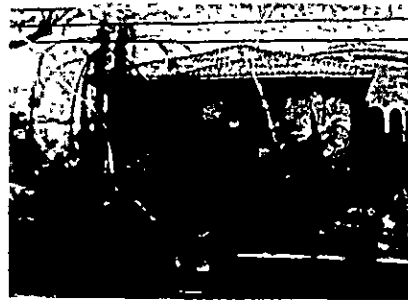
1. ブラジルアール・オーム電子工業(有)

京都に本社をもつ東洋電具製作所が北米向輸出の増進を図る為に、1972年11月伯国に進出し、同社を設立して直ちに工場建設に着工。1973年7月に操業を開始して今日に至る。同社の製品である通信機器用抵抗器は、輸出50%、国内向50%の割合である。

特色：

- (1) 経営責任は一切現地側に委されている。
- (2) 当社製品は一級品として米、他国際市場で評価されている。

必要職種名：機械保全要員、電気計測器保全要員
引受工業移住者数：5名



事務所前景

会 社 概 要

1. 会 社 名
R.OHM DO BRASIL INDUSTRIA ELETRONICA LTDA.
2. 所 在 地
AV. DOM PEDRO I NO 420 SAO PAULO-SP
(工場) AV. JOÃO M NO 1.160 MOGI DAS CRUZES
3. 創 立 年 月 日
1972年11月
4. 資 本 金
千CR\$19,761.00 (76,732,800円)
5. 経 営 者
NOBUYUKI GOTODA
6. 生 産 品 目
通信機器用、抵抗器
7. 売 上 高
千CR\$85,157 (1978.3現在)
8. 従 業 員
147名 (日系60名)

9 工場規模

敷地 111,441 m²

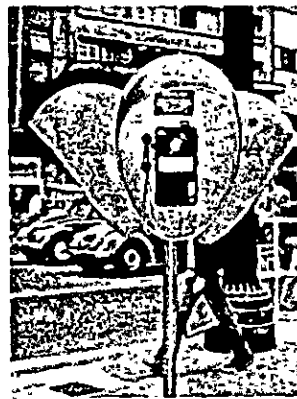
建物 5,008 m²

2. ダルマ通信(株)

械電機は公衆電話機及び電話用度数計の日本に於ける専門メーカーとして世界的にもその品質価格面で特異な存在であり、社のモットーとして“世界の街に赤でんわを”をかかげ、当伯国にも1967



工場内部



街で見かける同社製品

年に販売し、以後、そのシェアを不動のものにした。

1970年頃より伯国通信省の方針により、現地生産(工場設立)を要請されに答へ伯国の通信の将来性、又この分野於いての発展に寄与することを主眼に、現地ダルマ通信を1971年4月設立した。また、近々には、企業の伯国人化を推進する予定である。

必要職種名：機械技能者、金型製作技能者、品質管理技能者、製造現場技能者

引渡工業移者：6名

担当者から移住者への要望：技術移住者に対する研修の為のセミナー等の伯国に於ける開設(例えば日本から専門家を招へいして)、企業又は個人ではなかなかそのような機会が得られない為。

会社概要

1. 会社名

DORUMA TELECOMUNICACOES S.A.

2 所 在 地

Av. Independencia 3500 Taubote S.P.

3 創 立 年 月 日

1971年4月

4 資 本 金

千CR\$30,14400 (240,940,992円)

5 経 営 者

TUNAAKI OYAMA

6. 生 産 品 目

公衆電話機及びアダプター、電話用度数計、他各種カウンター

7. 売 上 高

千CR\$74,000

8 従 業 員

371名(日系25名)

9 工 場 規 模

敷 地 50,000 m²

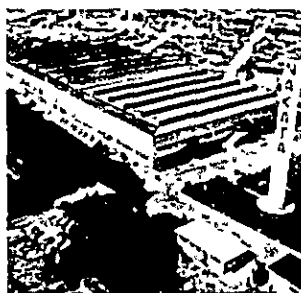
建 物 6,200 m²

輸送用機械器具製造業

1. 中 田 商 工 (株)

ブラジルの工業化は何といっても自動車産業が原動力となって展開されてきたといえるが、実に世界のトップメーカーが早くより進出し、互いに競っている。

VOLKSWAGEN, MERCEDES-BENZ, GENERAL MOTORS, FORD-WILLYS, CHRYSLER など代表的メーカーの市場となっている。特に VOLKSWAGEN は全生産台数の5割強を年々生産しており「カブト虫」の愛称で広くブラジル国民の間で親しまれている。この VOLKSWAGEN に重要な自動車部品であるタイロットをほとんど一手で納入しているのがこの中田商工である。同社は CRS 24,000,000,000 従業員900名、年商約3億円の規模で、過去10年間で400倍の超高度成長を遂げた日系コロニア屈指の企業である。



工場全景

昭和31年ある自動車メーカーの下請会社としてスタートを切った。創立当初資本不足のため幾多の困難があったが、自動車ブームとブラジリア建設ブームの到来とともに昭和38年春 VOLKS 社より商談がもちかけられ同社の躍進が始まった。そして他のメーカー (FORD, GM, MERCEDES BENZ, FABRICA NATIONAL DE MOTORES, MASSEY FERGSON DO BRASIL) からも注文を受けた。

ライバル会社にはアメリカ系企業のトムソン社があり、親会社より既製の専用機を導入し生産にあたっている。

中田商工はこのトムソン社に比べバックアップを望めないだけに、自社製のものに創意工夫を積み重ね各種の専用機を生み出している。また必要に応じて外国の技術も取り入れ、西ドイツのタイロット専門メーカー「エレン・ライト社」と技術提携しタイロットの生産にあたっている。

同社の製品についてはこのタイロットの他、ボール・ジョイント、ショック・アブソーバーなどがある。

同社には特に最近日本からの工業技術移住者が多く就労し同社の技術革新に参加している者が少ない。移住者の子弟でもある中田社長も優秀な技術移住者に期待している。

ブラジル全土に2000に及ぶ販売店を有し、世界でも信用度が高いVOLKSWAGEN社に認められた同社は、今後も注目され発展していくことが期待されている。

引受工業移住者数：25名

会 社 概 要

1. 会 社 名
NAKATA S/A Ind. e Com.
2. 所 在 地
Av. Plastispuma, 200~300 Diadema, S.P.
3. 創 立 年 月 日
1952年11月
4. 資 本 金
千CR\$130,000,000 (1,039,090,000円)
5. 経 営 者
MASSARU NAKATA
6. 生 産 品 目
タイロット・ポールジョイント・キングピン
7. 売 上 高
千CR\$374,378 (1978.1~7)
8. 従 業 員
1,195名 (日系400名)
9. 工 場 規 格
敷 地 90,000 m²
建 物 22,000 m²
10. 設 備 規 模

旋 盤	149	研 削 盤	15
フ ラ イ ス 盤	19	よ う せ つ	6
ポ ー ル 盤	60	ク ロ ム ノ ッ キ 装 置	1 式
ブ レ ス	26	冷 間 鍛 造 機	3

2. ブラジル・トヨタ自動車(株)

ブラジルの自動車工業は、サンパウロ市およびサン・ベルナルド・ド・カンポ市にGM、FORD、CHRYSLER、VOLKSWAGEN、MERCEDES-BENZなど世界の強豪が競い合っている状態であるが、日本のトヨタ自動車も1958年より進出し、各種ジープ型の血輪駆動車を生産している。

現在の自動車生産台数は350台程度であるがディーゼル・エンジンに加えてシャーシの堅牢性で優れており燃料・維持費の経済性と悪路に強い車として定評がある。

同社の自産生産能力は定時で300台であるが、エンジンを始めとし多くの部品を外注しており、

社内生産はボディ・フレーム、リアアクセル部品、フロントアクセル、ミッション、トランスファー関係部品である。

表1は同社製自動車の仕様であるが、最近国内大都市を結ぶ幹線道路をはじめ、各地の道路設備が充実し、普通車の活動範囲が著しく広範囲になった為、トヨタ車の販売先はサンパウロ州内奥地から次第に州外内陸地域に移動し全国化に及んでいる。

実際サンパウロ市内等大都市では、国産乗用車がひしめいており、今後ブラジルの自動車業界も大衆車に時代を迎えた感がある。

しかし、奥地では物資輸送の為大型トラック需要が多く、開発の為四輪駆動車の需要も少くない。同社は各国の自動車メーカーに先を付けて進出した為、創業以来20年を経過した老舗があるが、表2に示すとおり現在では欧米系各社に完全に追越された状態となっている。

今後こうした状態を挽回する為には、エンジンの自社生産、思い立った新型車の生産、販売競争の確立など数多くの難問を挽いているが、GM、FORD、CHRYSLER、VOLKSWAGENがそれぞれ1億ドル以上の追加投資をするなど各社の功勢が辛らつなだけに厳しいものがある。

会 社 概 要

1 会 社 名

TOYOTA DO BRASIL S/A Ind. e Com.

2. 所 在 地

Estrada de Piraporinha, km 23, S. B. de CAMPO - S. P.

3. 創 立 年 月 日

1958年1月

4. 資 本 金

千CR\$81.874.00 (654,418,882円)

5. 経 営 者

KAZUO SAKAMAKI

6. 生 産 品 目

各種四輪駆動車

7. 売 上 高

千CR\$301,862

8 従 業 員

400名(日系40)

9 工 場 規 模

敷 地 192,363 m²

建 物 27,786 m²

10 設備規模

旋 盤	49
フライス盤	30
ボール盤	75
プレス機	36
溶接機	60
クレーン	4

表1. トヨタ自動車製品各車種の仕様

型	幌 型 OJ 50L	ハードトップ OJ 50LV	ワゴン OJ 50LV-B	小型トラック OJ 55LP-3
全 長	3,795 mm	3,795 mm	4,265 mm	4,860 mm
全 幅	1,665 mm	1,665 mm	1,665 mm	1,715 mm
重 高	1,950 mm	1,920 mm	1,965 mm	1,910 mm
重 量	1,580 kg	1,710 kg	1,760 kg	1,810 kg
ミリング(数)	4	4	4	4
ミリング(容量)	3,784 cc	3,784 cc	3,784 cc	3,784 cc
馬 力	94HP	94HP	94HP	94HP
ミッション	4段 1段	前進4段 後進1段	前進4段 後進1段	前進4段 後進1段

表2. ブラジル自動車会社の生産数

会社名	年度別生産数		
	1975	1976	1977
CHRYSLER	24,435	27,831	21,934
FNM(FIAT DIESEL)	8,494	9,597	12,943
FORD	130,371	171,931	130,196
GM	133,948	181,144	154,411
MERCEDEC RENZ	43,600	48,817	52,957
PUMA	1,536	1,912	2,910
SAAB-SCANIA	3,519	4,531	4,534
TOYOTA	895	1,493	2,695
FIAT AUTOM	—	8,350	65,052
VOLLS WAGEN	502,580	529,636	432,192
計	929,456	985,282	919,864

3. ブラスペックス商事(有)

1963年JABRAS IMPORTAÇÃO E EXPORTAÇÃO LTDA.を創立。1969年同社 Belem店舗を解散し、BRASPEX 商事会社と改称、今日に至る。当初は、日本雑貨、書籍等の輸入、胡椒の輸出を行っていたが、徐々に機械取扱部内を拡張して来た。

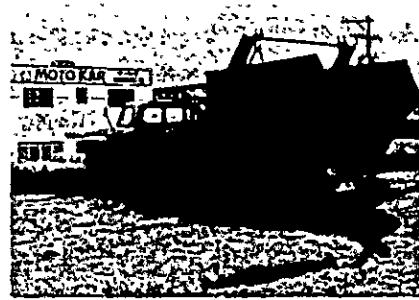
現在農業機械一般、船舶用エンジン、木材用防虫防カビ剤(北米より輸入)、発電機、かんがい用機具等を取扱っている。注文に応じ胡椒、脱粉機、トレーラー等の製作も行っている。同社の売店はパラ州のサンタレン、トマスー、アルタミラにも有し、アマゾン地域を中心に拡く事業を行なっている。
必要職種名：エンジン修理技能者

会 社 概 要

1. 会 社 名
BRASPEX IMPORTAÇÃO E EXPORTAÇÃO LTDA
2. 所 在 地
PRACA DO CARMO, 22 BELEM PARA
3. 創 立 年 月 日
1969年8月
4. 資 本 金
千CR\$ 1,100,000 (8,792,300 円)
5. 経 営 者
HAJIME OHTAKE
6. 生 産 品 目
脱粒機、運搬車
7. 売 上 高
千CR\$ 1,500 (1978.1~9 現在)
8. 従 業 員
35名(日系14名)
9. 工 場 規 模
建 物 207.9 m²

4. モトカール起重機製作所(有)

同社は、各種油圧クレーンの製造を目的に1976年に設立。顧客の種々の注文用途に従って製作す



同社製品の起重機

るのが特色である。製品の内訳としては、工場内、工事現場での荷物、資材運搬用のホイールローダー（自走式クレーン・トラック・クレーン）、あらゆる図産車に備え付けが可能な油圧ロードラーガー（11ton-20ton）、電話・電気・電球取替え工事等に使用する。特殊はしご車、上下水道飛行場の滑走路、ボイラー等のゴミを取除く、タンク洗浄車、軍隊用牽引ウインチ（3km-10km）である。主な受注先としては国家的事業を行なっている。国有鉄道、石油公団、大手建設会社、LIGHT等であるが、本年の生産目標として、はしご車50台、クレーン車40台、ロードラーガー1000台である。

必要職種名：油圧クレーン及びウインチの設計製図技能者

会 社 概 要

- 1 会 社 名
MOTO-KAR IND. E COM. QUINDASTES LTDA
- 2 所 在 地
RUA BAHIA NO. 40
3. 創 立 年 月 日
1976年2月
4. 資 本 金
千CR\$1.000 (7.993.000円)
- 5 経 営 者
ISAO MOTOOKA

6. 生産品目

自動車用及び自走クレーン設計製造

7. 売上高

千CR\$3,000(1978.1~6現在)

8. 従業員

45名(日系3名)

9. 工場規模

敷地 2,000 m²

面積 1,000 m²

5. 伯国精機(有)

1956年11月トーノンの出資によって設立。同時に社屋工場の建設に着手。1959年1月より従業員雇入れ等生産業務開始。1960年より本格的操業に入る。1977年12月業務拡大に伴い隣接の土地社屋を譲り受け、敷地6,000 m²、建物4,500 m²となり約2倍に拡張された。生産品種は各種ガソリンエンジン、自動車部品及び各種ディーゼルエンジン部品、農業並びに建設用各種トラクター部品、其他一般精密機械加工部品を受注生産している。エンジン関係部品ではROCKER ARM & SUPORT ROCKER SHAFT, TAPPET PUSHROD、トラクター関係部品では、TOP-LINK ASSEMBLY, LINK-ASSEMBLY- LOWER LIFT等の専門メーカーとして操業して居る。主な受注先としては、FORD BRASIL, FORD TRACTOR, CATARPILLER, MASSEY FERGUSON, YANMAR MOTOR PERKINS, KUBOTA等である。

特色：伯国に進出している世界の一流企業へ納入して居り、一般汎用工作機械で多品種少量生産を行なって来ている。

必要職種名：機械加工用治具設計者、治工具工、電気及機工

引受工業移住者数：20名

担当者から移住者へ要望：定着性のある人が望ましい。

会 社 概 要

1. 会社名

SUPERFINE MECANO PECAS INDUSTRIA GERAL LTDA.

2. 所在地

Rua TuJupy 309 Vila Bela São Paulo

3. 創立年月日

1956年11月

4. 資 本 金
CR\$2,500 (19,982,500円)
- 5 経 営 者
KIYOSHI KAWAMOTO
- 6 生 産 品 目
ガソリン及びディーゼル機関部品・各種車両部品・各種一般加工部品
7. 売 上 高
千CR\$7,373 (1978.9現在)
8. 従 業 員
207名(日系29)
9. 工 場 規 模
敷 地 6,000 m²
面 積 4,500 m²
10. 設 備 規 模
- | | | | |
|-------------------|----|-----------|----|
| 旋 盤 | 41 | コンプレッサー | 4 |
| ボ ー ー 盤 | 53 | ブローチ盤 | 2 |
| フ ラ イ ス 盤 | 1 | ネジ転造機 | 1 |
| ブ レ ス | 20 | ホーニングマシーン | 1 |
| 研 削 盤 | 8 | パ フ 盤 | 11 |
| グ ラ イ ン ダ ー | 5 | 各 種 測 定 器 | 27 |
| セ ン タ ー レ ス 研 磨 機 | 8 | | |
| 溶 接, 切 断 機 | 10 | | |

6. クレメンテ・シファリ(株)

同社は1958年5月現在の社長である CLEMENTE CIFALI氏により、リオグランデスル州カシアスドルスル市に「CLEMENTE & FILHOS」の社名により設立された。

道路関係機械の製造を行っており、ブラジル国内においては米国系のBARBER GREEN社と市場を二分している。

1974年その株式の70%を三菱重工が譲受け経営の近代化に協力して来たが現在業績は顕著に好転している。特に75年より中南米諸国への輸出を開始し、78年度は総売上の95%が輸出となっている。

ブラジルは輸送の手段の90%を道路に頼っており、未舗装道路の改善・新規道路建設には同社の各種機械が不可欠であり、今後の発展が期待される。

尚、同社は現在工場拡張を行っている。

会 社 概 要

1. 会 社 名
CLEMENTE CIFALI S.A. -MAQUINAS RODOVIARIÁS
2. 所 在 地
Rua Senhor Do Bom Fim, 177, Porto Alegre Rio Grande Sul
(工場) Rua Dona Teodora, 1155, Porto Alegre Rio Grande Do Sul
3. 創 立 年 月 日
1958年
4. 資 本 金
千CR\$82,500 (659,422,500円)
5. 経 営 者
CLEMENTE CIFALI
6. 生 産 品 目
アスファルトプラント・ソイルプラント・アスファルトフィニッシャー・ディストリビューター・
油圧ショベル
7. 売 上 高
千CR\$270,000 (1978現在)
8. 従 業 員
699名
9. 工 場 規 模
敷 地 45,000 m²
建 物 4,500 m²

そ の 他

1. 徳倉 養魚場(株).....	125
2. A N B 自然食品(株).....	126
3. F K 事務機器(株)	127
4. ヤクルト商工(株)	128
5. トッププレス印刷出版(株).....	129
6. ブラジル N H K ファスナー(株).....	130
7. ベルマッキ商事(株).....	131
8. モトベルモトーレス・デ・ベレン(株)	132
9. 佐藤メッキ(株)	133
10. 日光メッキ工業所(株)	135

そ の 他

1. 徳倉養魚場(有)

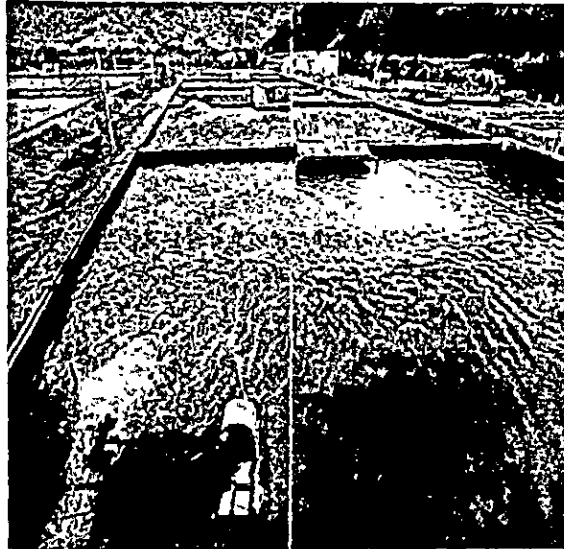
1974年1月サンパウロ州ウバトゥバ市の海岸地帯に1,200,000 m²の土地を購入し、そのうち、15,000 m²に大小26の池を作り、日系人の郷愁の味である鰻の養殖を目的として会社設立された。

当初、日本、フランス、アメリカ等から鰻稚魚を輸入するのにブラジル所関係、運送方法等、種々の困難があったが、現在はサンパウロ市の日系食堂20数店を中心として日系人、ブラジル人にスタミナ料理として鰻料理が広まってきている。

今日迄、中南米上に於ける養殖は全く考えられていなかったが、鰻養殖をきっかけにこの分野も脚光を浴びて来た。技術者としては日本から専門家を呼んでいるが、同社の従業員の大半も

実地研修を行なってきた。

必要職種名：養鰻技能者



鰻養殖池

会 社 概 要

- 1 会 社 名
SAM TOKURA PISCICULTURA Ltda.
- 2 所 在 地
Praia Pereque Acu, s/n, Ubatuba, Est. de S.P.
- 3 創 立 年 月 日
1974年1月
- 4 資 本 金
千CR\$4,000 (31,972,000円)
- 5 経 営 者
OHIKO AOKI

6 生産品目

養蜂

7 売上高

千CR\$ 3,500 (1978 現在)

8 従業員

10名(日系10名)

9. 工場規模

敷地 150,000 m²

2. A.N.B. 自然食品(有)

同社は、ブラジル人の健康増進の為に自然食の生産から販売までを目的に1976年4月に設立した。

主な商品としては、ローヤルゼリー、蜂蜜、三菱商事とタイアップしてのクロレラ(特殊栄養食品)を販売している。また、同社は近い将来、健康機器、無公害化粧品、伝統的な東洋医学の理念を基礎とした。総合健康センターの設立等幅広い健康産業に伸展して行く予定でいる。

同社の所有する Mato Grosso 州の2つの農場では、米、大豆、養蜂等の他に油をとる紅バナ茶草としてのハトムギを栽培し、原材料の不足している日本へ輸出している。

ローヤルゼリーや蜂蜜の販売方法としては、全伯に販売店20社おきその他は、直接販売員に頼っている。

ローヤルゼリーの生産量は月産250kgで、将来はこれを1tのペースにもっていわく。又、蜂蜜は日産2tである。



同社製品のローヤルゼリー

会 社 概 要

1. 会 社 名

ALIMENTOS NATURAIS DO BRASIL IND. E COM. E REPRESENTAÇÃO
LTDA.

2. 所 在 地
Av. Rio Branco, 439, 10
- 3 設 立 年 月 日
1976年4月
4. 資 本 金
千CR\$ 2,000 (15,986,000円)
5. 経 営 者
CHIKARA HASEBE
6. 生 産 品 目
ローヤルゼリー・桑葚・クロレラ
7. 売 上 高
千CR\$ 24,000 (1978現在)
- 8 従 業 員
50名(日系2名)

3 F K 事 務 機 器 (有)

創立以来11年目を迎え事務機械、事務ファニチュアのトータル・セールスを目標に年々インフレ率を上回る事土20%アップの売上げを完遂してきた。更に伸展する為には、益々の専門化とサービス部門の売上増を狙っており、めまぐるしく変化して行くマーケットを確め乍ら業績の向上を図っている。事務所の事なら一応はそろうということが特色である。

会 社 概 要

- 1 会 社 名
F.K.EQUIPAMENTOS PARA ESCRITORIO LTDA.
- 2 所 在 地
R. Bueno de Andrade, 234 AclliMACÃO S.P
- 3 創 立 年 月 日
1967年5月
4. 資 本 金
千CR\$ 12500 (999,125円)
- 5 経 営 者
YUJIRO FURUSHIO

- 6 生産品目
事務機器全般
- 7 売上高
千CR\$50,000(1978現在)
- 8 従業員
60名(日系4名)

4. ヤクルト商工(株)

1965年ブラジルの市場調査完了。企業進出の方針決定。1966年7月会社設立。健康飲料のイメージにそった工場との見地から、アンシエッタ街道31キロ、ビーリング湖水に浴った景観の地が選ばれ、ここ2ヶ年間を要し工場建設。1968年10月より試験操業に入ると同時に、サンパウロ市内に3ヶ所の試験販売区域をもうけ、ブラジルではじめての家電配達販売方法の実施を行ない、順調にその方式は定着化し、現在に至っている。同社の販売の特色は、やはり家庭の主婦の協力を得て行う個別訪問販売である。

会 社 概 要

- 1. 会社名
YAKULT S/A INDUSTRIA E COMERCIO
- 2. 所在地
Km-31 Via ANCHIETA, Riacho Grande, São BERNARDO Camp Estadode São PAULO
- 3. 設立年月日
1966年7月
- 4. 資本金
千CR\$80,000(639,440,000円)
- 5. 経営者
TERUO WAKABAYASHI
- 6. 生産品目
顔酵乳ヤクルト
- 7. 売上高
千CR\$501,411(1978.12現在)
- 8. 従業員
666名(日系50人)

9. 工場規模

敷地 404,180 m²

5. トップラン・プレス印刷出版(有)

1968年に小さな印刷機を購入し操業開始。1968年当時は、日本からの進出企業が続々と入って来て現在でもそうだが、得意先の80%は日系の進出企業産社である。以后借金政策で機械をどしどし購入してやってきた。これも、当時からのインフレを計算すると結果的には良策でこうした幸運な要因に支えられて現在順調な伸展を示している。

しかし、顧客が日系では売上げにも限度がある為、自己商品を開発できぬものかと考え、74年から従来日本からの輸入が主だったカレンダーの生産をはじめ、日本のそれと殆ど変わらないものができるようになり、売上は年々倍々の形で上昇している。

特色：カレンダー、カタログ、パンフレット、雑誌、事務用印刷物
必要職種名：オフセット印刷技能者、プロセスカラー写真製版技能者

会 社 概 要

1. 会社名
EDITORIA GRAFICA TOPAN-PRESS LTDA.
2. 所在地
Rua Muiz de Souza 385 Cambuci Sao Paulo
3. 設立年月日
1968年9月
4. 資本金
千CR\$525 (4,196,325円)
5. 経営者
KEIJI OKUYAMA
6. 生産品目
カタログ・カレンダー・パンフレット・書籍・商業印刷
7. 売上高
千CR\$11,000 (1975.12現在)
8. 従業員
40名(日系11名)

9 工場規模

敷地	300 m ² ()	敷地	900 m ² (工場)
建物	300 m ²	建物	900 m ²

10. 設備規模

切断機(紙)	2	写植機(日本語)	1
オフセット印刷機	5	"(ポ語)	1
活版印刷機	5	製本機械	1式
写真製版機	2	活版機械	1式

6. ブラジル・NHKファスナー(有)

同社は1976年3月に登記設立。1977年2月に日本より輸入、生産設備到着、調整試運転を経て、77年5月より操業、販売を開始し現在に至る。

同社は常に伯国政府の工業化政策、顧客の注文 乍ら当国になかった高精度な大量生産、自動式設備を使用し高品質の小型、超小型ネジを世界各国の工業規格(ABNT、ISO、DIN、ANSI、JIS)に従って生産し、伯国の適切な工業発展に寄与している。

特色：納期遵守

引受工業移住者数：2名



工場全景

会 社 概 要

1. 会 社 名

NHK FASTENER DO BRASIL IND. E COM. LTDA.

2. 所 在 地

Av Francisco Monteiro, 4140 A Hildcirão Pires, Sp

3. 創 立 年 月 日

1976年3月

4. 資 本 金
千CR\$17,300 (138278,900円)
5. 経 営 者
TAKEO SAITO
6. 生 産 品 目
工業用金属ファスナー(ネジ)の製造, 販売
7. 売 上 高
千CR\$8,187 (1977.12現在)
8. 従 業 員
32名(日系15名)
9. 工 場 規 模
敷 地 4,000 m²
建 物 1,241 m²
10. 設 備 規 模
ネジ製造機 16
旋 盤 1
シ ー パ ー 1
研 削 盤 1

7. ベルマッキ商事(有)

同社の前身は三井物産ベレン支店機械課である。1972年旧三井物産ベレン支店社員3名が出資。同年11月BELMAQとして発足した。YANMAR その他の農業機械一般の販売をしている。
 特色: ヤンマーディーゼルエンジンを中心とし、それに附属する農業機械一般(発電設備, ポンプ, その他)故障が少ないことと、アフターケアの徹底。
 必要職名: 機械修理組立工
 担当者から移住者へ要望: 何でもこなせる熟練が欲しい。

会 社 概 要

1. 会 社 名
BELMAQ COMERCIAL LTDA
2. 所 在 地
Av. BOQUIVARO Cast. Iho Franca No312, Belém, Pará, Brasil

3. 創立年月日
1972年11月
4. 資本金
千CR\$1,800(14,387,400円)
5. 経営者
TADASHI SUDO
6. 生産品目
農具機械類の販売, 修理
7. 売上高
千CR\$19,089(1977現在)
8. 従業員
24名(日系3名)

8. モトベルモトーレス デ ベレン(株)

1970年6月資本金CR\$100,000,000をもって創立。出資者は全て日本人で9名である。
Fiat-Allis Valmet, Terna-Terna 等重機類の北伯代理店として今日に至り、その他の農機具類も取扱っている。現在資本金額CR\$15,000,000は全額払込み済である。同社は、農機具類の販売のみならず修理工場をもち、修理も行っている。

必要職種名: ディーゼルエンジン修理工

担当者から移住者へ要望: 1ヶ所に落着に勤めてくれる者。



工場前景

会 社 概 要

1. 会 社 名
MOTOBEL-MOTORES DE BELEM LTDA.
2. 所 在 地
Rod Br-316, Km25 Mun Ananindeve-Para
(工場) Filial em Imperatriz Rod-Br-010, Km-5 Imperatriz, MARANHAO
3. 創 立 年 月 日
1970年6月
4. 資 本 金
千CR\$15,000 (119,895,000円)
5. 経 営 者
MASAKAZU SHIMIZU
6. 生 産 品 目
VALMET FIAT, TEMA-TERRA等の代理店
7. 売 上 高
千CR\$92366 (1977現在)
8. 従 業 員
112名 (日系7名)
9. 工 場 規 模
敷 地 90,115 m² () 敷 地 10,000 m² (工場)
建 物 2,295 m² 建 物 1,400 m²

9 佐藤メッキ(有)

サンパウロには現在、大小のメッキ工場は約3,000社ある。同社の規模は其中で3~4番以内に入っておりメッキ仕上工程ではブラジル第1位を保っている。

同社又は顧客の要求するメッキの厚さ・密着力・ピンホール硬度・耐食性・光沢などに最大の注意を払い、納品することをモットーとしている。

現在工場敷地は3,500 m²、従業員数は190名である。また亜鉛メッキを中心とする10,000 m²の工場をJundiai市に設立中で本年6月よりスタートする予定である。

受注先としては、自動車メーカーのVOLKSWAGEN, CHEVROLET, CHRYSLER, FORD, TOYOTA、強電気、弱電気電話メーカーのSIE-MENS, BOSCH, TELEFUNKEN, BRASTEMP, PHILCO, TAMURA, MOTORADIOなど、全社あわせて300社に達する。

メッキの範囲は、電気メッキ、銀、ニッケル、（クローム、錫、銅、亜鉛カドミウム、鉄である。
同社は業績のよい会社でないと取得出来ない輸入許可を取得し、メッキ液の 過には日本フィルター



工場内部



社長室と社長

と西ドイツ製品を使用している。分析用器具は全て国産品でありメッキの膜厚計器と pH 測定器は、中央製作所のものをガステスト器具は国産品を使用している。

同社の設備の殆どは自動式であり、これからはコンピューター関係の機械、精密な部品のメッキをし、良質なメッキ加工をし顧客に喜んでもらえるようにするのが目標である。

必要職種名：電気保守技能者、メッキ技能者

引受工業移住者数：2名

担当者からの要望：種々のメッキに熟知している人

会 社 概 要

1. 会 社 名

K. SATO & CIA. LTDA.

2. 所 在 地

Av. de Pinedo, 730 e 740 Santo Amaro, Est. de S.P.

3. 創 立 年 月 日

1951年

4. 資 本 金

— 于CR\$1900 (15.186,700円)

5. 経 営 者

KAKUJU SATO

6 生 産 品 目

金・銀・ニッケル・銅・亜鉛各種メッキ

7 売 上 高

千CR\$72,000(1978 現在)

8. 従 業 員

190名(日系25名)

9. 工 場 規 模

敷 地 4,500 m²

建 物 3,500 m²

10. 設 備 規 模

自動メッキ装置 4

旋 盤 1

静止メッキ槽 30

プ レ ス 1

前 処 理 装 置 1 式

排 水 処 理 装 置 1 式

後 処 理 装 置 1 式

実 験 器 具 1 式

パフ研磨機 20

10. 日光メッキ工業所(有)

サンパウロ市から50kmの地点にあるMagidas Crezes 市内にある同社は、岡市内の豊和工業、ブルドーザー・メーカーのHUBERWARCO社、トラクターメーカーのVALMET社等から受注をうけている。また、それとともにサンパウロ方面の開拓も徐々に進行している。1969年と比較して資本金は約3倍の増、現在、岡市内のBras Ceclas 方面に亜鉛メッキ部門工場を特設し、将来は宅地である現在の場所より全部そちらの方へ転仕する予定である。メッキは、技術と誠実さによって信用を得ること即ち、容易にメッキがはげない堅実なメッキ仕上げをすることによって発注者に信頼されることが必須条件である。同社はこのような考え方のもとに努力を積み重ねている。尚、同社の今後の方針として日本の進んだ専門技術を取り入れ、自動式のメッキ設備の導入による設備の改善、従業員の福利厚生を主なものとしてあげており、代表者の吉永陸奥氏は先程日本の静岡県メッキ工場を研修視察し、新しい技術設備の導入に力を入れる方向である。特に、諸設備の自動化は今後の大きな課題なろう。



必要職種名：メッキ技能者(亜鉛メッキ関係)

会 社 概 要

1. 会 社 名
CROMACAO NIKKO LTDA.
2. 所 在 地
R. Dona Getrudes Conceição Cabral, 583, Mogi das Cruzes
3. 創 立 年 月 日
1959年7月
4. 資 本 金
千CR\$2,286 (18,271,998円)
5. 経 営 者
MITSUO YOSHINAGA
6. 生 産 品 目
各種鍍金
7. 売 上 高
千CR\$1,500 (1978現在)
8. 従 業 員
100名(日系10名)
9. 工 場 規 模
敷 地 1,000 m²() 敷 地 7,000 m²(工場)
建 物 800 m² 建 物 500 m²
10. 設 備 規 模
ニッケル用タンク 10,000 ℓ
クロム " 9,000 ℓ
亜鉛 " 26,000 ℓ
自動亜鉛メッキ 1
研 削 機 30
研 磨 機 12

JICA

